2015　風来坊　　Country Walk 【14】

里歩き・山歩き・街歩き　2015

水行末　曇来末　風来末

2016. 3. 1.

Mutsu Nakanishi Home Page　http://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/

15walk01.pdf

15walk02.pdf

15walk03.pdf

15walk04.pdf

15walk05.pdf

15walk06.pdf

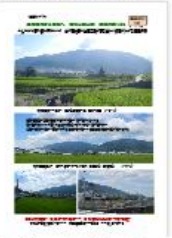
15walk07.pdf

15walk08.pdf

15walk09.pdf

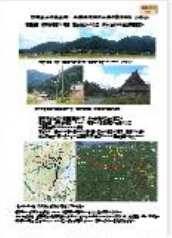
15walk10.pdf

15walk11.pdf


15walk12.pdf

15walk13.pdf

15walk14.pdf


15walk15.pdf

15walk16.pdf

15walk17.pdf

Iron Road　縄文　ふらっと訪れた街の景色　四季折々
日本各地に残る素晴らしい風景　　自分だけの景色を見る楽しみ
歳をとるにつれ、遠くへはなかなか行けませんが、まだまだ元気　好奇心一杯
神戸を中心に　四季折々の風景を思いついては　ふらっと訪ねています。
毎年　同じ景色を眺めるのも楽しみ　ふと見かけた自分だけの景色の発見もうれしい
全くの独りよがりの風景の羅列です。
体力の衰えはいかんともしがたし
だんだん　山や谷筋をへ入れなくなって　きましたが、
その分　街歩きの楽しみが増えました

Country Walk　風来坊

By　Mutsuo　Nakanishi

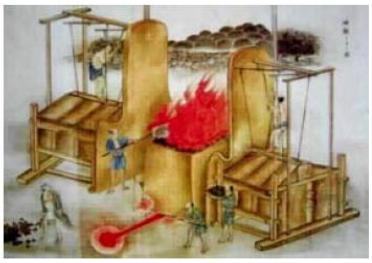
風来坊 Country Walk

水行末 雲来末 風来末　和鉄の道　風来坊

Iron Road　縄文　ふらっと訪れた山・里・街角　そして歴史を訪ねて
日本各地には　自然・人・地域・歴史の痕跡とともに
地域それぞれ・四季折々　素晴らしい日本の原風景が残り、
訪れると　いつも新しい発見があり、　自分だけの景色で迎えてくれる
Country Walk の楽しみです

鉄の「まばゆい輝き・閃光」と「黒光り・肌光」

日本には「たたら製鉄」という鉄鉱石や砂鉄の塊から、
「硬くてねばい鋼」を直接作り出す日本古来の製鉄法がある。
ヒッタイトが人工鉄を発明した当初の姿を現代まで残し、
現在の製鉄法にも負けない高品質の鋼を作り出す技術に高め、
維持している日本独自の製鉄法である。



日本に「鉄」が伝来して、この「たたら製鉄」が行われるまで、約800 年の長きにわたってたたら製鉄法の摸索が続き、その技術をさらに磨き高めながら1500年続いてきた日本独自の製鉄技術。
「鉄は国家なり」「鉄は産業の米」と「鉄」の力が強調される一方で、文化を育み、そこに住む人たちの生活を豊かにし、現在に至る日本を作ってきた。
人里離れた里山の谷筋や川筋・海岸などなどに、産業生産・工房・街・街道などの痕跡とともに、それに携わった人々の賑わいや数々のドラマとともに日本の原風景といわれるすばらしい景色が今も残っています。

そんなIron Road を訪ねつつ、日本各地に残る素晴らしい四季折々の風景を求めてCountry Walk　10数年。
最近は年とともに遠くへ行かれなくなりましたが、
まだまだ　元気　好奇心も一杯。
すばらしい景色とともに数々の出会いの楽しみも。
日本各地のCountry Walkを楽しんでいます。

2016.3.1.　風来坊　Country walk 概要改訂

2015 風来坊　Country Walk　もくじ

山歩き・里歩き・街歩き　2015

風来坊　Country walk 【14】山歩き・里歩き・街歩き　2015

1. お勧めの博物館「竹中大工道具博物館」新神戸駅横　2015.2.13.　15walk01.pdf
大工道具の歴史を実物展示する大工道具博物館　素晴らしい和風展示館がオープン
2. 春の妖精　カタクリの花　2015.3.22.　15walk02.pdf
西播磨 佐用 旧三日月町　弦谷カタクリの群生地
3. 2015 神戸の春【1】 春蘭漫　2015 神戸花便り　３月末から４月上旬　15walk03.pdf
新生の息吹に満ちて　芽吹きを迎えた里山の春　花景色
1.西神戸　春の香りを漂わす　梅満開の雌岡山　西神戸　神出雌岡山
2.西播磨　春の妖精　カタクリの花　西播磨　佐用町　旧三日月弦谷
3. 西神戸　芽吹きを迎えた里　土筆・タンポポ・桜　西神戸　高和　性海寺の里
4.修復された白鷺城　&　きらきらの須磨の海　姫路城 &　垂水平磯海釣り公園
5. 東神戸　魚崎運河　アーモンドの並木道　桜に先立ちピンクの花を枝いっぱいに
6.　神戸の桜　我が町の若草町の桜　須磨　若草山
7. 京都洛北　芽吹の里　野山を彩る満開の桜・菜の花　京都　御所・高野川・大原街道
8. 芽吹きの里山にピンクの三つ葉つつじ　須磨　若草山
4. 2015 神戸の春【2】　新緑の須磨アルプス 東山を楽しむ　2015.4.22.　15walk04.pdf
真っ青な空のもと　草木燃える新緑の中で　自然の空気を胸いっぱい吸い込んで・・・
5. 2015 神戸の春【3】 新緑の山を彩る純朴な大輪の花　シャクナゲ 2015　2015.4.27.　15walk05.pdf
六甲森林植物園　石楠花谷　2015.4.27.
6. 丹波市市島町　妙高山　氷上回廊の分水嶺直ぐ北に自生するクリンソウ　2015.5.19.　15walk06.pdf
7. 雨に先駆けて山麓の湿地に　ひっそり咲くピンクの花　クリンソウ　2015.5.20.　15walk07.pdf
千種 天児屋たたら跡に咲くクリンソウを訪ねる
8. 梅雨の合間　須磨アルプス 岩稜 馬の背を歩く　2015.6.10.　15walk08.pdf
9. 霧雨に煙る京都北山・北摂の美林を巡る　京都北山周山街道から亀岡摂丹街道を北摂の能勢へ　15walk09.pdf
京都北山周山街道　北山杉の郷「中川」から亀岡・北摂の杉林を巡って神戸へ　2015.6.10.
10. 京都の夏　2015　祇 園 祭 後祭　宵山 & 山鉾巡行　2015.7.23&24.　15walk10.pdf
祇園祭のお囃子に 日本人の心の故郷「優しき縄文」が今も生きている
祇園町・祇園囃子は縄文の響き・リズム　日本人の故郷ではないか・・・と
11. ひまわりの夏 2015　西播磨 佐用町旧南光　千種川沿いのたたらの郷のひまわり畑　2015.7.28　15walk11.pdf
今年も 黄色の帯が田園地帯一杯に広がり、 元気に太陽に顔を向ける沢山の笑顔に出会えました
12.≪Iron Road ・和鉄の道で≫ 風の森峠から南郷へ　金剛山東山麓　葛城の道　walk　2015.8.23.　15walk12.pdf
13. 東播磨の田園に初秋を訪ねる《　加古川闘竜灘・彼岸花の里・山田錦の里　》　2015.9.11.　15walk13.pdf
加古川中流の名勝　滝野 闘竜灘　彼岸花の里　多可町　酒米「山田錦」の里　加東・三木吉川
14. 路面電車　阪堺電車に乗る　イメージとは大違い　びっくり!!　2015.9.14.　15walk14.pdf
低床の最新電車　二両連結の最新電車も
15. 京都北山の最北部　三国峠周辺山里の秋を巡る.　2015.9.20.　15walk15.pdf
旧鯖街道 根来・針畑越　&　芦生・美山への入口 朽木「生杉 」から 美山茅葺集落へ
16. ≪志方のコスモスの里≫ 実りの秋を迎えた播磨加古川市 志方の里に　コスモスを訪ねる　2015.10.15.　15walk16.pdf
1.広尾・広尾東.　2.高畑　3.中国高速道路沿い野尻　4.東飯坂
17.　晩秋の西神戸　ゆったりとした神戸の田舎　≪櫨　谷≫　2015.11.28.　15walk17.pdf
新発見　看板にひきつけられて　・街道筋の「餡子製造所」　・神戸牛牧場と JA「レインボーショップ」コラボ

【写真アルバム】　大工道具の歴史を実物展示する大工道具博物館

お勧めの博物館「竹中大工道具館」新館　神戸布引　2015.2.13.

昨秋新神戸駅横に素晴らしい和風展示館がオープン

2 月 13 日の午後　ぽかぽか陽気に久しぶりに三宮へゆこう･･･と。 前々から訪れたくて気になっていた日本で唯一の大工道具の専門博物館「竹中大工道具館」へいって、ゆったりと大工道具の数々とその技を眺めてきました。

神戸市中山手にあった日本で唯一の大工道具の専門博物館「竹中大工道具館」。施設の老朽化や展示・収蔵スペースの不足等を解消するため、昨年 10 月、新神戸駅のすぐ南東　六甲・布引の緑豊かな地に新神戸駅前の緑豊かな地に移転オープンした。

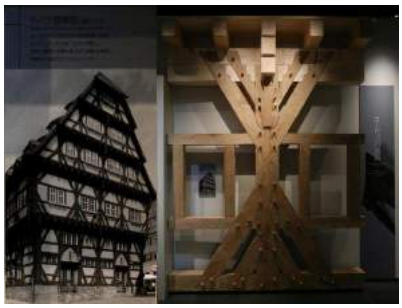
これまで展示しきれなかった収集品の中から、選りすぐった約1千点の大工道具実物の展示を中心に、 大工道具の歴史と巨木から建築木材加工への匠の技を実物と映像で解りやすく展示する。

六甲連山の緑をバックにした広い日本庭園の中、 大手ゼネコン竹中の現代技術の粋を集めた日本風建築の展示館が周囲に調和して建っている。 木の香りが漂う落ち着いた空間の中で　ゆっくりと展示を楽しめるのもうれしい。

縄文の巨木が石斧で切り倒される技　それが板や柱に切り分けられる技に継ぎ手・木組み加工　そして鉋で削られた透き通るほど薄いカンナくずや鋸も面白い。

吹き抜け空間には最近修復された高さ7メートルを超える原寸大の唐招提寺金堂の復元柱と組物など現代の匠たちの手による最高の職人技を詰め込んだ模型も展示され、大工道具を駆使した匠の技がそっくりそのまま見られる。 また、縄文から現代に至るまでの木材加工の大工道具とそれを使った匠の数々の木材加工の技が実寸展示され、それらを駆使する実際の加工映像が目の前のモニターに映し出され、実におもしろい。

鑿や鉋の素材はたたら製鉄の玉鋼と地鉄の組合わせが可能にしてもあの薄い鋸歯は無理か?　ふと頭に思い浮かべましたが、やっぱり玉鋼と地鉄の古来の鍛冶技術。現在はほぼ「安来鋼」に置き換わっていと聞く。 これも伝統の製鉄技術。



和風の門をくぐり、展示館1階の広い空間の椅子に座って
ゆっくり周囲を眺めているだけでも楽しい。
大きくはないが、我々にはうれしいお勧めの大工道具博物館。

2015.2.13.　by Mutsu　Nakanishi

≪ 竹中大工道具館　2015.1.13. ≫

新神戸駅のすぐ横　布引谷の山裾　緑に包まれて　博物館とは思えぬ和風のたたずまいの竹中大工道具館の新館が建っている

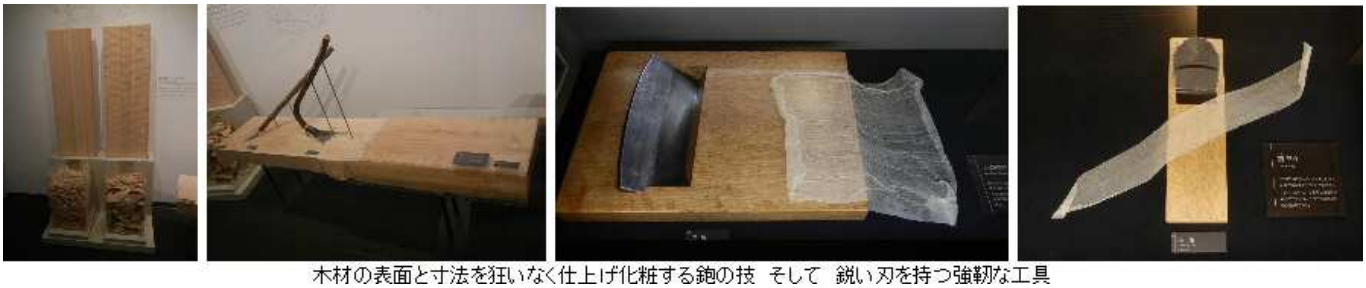
木の香りが漂う広々とした1階　展示室はB1・B2に埋め込まれていて、和風建物の地下に広々とした展示館が埋まっているようには見えない

縄文から引き継がれてきた技　石斧で巨木を切り倒し、それを割って板材に加工する

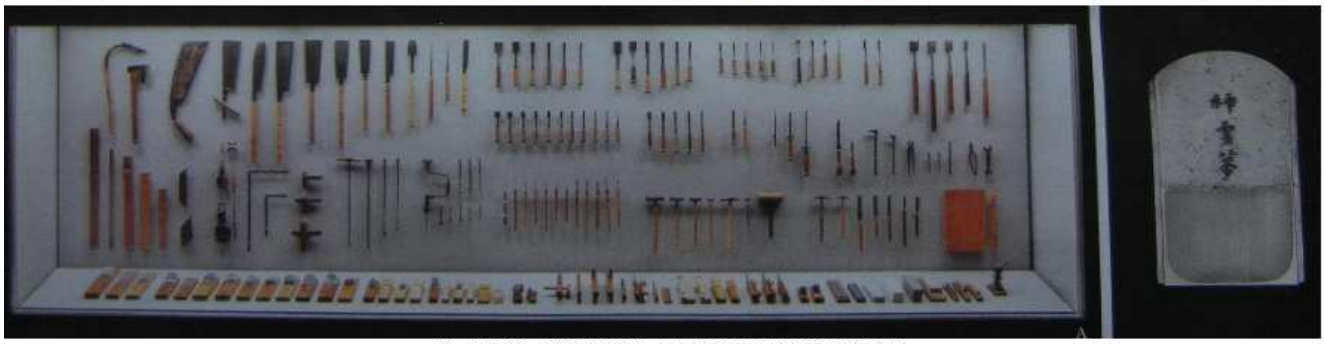
今更ながら大変な技だと　鋸無しで板材ができるなど　想像もつかない

巨木の加工から木材そして継ぎ手・木組みへ　しなやかな木造建築の要　鋸と鑿

高さ7メートルを超える原寸大の唐招提寺金堂の復元柱と組物　木材と大工道具が作り上げた匠の技　継ぎ手・木組



木材の表面と寸法を狂いなく仕上げ化粧する鉋の技　そして　鋭い刃を持つ強靭な工具



鋭い刃を持つ強靭な工具　たたらの匠の技が光る鍛冶場

≪ Photo Album　竹中大工道具館　2015.1.13.≫

縄文の巨木が石斧で切り倒される技　それが板や柱に切り分けられる技に継ぎ手・木組み加工　そして鉋で削られた透き通るほど薄いカンナくずや鋸も面白い。
ふっと　鑿や鉋の素材はたたら製鉄の玉鋼と地鉄の組合わせが可能にしても　あの薄い鋸歯は無理か?と思いましたが、やっぱり玉鋼と地鉄の古来の鍛冶技術。現在はほぼ「安来鋼」に置き換わっていると。これも伝統の製鉄技術である。
また、六甲連山の緑をバックにした広い日本庭園の中に調和して、竹中の現代技術の粋を集めた日本風建築の展示館が建っている。木の香りが漂う落ち着いた空間の中で　ゆっくりと展示を楽しめるのもうれしい。
和風の門をくぐり、展示館1階の広い空間の椅子に座ってゆっくり周囲を眺めているだけでも楽しい。
大きくはないが、我々にはうれしいお勧めの大工道具博物館である。

神戸市中山手にあった日本で唯一の大工道具の専門博物館「竹中大工道具館」。 施設の老朽化や展示・収蔵スペースの不足等を解消するため、昨年10月、新神戸駅のすぐ南東　六甲・布引の緑豊かな地に新神戸駅前の緑豊かな地に移転オープンした。
これまで展示しきれなかった収集品　3万点余りの中から、選りすぐった約1千点の大工道具を中心に、大工道具の歴史と匠の技を展示する大工道具博物館。 吹き抜け空間には、高さ7メートルを超える原寸大の唐招提寺金堂の柱と組物など現代の匠たちの手による最高の職人技を詰め込んだ特別な模型も展示され、大工道具を駆使した匠の技がそっくりそのまま見られる。
　また、縄文から現代まで　木材加工の大工道具とそれを使った匠の数々の木材加工の技が実寸展示されるとともに、モニターには実際の加工映像が目の前のモニターに映し出され、実に面しろい。

財団法人 竹中大工道具館
TAKENAKA CARPENTRY TOOLS MUSEUM

展示概要 | OUTLINE OF THE EXHIBITION

展示品と来館者の距離を縮める解説システム

□ 見たままナビ

「見たままナビ」とは、より詳しく知りたい資料の情報が一目でわかるタッチパネル式の解説ツールです。展示レイアウトをそのまま画面で再現していますので、知りたい資料をタッチするだけで映像や写真の入った解説画面が現れます。2F・3Fの要所ポイントに設置されています。

・見たままナビ第1画面
ご覧になりたい資料のどこをタッチ。

・第2画面
使用方法が分かります。
ご覧になりたい資料をタッチ。
前に戻る（バックを押すと第1画面に戻ります。

・第3画面
資料に関する解説や映像が画面に現れます。
「早送り」バックを押すと第2画面に戻ります。

□ ビデオライブラリー

大工道具を伝えていくにはモノの保存だけではなく、使い方や作り方もあわせて残すことが大切です。当館ではこれら無形の技を映像として記録し、50作品以上を館内で公開しています。各階展示の他に、団体利用者には1F多目的ルームにて、個人利用者は3Fライブラリーにてご希望の映像をご覧になることができます。

映像作品「海の歴史」

八手鉋刃裏　徳川一夫　一位口清野鉄工所 平成28年

手斧大入型　天面　一位口 美作　鍛冶 相野

1F 極める To Master

「用を極め、美に至る」
機能を超えて、輝きを放つ道具たち。

当館のシンボルである法隆寺五重塔。その後には最盛期の大工道具179点を名工品を展示。

大工は、職人気質（かたぎ）といわれるように、仕事の質にかかわる道具については並々ならぬこだわりをもってきました。鍛冶も大工の心意気に応じようと、心を込めて優れた道具をつくり出してきました。
このフロアでは職人たちが自らの道を極めて生み出した数々の道具を紹介します。
中央には当館のシンボルとして宮大工が自己研鑽のために構造もそのままに作り上げた法隆寺五重塔模型を設置。両脇の展示台では名工が鍛え上げた美しい輝きを放つ道具が間近にご覧になれます。正面奥では最盛期の大工道具一式179点をすべて揃えた壁面展示を用意しました。

鉋刃「神喜夢」千代鶴是秀

❶ 法隆寺五重塔 ❷ 真棒の無垢板 ❸ 名工が鍛えた道具
❹ 企画展示コーナー ❺ 大工道具の標準編成

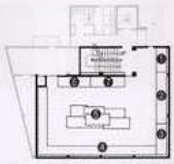
江戸鑿の型　千代鶴是秀

2F 造る Construct

木で建築を造る大工の技。鉄で道具を作る鍛冶の技。

「木を組む」と「手仕事と道具」の展示。道具の使い方が模型と見たままナビで理解できます。

「木の建築はどのように造られているのか」がテーマです。山から木を伐り出して材木に製材する職人が使う大型の道具を手始めに、大工が部材の荒加工から仕上げに至るまでに使う一連の道具を詳しく解説しています。各コーナーでは道具の使い方と作り方が模型や映像で直感的に理解できます。
中央の展示台にはさまざまな木組みや仕上げの見本を展示しました。後半には大工と鍛冶の実際の作業風景が分かりやすくイメージできる仕事場再現コーナーを用意しました。



❶ 日本の樹 ❷ 伐木と製材 ❸ 設計と用材
❹ 手仕事と道具 ❺ 木を組む
❻ 鍛冶の仕事場 ❼ 大工の仕事場

伐木と製材の道具

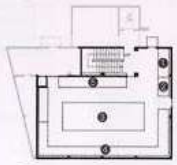
鍛冶の仕事場

3F 伝える Hand Down

道具の歴史を振り返る。世界の道具と見比べる。

「道具の歴史」コーナー。中央では大型模型と見たままナビで重要ポイントが理解できます。

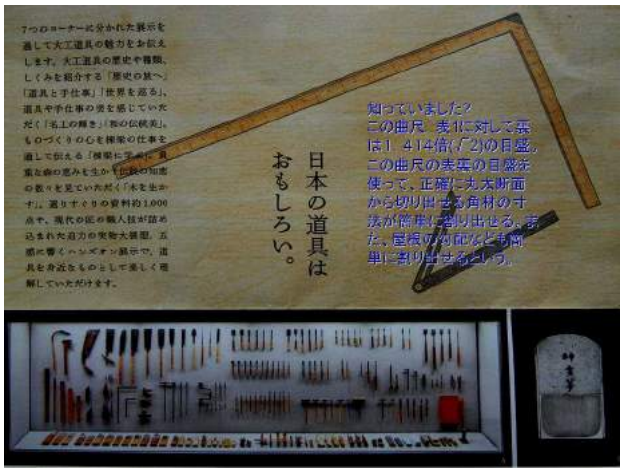
「道具はどのように伝えられてきたのか」をテーマに、日本における道具の発達史をトピックごとに振り返ります。日本建築史を背景に、時代を代表する建築と、それを造るために使われた道具の復元品や実物を対比的に紹介しています。また中央には歴史のターニングポイント（転換点）を直感的に理解できる迫力の大型模型を設置しました。後半は視野を海外に広げ、アジアやヨーロッパの道具と比べながら形や使い方にどのような共通点や違いがあるのかを、世界でも有数のコレクションを使って解説します。



❶ ガイダンス映像 ❷ 建築工人の世界
❸ 歴史の転換点 ❹ 道具の歴史
❺ 海外の道具

中国の道具

ヨーロッパの道具


7つのコーナーに分かれた展示を通して大工道具の魅力をお伝えします。大工道具の歴史や種類、しくみを紹介する「歴史の旅へ」「道具と手仕事」「世界を巡る」、道具や手仕事の美を感じていただく「名工の輝き」「和の伝統美」、ものづくりの心を標榜の仕事を通して伝える「標榜に学ぶ」、貴重な森の恵みを生かす伝統の知恵の数々を見ていただく「木を生かす」。選りすぐりの資料約1,000点や、現代の匠の職人技が詰め込まれた迫力の実物大展示、五感に響くハンズオン展示で、道具を身近なものとして楽しく理解していただけます。
日本の道具はおもしろい。
知っていました？
この曲尺、表裏に対して表は1.414倍(√2)の目盛。
この曲尺の表裏の目盛を使って、正確に丸太断面から切り出せる角材の寸法が簡単に割り出せる。また、屋根の勾配など手間単に割り出せるという。

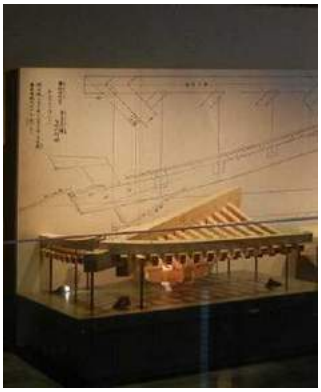
石から鉄へ
石斧で大木を切り、丸太を割る
すでに縄文時代にそんな技術があった

鉄器の登場
石斧の時代

実証　石斧で大木が切れる
くさびで丸太が真っ二つ
きれいに割れる!!

鋸がない時代　板を作るのは大変!!

規矩術を修める：
二軒隅組模型
木を刻む:加工途中の唐招提寺金堂部材

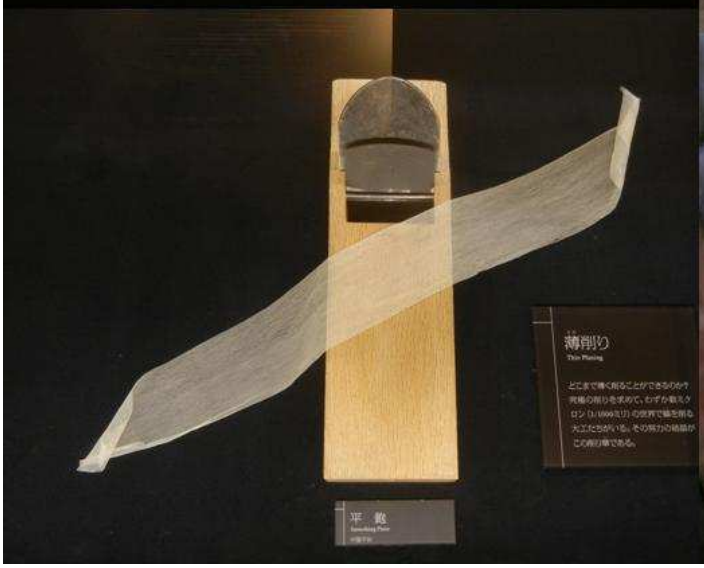


唐招提寺金堂の柱と組物

木を生かす 鋸・鉋の技

樹から材へ 伐木製材道具

鉋


薄削り
Thin Planing
どこまで薄く削ることができるのか？究極の削りを求めて、わずか数ミクロン（1/1000ミリ）の世界で鉋を削る大工たちがいる。その努力の結晶がこの削り屑である。
平 鉋

鋭い刃を持つ強靭な工具　たたらの匠の技が光る鍛冶場

日本で唯一の大工道具の博物館「竹中大工道具館」

消えゆく「大工道具」を収集・保存し、研究・展示を通じて後世に伝えていく

緑の中に　木の香りが漂う　ゆったりとした空間　お勧めの博物館です　　2015.2.13　　by Mutsu Nakanishi

【写真アルバム】春の妖精　カタクリの花

西播磨 たたらの里 佐用 旧三日月町　弦谷カタクリの群生地

春の妖精
「カタクリの花」
2015.3.22.

花言葉は
「初恋」・「寂しさに耐える」

地球氷河期の生き残り
8年かけて 地表に顔をだし
日陰の山腹の斜面で　冷たい風に身を打ち震わせ
立ち向かう姿に　心をゆさぶられる

奥深い山間を古代たたらの里を育んだ
千種川と志文川が流れ下る
四季折々　花が咲く静かな花の山郷
兵庫県播磨 佐用町

その里山の傾斜地に
春の訪れを告げる「片栗の花」の群生地
旧三日月町 弦谷

古代たたらの里を育んだ奥深い山間を 清流千種川・志文川が流れ下る西播磨の山郷 佐用町
その里山の傾斜地に春の訪れを告げる「片栗の花」が咲く 旧三日月町 弦谷

春の妖精　カタクリ 2015.3.22.

花言葉は「初恋」・「寂しさに耐える」

地球氷河期の生き残り
日蔭の斜面で、8年かけて顔を出し
冷たい風に身を打ち震わせる
その姿に心を揺さぶられる

春の訪れを告げる「片栗の花」が咲く
西播磨 旧三日月町 弦谷

春の妖精「カタクリの花」

梅の花が咲き、桜の花便りが届き始めると
毎年　気になる春の妖精「カタクリの花」
花言葉は「初恋」「寂しさに耐える」

冷たい風に立ち向かって　身を打ち震わせる
愛らしいピンクの花「カタクリ」
おもわずわず「頑張れよ」と

私の一番　好きな花
３月２２日　西播磨弦谷の群生地で咲き始めたと聞いて、今年も西播磨弦谷へ

もう毎年ですが、「また　一年　ガンバロウ!!」と元気をもらう花になりました。

2015.3.22.　by Mutsu Nakanishi

2015.3.22 第三日月引敷谷 カタクリの群生地で

吹き付ける冷たい風に まっすぐ顔を向け、身を震わせて立ち向う愛らしいピンクの花。
ちょっと時期が早かったのですが、
また　１年　元気にがんばろう!!
2015. 3. 22.　佐用町弦谷で
Mutsu　Nakanishi

【スライド集】　春の妖精カタクリの花　　2015.3.22.

西播磨たたらの里佐用旧三日月町弦谷カタクリの群生地

春の妖精
「カタクリの花」

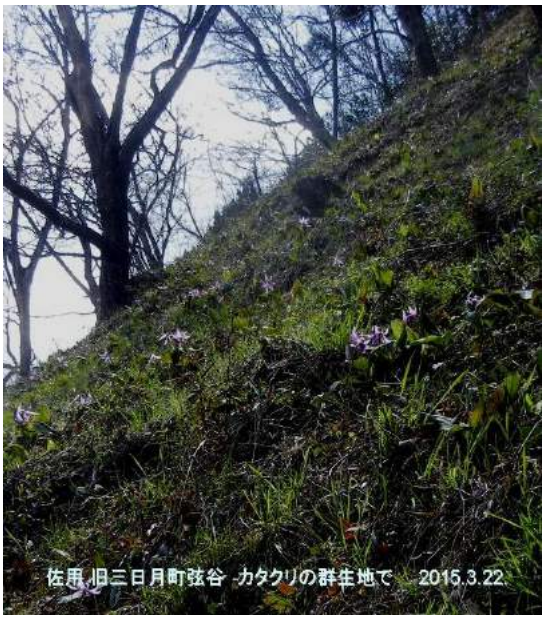
2015.3.22.

花言葉は
「初恋」・「寂しさに耐える」

地球氷河期の生き残り
8年かけて 地表に顔をだし
日陰の山腹の斜面で　冷たい風に身を打ち震わせ
立ち向かう姿に　心をゆさぶられる

奥深い山間を古代たたらの里を育んだ
千種川と志文川が流れ下る
四季折々　花が咲く静かな花の山郷
兵庫県播磨 佐用町

その里山の傾斜地に
春の訪れを告げる「片栗の花」の群生地
旧三日月町 弦谷



2015.3.22.　旧三日月町弦谷　　右手の山裾に群生地がある
弦谷から山越えして　スプリング8のある播磨科学公園都市を経由して相生への道の入り口

2015.3.22.　佐用 弦谷のカタクリの花が咲き始めたと聞いて、ちょっと早かったのですが、待ちかねた春の妖精「カタクリの花」に出会ってきました　　2015.3.22.

2015.3.22.　旧三日月町弦谷　カタクリの群生地
まだ　ちょっと冷たい風の中　元気なカタクリに出会えました

2015.3.22.　旧三日月町弦谷　カタクリの群生地

2015.3.22　旧三日月町弦谷　カタクリの群生地

2015.3.22　旧三日月町弦谷　カタクリの群生地

春を告げる妖精「カタクリの花」
花言葉は　　「初恋」・「寂しさに耐える」
地球氷河期の生き残り
日陰の山腹の斜面で
冷たい風に身を打ち震わせる姿に
いつも　心をゆさぶられる

「ガンバレヨ!」と声を掛けたくなる花から
「また、一年　ガンバロウ!!」と
元気をもらう花になりました

2015.3.22.　by　Mutsu Nakanishi

風来坊 2015
【3】

【スライド動画】春蘭漫　2015 神戸花便り

新生の息吹に満ちて　芽吹きを迎えた里山の春　花景色　*2015. 4. 10.*

1. 西神戸　春の香りを漂わす　梅満開の雌岡山　　西神戸　神出雌岡山
2. 西播磨　春の妖精　カタクリの花　　西播磨　佐用町旧三日月弦谷
3. 西神戸　芽吹きを迎えた里　土筆・タンポポ・桜　　西神戸　高和　性海寺の里
4. 修復された白鷺城　&　きらきらの須磨の海　　姫路城　&　垂水平磯海釣り公園
5. 東神戸　魚崎運河　アーモンドの並木道　　桜に先立ちピンクの花を枝いっぱいに
6. 神戸の桜　我が町の若草町の桜　　須磨　若草山
7. 京都洛北　芽吹の里　野山を彩る満開の桜・菜の花　　京都　御所・高野川・大原街道
8. 芽吹きの里山にピンクの三つ葉つつじ　　須磨　若草山

春の訪れ「梅」　西神戸 神出　雌岡山梅林で　2015.3.16.

春の足音「土筆」　西神戸 高和 性海寺の里で　2015.4.2.

春を楽しく「たんぽぽ」　西神戸 高和 性海寺の里で　2015.4.2.

春の妖精「かたくり」西播磨 佐用町　旧三日月町弦谷　2015.3.22.

希望の春「アーモンド」東神戸魚崎運河 アーモンドの並木道 2015.3.26.

春蘭漫「さくら」　西神戸 高和 性海寺の里で 2015.4.2.

若草町の 街桜　須磨 若草町　2015.4.2.

里山「春の息吹」　京都 大原街道 八瀬　2015.4.8.

御所 一本桜「車返桜」　京都御所　2015.4.8.

ぱっと明かるく 春蘭漫「たんぽぽ」　京都 大原の里　2015.4.8.

春の空気を胸一杯「ミツバツツジ」須磨 若草山 2015.4.10.

春 蘭漫　京都 大原街道 八瀬　2015.4.8.

須磨　若草町で　2015.4.10.

毎日眺める若草山･須磨アルプス　芽吹きで　モノトーンから若葉色へと変化を見せる

1. 西神戸　春の香りを漂わす　梅満開の雌岡山　　西神戸　神出雌岡山　　2015.3.16.

2. 西播磨　春の妖精　カタクリの花　　西播磨　佐用町旧三日月弦谷　　2015.3.22.

毎年春一番待ち遠しい花　≪かたくり≫　冷たい風に身を震わせ、立ち向う愛らしいピンクの花に今年も出会えました

3. 西神戸　芽吹きを迎えた高和　性海寺の里で　土筆・タンポポ・桜　2015.4.2.

毎春のたのしみ　土筆採り　今年はちょっと出かけるのが遅かったのですが、土筆だけでなく
芽吹きを迎えた素晴らしい西神戸の里山の春景色を楽しめました

赤いダイヤ「イチゴ 」 伊川谷の農園から香港へ

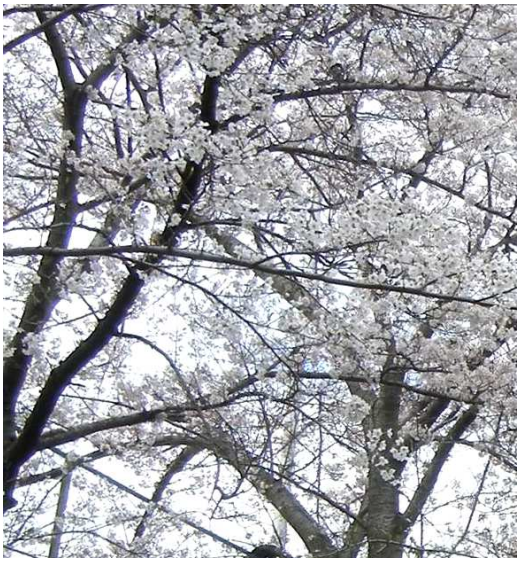
西神戸 伊川谷 森本さんのイチゴが香港へ 何とはなしにうれしい

4. 修復された白鷺城 ＆ きらきらの須磨の海

姫路城　2015.3.22. ＆　垂水平磯海釣り公園　2015.4.4.

5.　東神戸　魚崎運河　アーモンドの並木道　　桜に先立ちピンクの花を枝いっぱいに　2015.3.26.

6. 神戸の桜　我が町の若草町の桜　　須磨　若草山



7. 京都洛北　芽吹の里　野山を彩る満開の桜･菜の花　　京都　御所･高野川･大原街道

◆ 京都御所で 2015.4.8.

京都御所 2015.4.8.

京都御所 2015.4.8.

車返桜
京都御所 2015.4.8.

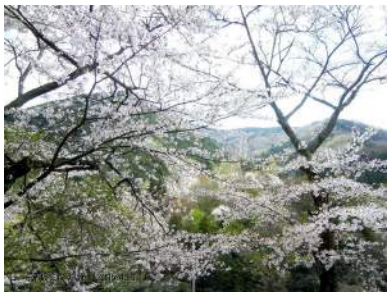
◆ 松ヶ崎・疏水 & 高野川 大原街道

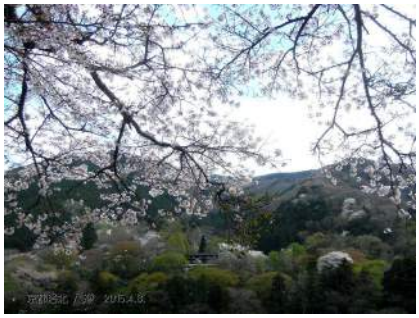
40
京都 高野川 大原街道 2015.4.8.

京都 洛北 散り初めの桜 2015.4.8.
◆ 八瀬
京都洛北 八瀬 2015.4.8.

京都洛北 八瀬 2015.4.8.

京都洛北 八瀬 2015.4.8.





◆ 洛北 大原の里 2015.4.8.
桜と一緒に 原を真っ黄色に染める菜の花に
京都 大原 2015.4.8.

◆ 大原から静原を抜けて 岩倉へ戻る 2015.4.8.

8. 芽吹きの里山にピンクの三つ葉つつじ　　須磨　若草山　　2015.4.10..

2015.4.10.　by Mutsu Nakanishi

【スライド動画】　真っ青な空のもと　草木燃える新緑の中で

新緑の須磨アルプス　東山を楽しむ

2015. 4. 22.

自然の空気を胸いっぱい吸い込んで…

不順な天候の中　桜が散るとともに　　真っ青な空が戻って
一気に 野山は草木が燃える新緑の季節に
素晴らしい新緑の季節 眼前の須磨アルプスの山並みも若草色に
自然の空気を胸いっぱい吸い込んで……

青空が広がる午後　ふと　思いついて
久しぶりに　須磨アルプス東山･馬ノ背へ
新緑の中の散策路を　ゆったりと歩きました

◎　須磨アルプス山麓を巡る横尾道で

横尾団地･妙法寺駅の南側　須磨アルプスの北側山裾を巡る山麓の散策路　横尾道で見た春の野草の花　2015.4.22.

◎　新緑のトンネルを抜け、 新緑の間から眼下の住宅地を眺めながら須磨アルプス　東山の山腹を登る散策路

いつも自宅から眺める南側の東山から　今日は逆に自宅の方向を眺める　2015.4.22.

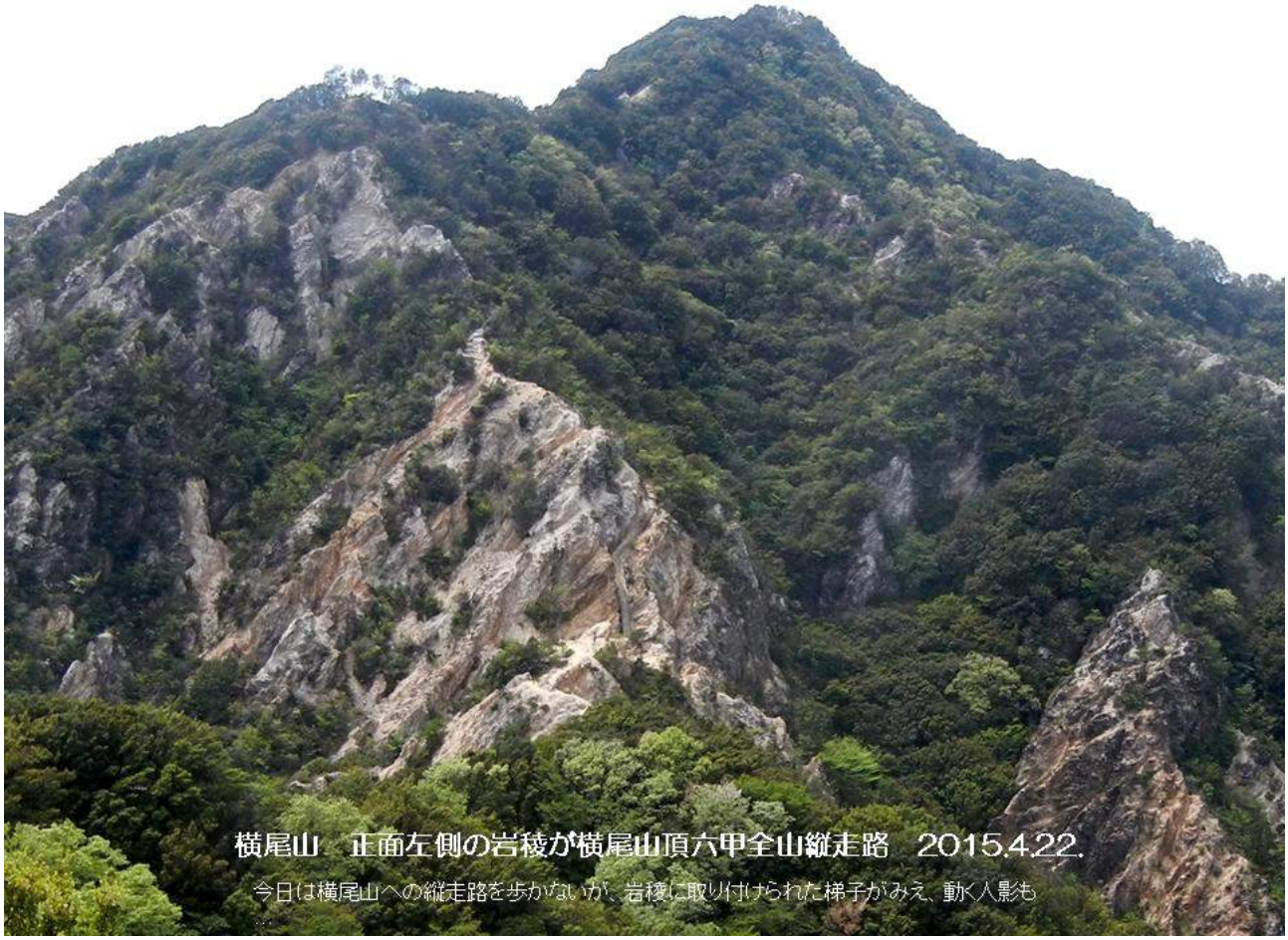
◎　東山山頂部から眺める　岩稜の六甲全山縦走路　馬ノ背・横尾山

須磨アルプスの稜線に出て、一気に視界が開け、新緑の中から周囲を見渡せる　楽しみに登ってきた眺望

緑の中　岩肌の向こうが開け　急な階段　これを登れば　稜線　全山縦走路　東山の山頂部　期待が高まる

東山より西側　馬ノ背・横尾山を正面に左:須磨海岸　右:西神戸のニュータウン

東山より北側　横尾山の北側に広がる奥須磨・名谷のニュータウンから右端に北東側　高取山



横尾山　正面左側の岩稜が横尾山頂六甲全山縦走路　2015.4.22.

今日は横尾山への縦走路を歩かないが、岩稜に取り付けられた梯子がみえ、動く人影も

馬ノ背から横尾山岩稜を登る稜線尾根の縦走路に人影　2015.4.22.

鳥ノ巣を行く鹿せ尾根を眺める　2015.4.22

須磨寺を大山手に上り、縦走路をさらに東へ板宿側へ下る　2015.4.22

東山より　南側　須磨海岸遠望

東山より　南側　須磨海岸　遠望　2015.4.22

東山より　南西側　六甲全山最高峰の西端　鉄拐山・旗振山　遠望　2015.4.22

◎　東山から　馬ノ背･横尾山とは逆の東側へ全山縦走路を下る

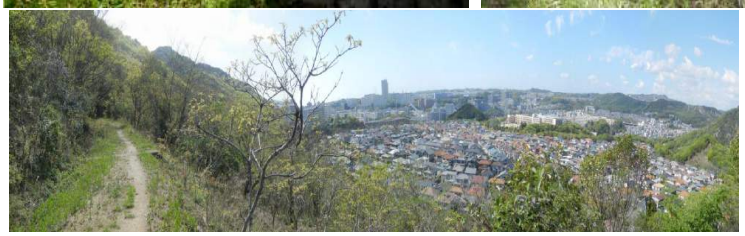
東山頂上から　南　大阪湾側　須磨から神戸市街地の眺望　2015.4.22.

横尾山から東山へと馬の背を通るのにはあまり気にならぬが、東山から馬ノ背･横尾山の急峻な岩稜の梯子を見るとよじ登って通過する気にはなれず、今回も反対側の東山から東の板宿側へ縦走路へ下ってゆく。

ついでながら　東山頂上で話をしていると、老齢の女の人が馬ノ背へ降りて、そこから横尾山へ登らず、横尾山への取月付き付きの梯子の所から妙法寺へ下る道を降るのだと。
以前妙法寺から歩いたことのある谷筋の踏み跡道と思うのですが、整備されていて気楽に下れると聞く。
ほかの人もちゃんとした道だという。　次回は是非歩いてみようと････。

東山の頂上から、今度は神戸市街地など東側の眺望を楽しみながら全山縦走路を東へ下り、途中縦走路の横尾道への分岐から、東山山腹を西へトラバースしながら、元の横尾道登り口へと戻りました。

東山を東へ下る途中　板宿方面への縦走路から左に分かれ　横尾道へ戻ってゆく　2015.4.22.



東山北側山腹を西へトラバースして　元の横尾団地･妙法寺駅側の横尾道へ降りつきました

真っ青な空の下　柔らかな緑の中
自然の空気を胸いっぱい吸い込んで･･･
気分爽快
約３時間ほど　ゆったりとした気分で、
新緑探索を楽しみました
　2015.4.22.　by Mutsu Nakanishi

新緑の山を彩る純朴な大輪の花　シャクナゲ　2015

六甲森林植物園　石楠花谷　2015.4.27.

不順な天候が続いた４月　桜が散った下旬　真っ青な空が戻って　一気に 野山は草木が燃える新緑の季節に
自然の空気を胸いっぱい吸い込んで素晴らしい新緑の季節　　眼前の須磨アルプスの山並みも若草色に
新緑の山を彩る純朴な大輪の花「シャクナゲ」　今　咲き出したと聞く

毎年　新緑の野山を飾る純朴な大輪の花「シャクナゲ」今年　関西のシャクナゲは裏年にあたる? とか
天然記念物　近江日野の鎌掛谷の日本シャクナゲを久しぶりにと思っていましたが、つぼみが非常に少なく、いつものような山の崖全面に咲き乱れる姿が期待できないと聞く。毎年出かける六甲の森林植物園の石楠花谷はどうか?
気になりながら、森林植物園の石楠花谷に出かけました。
谷の入口にはいつも通り大輪の花が一杯。良かったと。
でも谷に入るとやっぱり　花が少なめ。ホソバシャクナゲの開花はこれからですが、本当につぼみも少ない。
でも　新緑の谷筋に咲く一つ一つが例年になく美しい。
新緑の山の中　谷一面に咲く純朴な大輪の花「石楠花・シャクナゲ」
「大輪の豪華で鮮やかな美しさ」を愛でて、人は「花の女王」「高嶺の花」と言います。
でも、私には　そんなツンとすました独孤の花というより、新緑に包まれた野山で、枝の先に四方一杯に手を広げた葉の上に乗っかって咲く清楚で純朴な淡い色合いの大輪の花　日本シャクナゲの美しさに惹かれます。
今年も 4.27.晴天の午後　六甲森林植物園の石楠花谷を訪ね、そんな美しい石楠花に出会うことができました。

六甲森林植物園　　見事に咲いたシャクナゲが出迎えてくれる石楠花谷の入口　2015.4.27.

石楠花谷の入口を飾る淡いピンクのツクシシャクナゲ（本シャクナゲ）　　2015.4.27.

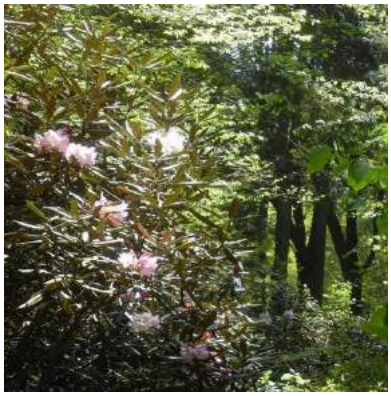
ツクシシャクナゲ

アズマシャクナゲ

例年だともっと多くの石楠花が咲き乱れる谷すじですが、今年は例年より少ない　　でも　いつもより　美しく見える

学芸員の人によれば、「花の裏年」とは言わず、どうも　昨夏の台風の影響かも・・・・・と

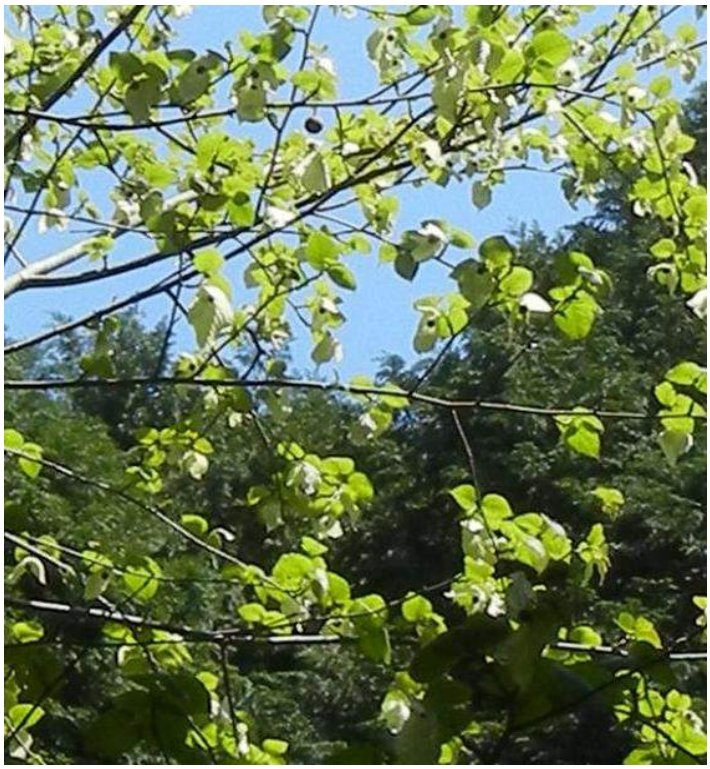
2015.4.27.　六甲森林植物園　石楠花谷



石楠花谷の散策路にはピンクのコバノミツバツツジ
真っ赤なキリシマツツジなどツツジも満開　2015.4.27.

石楠花谷の一番奥の斜面に咲くホソバシャクナゲ　　2015.4.27.

石楠花谷の一番奥の斜面にホソバシャクナゲの群落があり、時期的にはいつも咲くのが遅れますが、
今年は本当に蕾も少なく、天候不順の影響をもろに受けているようだ



石楠花谷に新緑の五月のさわやかさを吹き込むかのよう　ハンカチの木も白いハンカチを一杯　2015.4.1.

新緑に包まれた六甲森林植物園の森　　2015.4.27.

氷上回廊の分水嶺直ぐ北に自生するクリンソウ

丹波市市島町　妙高山のクリンソウ群生地　2015.5.19.

丹波篠山の北　日本一低い分水嶺　氷上回廊　分水嶺のすぐ北　市島町妙高山の小さな谷筋の湿原で街の人たちの保護活動に守られて、今　クリンソウが　美しいピンクの花をつけていると聞いて、5 月 19 日　立杭の陶芸美術館へ行った帰りに出かけました。

氷上回廊・水別れの北側　丹波市市島町の妙高山の
小さな谷筋の湿原で近年見つかった クリンソウ群生地。
大昔、幾多の動植物がこの回廊を南北に行き交い、
数多くの動植物が日本列島に広がっていったという。
クリンソウはどうだったのでしょうか?

クリンソウは六甲高山植物園の湿地にも毎年咲くので、
貴重な花との思いはありませんでしたが、兵庫県内の自生地は
ごく少なく、レッドデーターブック B に指定されている貴重な
花だと。
昨年　近代製鉄発祥地釜石の橋野高炉跡を訪ねた時に、
高炉跡に咲くピンクのクリンソウが周囲の緑に映えて、
すごく印象的で　今年は是非クリンソウの自生地を訪ねようと。

日本最古の近代高炉跡　釜石橋野高炉跡にひっそりと咲くクリンソウ　2014.6.7.

妙高山の山合いの小さな谷川が流れる狭い谷筋のひっそりとした湿地に、大きな緑の葉を精一杯　放射状に地面際に広げ、その中央から細い花径を垂直に伸ばし、先端近くに数段に渡って王冠状の小さなピンクの花の輪を咲かせて幾つも林立している。

「一つ手折って　花飾りとして胸に刺してみたい」
そんな感じを抱かせてくれる。
派手さはないが、蒸し暑い梅雨前のこの時期に
花言葉「幸福を重ねる」をそのままに
ゆったりと気持ちをすっきりと心地よくしてくれる花。
新緑の谷筋に林立して、心地よい空間を演出する可愛らしいクリンソウに出会ってきました。

妙高山のクリンソウ

クリンソウとは

クリンソウ（学名 Primula Japonica ）はサクラソウ科、サクラソウ属の多年草で、花の咲き始めは４月末、見ごろは５月中旬です。大きな根性葉から高さ 30 センチ～50 センチほどの花茎をだし、濃い紫がかったピンク色のかわいい花を車輪状に数段つけます。和名「クリンソウ」の由来は、輪生する花を仏塔の上に立つ「九輪」に見立てたものです。別名「ナナカイソウ」七階草・「シチジュソウ」七重草ともいう。実際には九段あるものは少なく、四つ葉のクローバーを探すより難しいものです。花は６月になると散りはじめ花の後に種子を形成していきます。果実は熟すと株が裂け種子が散布され、適地に着地すると増えていきます。クリンソウには全草にサポニン類の成分があり、シカやイノシシなど動物に食べられることがないとされています。

妙高山のクリンソウ

クリンソウは丹波市での自生は珍しく、兵庫県ではレッドデータブック B ランクに指定されている絶滅を危惧されている貴重な植物です。

妙高山のクリンソウは、今のところ食害にあったり荒らされたりすることなく少しずつ範囲を広げつつあります。当地区では地元住人、自然研究家、植物愛好家が中心となり、クリンソウの生育の邪魔にならないようなるだけ自然のままの状態で自生地を保護すること、自然観察道及び周辺整備に心がけ管理に努めています。

見学者の皆様もルールを守り群生地の保護にご協力をお願いいたします

1．　採集は絶対にしないでください。

2．　足元にあるクリンソウを踏まないように気を付けてください。

3　　ゴミは捨てないでください、すべて持ち帰ってください。

連絡先「妙高山のクリンソウを守る会」　TEL 0795-85-2457　鴨庄コミセン内

梅雨の前 初夏の湿原で密かに咲くクリンソウ
《九輪草》

《クリンソウの花言葉》

『幸福を重ねる』

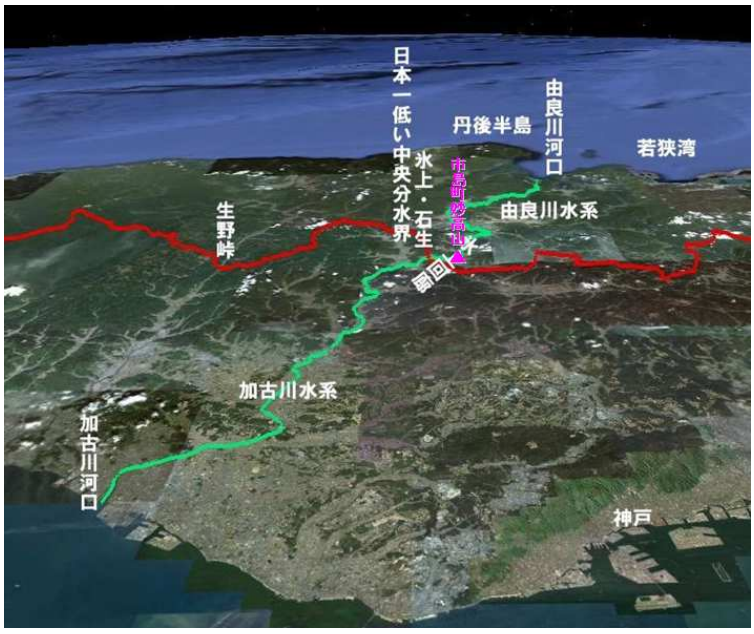
クリンソウはサクラソウ科の日本原産の多年草。

花の輪が下から先端に上って何段にも重なることから、またはお寺の塔の九輪のように見えることから「**クリンソウ**（九輪草）」と名づけられた。

5～6月に北海道から本州・四国に分布し、山地の湿地などで自生。
茎は50㎝ほどですがときには１ｍ近くにも伸ばす。
葉は薄緑色の長楕円形で長さ10～20㎝と大きく、縁にはギザギザがあり、花色は白やピンク、濃桃色で、長く伸ばした茎先に、3～7段ほど茎を取りまいて車輪のようにつく。

古窯 立杭の郷の田園風景　　2015.5.19.

日本一低い分水嶺 石生 水別れを越えて 春日町に入り、由良川へ合流する黒井川に沿って北へ　2015.5.19.



日本一低い中央分水界　丹波市氷上町石生　「水別れ」　2011.5.14.

日本一低い分水嶺　石生 水別れを越えて　春日町に入り、　由良川へ合流する黒井川に沿って北へ田園地帯が広がる中を市島町へ。　まもなく市島町の街中の JR 市島駅の所で国道を離れ、東へ県道 59 号線へ曲がり、黒井川から竹田川と名を変えて北へ流れ下る由良川分流の橋を渡り、鴨庄の郷を妙高山山麓へ向かう。「クリンソウを守る会」の旗が要所に立っている旗を頼りに田園地帯が広がる明るい谷筋へ入ってゆく。舞鶴若狭自動車道の高架をくぐって、神池寺への道路標識で右に折れ、間もなく谷筋が狭くなってきたところに、クリンソウの旗と妙高山神池寺の案内板があり、狭い谷筋道を妙高山山腹にある神池寺へ向かう道に入れば、まもなく　妙高山クリンソウの群生地。　道がいいので、篠山市の立杭から約 1 時間ほどで到着。

集落を外れ、妙高山の山腹を登る坂道を少し登るとクリンソウの旗がみえ、群生地の入口に

入口から　山際に沿って奥へ　群生地へ入ってゆくが、すぐ横の谷の出口の湿地にもクリンソウが咲いているのが見えるが、案内標識に沿って　山道を奥の狭い谷筋を登ってゆく。小さな谷川に沿って少し登ったところから谷川沿いにクリンソウが咲いている。　もう４時前　谷筋には陽が入らず、入口の陽の当たる湿地の明るい色とは違った濃い色に。

谷筋を少し登ると道の横の谷川の縁の平地にクリンソウが咲いているのが見えてきた　2015.5.19.

日陰の谷筋、谷川に沿って　クリンソウが咲く群生地で　2015.5.19.

日陰の谷筋　谷川に沿って　クリンソウが咲く群生地　2015.5.19.

自生のクリンソウ群生を楽しみ、元来た道を引き返す　2015.5.19.

妙高山のクリンソウ

クリンソウとは

クリンソウ（学名 Primula Japonica ）はサクラソウ科、サクラソウ属の多年草で、花の咲き始めは4月末、見ごろは5月中旬です。大きな根性葉から高さ 30 センチ～50 センチほどの花茎をだし、濃い紫がかったピンク色のかわいい花を車輪状に数段つけます。和名「クリンソウ」の由来は、輪生する花を仏塔の上に立つ「九輪」に見立てたものです。別名「ナナカイソウ」七階草・「シチジュソウ」七重草ともいう。実際には九段あるものは少なく、四つ葉のクローバーを探すより難しいものです。花は6月になると散りはじめ花の後に種子を形成していきます。果実は熟すと株が裂け種子が散布され、適地に着地すると増えていきます。クリンソウには全草にサポニン類の成分があり、シカやイノシシなど動物に食べられることがないとされています。

妙高山のクリンソウ

クリンソウは丹波市での自生は珍しく、兵庫県ではレッドデータブック B ランクに指定されている絶滅を危惧されている貴重な植物です。

妙高山のクリンソウは、今のところ食害にあったり荒らされたりすることなく少しずつ範囲を広げつつあります。当地区では地元住人、自然研究家、植物愛好家が中心となり、クリンソウの生育の邪魔にならないようなるだけ自然のままの状態で自生地を保護すること、自然観察道及び周辺整備に心がけ管理に努めています。

見学者の皆様もルールを守り群生地の保護にご協力をお願いいたします

1． 採集は絶対にしないでください。
2． 足元にあるクリンソウを踏まないように気を付けてください。
3 ゴミは捨てないでください、すべて持ち帰ってください。

連絡先「妙高山のクリンソウを守る会」 TEL 0795-85-2457 鴨庄コミセン内

梅雨の前 初夏の湿原で密かに咲くクリンソウ
《 九 輪 草 》

《 クリンソウの花言葉 》

『幸福を重ねる』

クリンソウはサクラソウ科の日本原産の多年草。

花の輪が下から先端に上って何段にも重なることから、またはお寺の塔の九輪のように見えることから「**クリンソウ**（九輪草）」と名づけられた。

5～6月に北海道から本州・四国に分布し、山地の湿地などで自生。
茎は50㎝ほどですがときには１ｍ近くにも伸ばす。
葉は薄緑色の長楕円形で長さ10～20㎝と大きく、縁にはギザギザがあり、花色は白やピンク、濃桃色で、長く伸ばした茎先に、3～7段ほど茎を取りまいて車輪のようにつく。

《 クリンソウの花言葉》

『幸福を重ねる』

初夏　梅雨の始まりに向けて咲く花
湿地に咲く地味な花ですが、うれしい花
ほっと　一息　新緑を訪ねる中で得た幸福感です

日本原産の花で　兵庫県では絶滅危惧種の植物と聞く。
この群生地も地元の人たちによって、
自生のままに見守られ、保護されてきた。

この丹波の地は　日本一低い分水嶺の氷上回廊
日本海側・瀬戸内側の動植物が行き交った　動植物の伝播道。　この地のクリンソウにもそんな歴史が・・・・・
この　クリンソウの群生地が　ずっと静かで　守られていくことを願う
幸福感一杯て　山をくだりました

2015.5.19. 夕　by Mutsu　Nakanishi

≪参考　和鉄の道　Iron Road　≫
日本で一番低い中央分水界を越えて　瀬戸内海と日本海を結ぶ氷上回廊　2011.5.14.
http://www.infokkkna.com/ironroad/2011htm/iron7/1106mzwkre00.htm

【 スライド動画　】

梅雨に先駆けて　山麓の湿地に　ひっそり咲くビンクの花　クリンソウ

風来坊 2015
【7】

千種 天児屋たたら跡に咲くクリンソウを訪ねる　2015.5.20.

2015.6.1.　by　Mutsu Nakanishi

奥播磨　たたらの山郷　千種　天児屋たたら跡に咲くクリンソウ　　2015.5.20.

梅雨に先駆けて　山麓の湿地にひっそりと群生して、人知れずピンクのお花畑を作るクリンソウ。
地面際から大きな葉を放射状に出し、その中心から真っ直ぐ伸ばした細い花茎に数段、　王冠状の輪形にピンクの小さな花を幾つも咲かせる。お寺の塔の九輪のように見えることから「クリンソウ（九輪草)」と名づけられた。
花言葉は「幸福をかさねる」。

派手さはないが、一つ一つが自立しながらも、相互に群集して自分の居場所をしっかりと守り、
幸福をゆっくりと積み重ねてゆく。梅雨前のひととき、緑の中の湿地に立つ愛らしいピンクの姿に惹かれる
日本原産の花ですが、その群生地が年々減り、兵庫県では絶滅が危惧されている。
また、六甲山の高山植物園内の湿地で毎年この時期に花を咲かせ、新聞にその可愛らしい姿を届けてくれる。

2013.7 月　久しぶりに訪れた奥播磨　千種 天児屋たたら跡で、このたたら跡を管理するおばさんと話していて「このたたら跡を訪れる人は本当に少ないが､毎年５月末、たたら跡一面に自生するピンクのクリンソウが咲き乱れるクリンソウの時期だけは　多くの人でにぎわう。
是非　次はクリンソウが咲く 5 月末にいらっしゃい　」と勧められた。 もう　通い始めて 20 年を越えるのですが、このたたら跡が輝く 5 月末に　一度　是非訪れたいと。

昨年は訪れられなかったのですが、昨年 6 月訪れた近代製鉄発祥の地　東北釜石の山中にある現存最古の橋野高炉跡で、周りの新緑に包まれて咲くピンクのクリンソウがとても印象的で、「たたら跡にはクリンソウがにあう今年は千種のたたら跡に自生するクリンソウを 訪れよう」と。

たたらの郷　奥播磨　千種　概要図

「兵庫の群生地のいくつかで、梅雨に先立って初夏を準備するクリンソウが咲き出した」との新聞記事。
昨日　丹波市妙高山の群生地に咲くクリンソウを訪ねましたが、気になっていた千種 天児屋たたら跡に咲くクリンソウにも出会いたくて、5 月 21 日　今日の朝　原チャリを奥播磨千種に走らせました。

「　谷川が流れおちね川縁に　石垣で整地された段々のたたら跡
幾つも真っ直ぐに直立するピンクのクリンソウに　かつてそこで働いたたたら衆を見る　」

天児屋たたら跡の素晴らしいクリンソウ　「新緑に包まれたたたら跡には　クリンソウが　よく似合う」
たたらの郷に咲くピンクの可愛らしい花　素晴らしい景色にありがとう

知らなかったのですが、高校の親しい仲間の故郷が千種三室と知って、
すぐ近くの三室の滝にも立ち寄って帰りました。
今日は出会えませんでしたが、教えてくれた管理のおばさん
本当にありがとう
この自生地が年々ひろがり、このたたら跡が地域発信の場所になってゆけば・・・・と

2015. 5. 20.　　奥播磨　千種 天児屋たたら跡のクリンソウを眺めつつ

1.　神戸から　播磨の田園地帯･山崎断層を抜けて　千種へ

梅雨前の田植に忙しい播磨の田園　・　最近めっきり少なくなった蓮華畑に出会えました

朝　神戸を原チャリで出発して西北へ。国道 175 号線から小野そして　青野ヶ原の丘陵を越えて　加西から福崎へ
そこから山崎断層の中　切窓峠を越えてゆく。
西播磨の佐用・千種へ通ういつもの道である。
播磨の田園風景を楽しみながら新緑の山間へ　神戸から約 3 時間ちょっとで佐用･千種にたどり着く自然を満喫できる楽しいたたら街道を行く。
今回はたたら跡に咲くピンクのクリンソウとの初めての出会いが楽しみ。
帰りはたたら製鉄伝承の岩鍋を通って山崎へ。
ジキタリスが咲き乱れるたたら跡　野々隅原へも立ち寄りたいが、無理だろうか。　千種の三室山山麓へも立ち寄りたい。 この街道はあっちも　こっちも　立ち寄ってみたいたたらの痕跡ばかりだ。　　2015. 5. 20. 朝に

神戸から東播磨の田園が広がる丘陵地を北西に横切ると福崎。 福崎からは山崎断層の中を行く中国道に沿って山間を抜けると神戸から周囲の景色を眺めながら約 2 時間ほどで、宍粟市の中心山崎の街に入る。
さらに中国道沿いに山間を走って、切窓峠をこえてゆく。土万の志文川を渡り、北へ山間を越えると千種川の河岸段丘が広がる佐用町下三河の T 字路。南へ下れば佐用　北へ上れば千種川を遡って千種に至る。

切窓峠を西へ下ると千種川が流れ下る佐用町下三河　南へ行けば佐用　北へ上れば千種　2015. 5. 20.

中央を千種川が流れ下る山中に周囲を山にかこまれて、ちょっとした平地が広がり、その両側の山裾に田園と集落がある。
ここでは、なぜか　まだ　田植えの準備作業が始まっておらず、蓮華畑が広がって美しいピンクの原に・・・・
最近はほとんど見かけられなかった蓮華畑。流れ下る千種川の土手にあがって、蓮華畑と千種川の流れに見とれていました。
（昨年の集中豪雨による氾濫の傷跡で　休耕を余儀なくされた田圃かもしれぬ）

蓮華畑が広がる下三河の田園　この中を流れ下る千種川を北に遡って　千種へ　　2015. 5. 20.

2.　下三河から千種　天児屋たたら跡のある千種高原へ

千種川の奥に千種の西北県境の山並み　　左手　後山　右に笛吹石山　　千種の町の手前　七野周辺より　2015. 5. 20.

千種を越えると千種川沿いの山合い　ほどなく　千種高原へ左に折れる川井の分岐　　2015. 5. 20.

この川井の分岐は真っ直ぐ北から三室川が流れ下る河内の谷筋と左手　西の岡山との県境から西河内の谷筋を流れ下ってくる千種川本流との合流点。かつて　この分岐の河原で砂鉄を採取したことがありましたが、今は護岸が整備され、河川敷はきれいな公園に。西へ折れて、西河内の谷へ、すぐ山側の段丘の上が　以前資料を貰ったことがある高保木たたら跡との標識。丘に登りましたが、今は何もなく廃校になった小学校の門標の下に鉄滓の塊が置かれていました。

千種で出土した一番古い約 800 年前のたたら跡　高保木たたら跡　　千種西河内で　　2015. 5. 20.

高保木たたらからさらに西へ千種川に沿って遡って、西河内の小さな集落をいくつか過ぎ、傾斜がだんだんきつくなって、左へ蛇行する橋を渡ったその向こうに　Ｙ字路の「千種高原」の道路標識。
ここを右に曲がり、千種川へそそぐ天児屋川沿いを少し登れば天児屋たたら公園である。

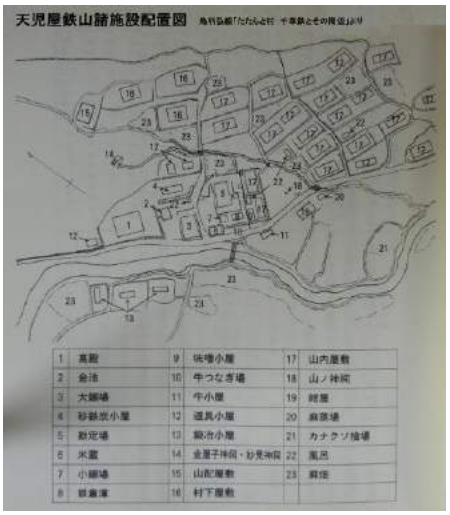
西河内の千種川と天児屋川の合流点　　右へ天児屋川沿いの谷筋を少し遡れば天児屋たたら公園　2015. 5. 20.

集落から杉木立の谷筋を奥に少し登ると左手に石垣・右手に学習館の建物が見え、天児屋たたら前に出る。　石垣の手前にピンクのクリンソウがみえる。
天児屋川ば道路からよく見えないが、左手の学習館の裏側を下に流れ下っている。
何度も来たことがあり、道はよく知っているが、クリンソウに出会えるのは初めて。
残念ながら、水曜日で千種のたたら関係の展示をしている学習館は休みで、以前お会いした管理のおばさんには出会えなかった。

3.　天児屋たたら跡に自生するクリンソウ群落

山の傾斜地に石垣で囲われて区切られたたたら跡のあちこちでピンクのクリンソウが咲いていました

【　**天児屋たたら跡の概要**　天児屋たたら跡の案内板より　】



兵庫県指定史跡　天児屋鉄山跡

所在地　宍粟市千種町西河内字新口

【指定年月日】平成十四年四月九日

【　概　要　】城跡を思わせる整然と積まれた石垣が残る天児屋鉄山は、高殿（たたら）、勘定場（事務所）、砂鉄・炭小屋（材料庫）、山内小屋（社宅）など複数の建物群で構成されていた大規模な製鉄施設の跡である。

天児屋鉄山の主な操業期間は、江戸時代前期から明治十八年（一八八五）までの二百五十年余りと推定されるが、発掘調査の結果から、製鉄遺跡としての歴史はさらに中世まで遡るとも考えられている。

千種で産出される鉄は、その品質の高さから「千草鉄」の名で珍重され、特に中世、備前長船（現・岡山県瀬戸内市）の刀匠達は、それを原料に数多くの名刀を作り出した。

江戸時代に入ると、千種は徳川幕府の直轄地（天領）となり、天児屋鉄山は幕府から認可を受けた千草屋や鳩屋などの豪商「鉄山師」によって請負運営された。この頃には、刀以外にも生活用具の製造に必要な鉄の需要が増加し、山崎まで就航していた揖保川の高瀬船などを使って下流の姫路、さらに大坂方面へと出荷されるようになった。

江戸時代後期に盛時を迎えた天児屋鉄山には、数十戸から百戸、数百人を越える従業者が居住していたと推測されるが、近代に入ると鉄価格の下落によって運営が困難となり、明治十八年ついに閉山された。

参考文献　島田弘毅

『たたらと村』ほか

上流側 高殿側から天児屋たたら跡全景

天児屋鉄山下流側上部から眺めた天児屋鉄山

写真左手多々良の里学習館　中央木々に囲まれて山の神　奥 高殿

勘定場前より下流側

千種 天児屋鉄山　全景

下流側 山ノ神の手前 学習館前より

2013. 7. 19.

2013.7.19.訪れたし資料より転記

2013.7.19.訪れたし資料より転記

天児屋たたら跡で 2015.5.20.

天児屋たたら跡で 2015.5.20.

天児屋たたら跡で 2015.5.20.

天児屋たたら跡で 2015.5.20.

天児屋たたら跡で 2015.5.20.

初夏の風を吹き込む可愛らしい花
花言葉は「幸福をかさねる」

たたら跡にクリンソウ

梅雨前のひととき、緑の中の湿地に、真っ直ぐに立つ明るいピンクの姿に惹かれる派手さはないが、一株一株自立しながらも、群集して、自分の居場所をしっかり守り、輪になって　一段一段　幸福を積み重ねてゆく。

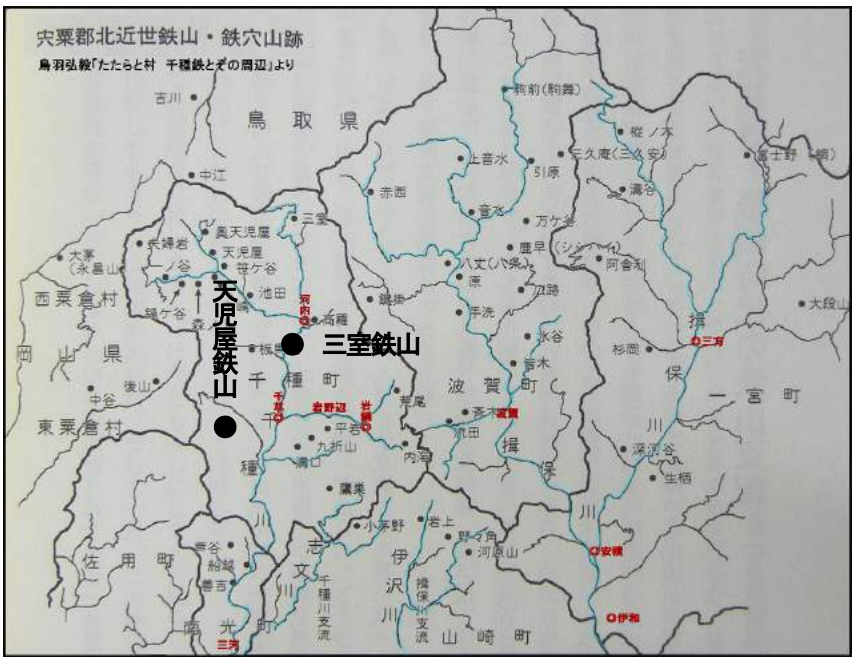
たたらの自然と溶け込みあって咲くクリンソウ　　初夏の風をたたら跡に吹き込む可愛らしい花だと

4.　三室山山麓　河内の谷筋へ

クリンソウが咲く天児屋たたら跡を後にして、今回もう一つ是非　今回足を踏み入れたい場所がある。

帰りは　この三室山から流れ下る三室川沿いの河内の谷筋に立ち寄りたい。

最近インターネットをチェックしていて、「上流に三室山鉄山があった河内川の大きな滝　［ 爛鍋ノ滝 別名 三室の滝 ］の下で金糞（鉄滓）を採取した」との記事を眼にした。この三室川が流れ下る河内の谷筋へは「そのうちに」と思いつつ、足を踏み入れたことがない。入ったことがない。



この三室川沿いの谷筋河内もたたらの郷で、江戸時代　河内の谷筋へ入るところに高羅鉄山　一番奥に三室鉄山があったというが、詳細はよく知らずそのままになっていたところである。西河内の谷筋　千種川沿いを下り、、千種川と三室川との合流点川井から、北に折れて、三室川が流れ下ってくる河内の谷筋に入る。この谷筋も田園地帯が広がる明るい三室川の谷筋で、奥の三室山へと続く道筋には田園が広がり、点々と集落がある。

川井から 10 数分遡って、集落から三室山にかかるところに、三室高原・三室の滝の大きな案内板がありました。

川井から奥へ　三室川の川筋に広がる河

三室川沿いに集落が点々と並ぶ河内を三室山に向かって遡る　　google eatth より

川井から 10 数分で三室山の入口　三室高原の案内板があり、左手　三室川の崖ぶちに三室の滝の案内板がありました

google eatth より

道路の左手　三室川の崖下に三室の滝　そして道路を挟んで右側には素晴らしい新緑の三室山の森が広がっていました。
時刻は午後 2 時 50 分。　今日はここまでと決め、三室川に下りて、三室の滝　そして新緑の森にも入ってきました。

三室高原　　三室の滝　入口で　　2015. 5. 20.

三室高原　　三室の滝　　2015. 5. 20.

三室高原　　三室の滝　　2015.5.20.

素晴らしい新緑の森　三室高原で　　2015.5.20.

5.　古代製鉄神 金屋子神　降臨伝承地　千種　岩鍋

製鉄神 金屋子神と千種 古代製鉄発祥の地伝承

播磨国宍粟(粟)郡の山間の村岩鍋に天から神が示現。「わたしは金山彦。天目一箇神ともいう金屋子神である」と明かす。

村人にタタラによって鉄を作ることを教え，様々な道具を作る技術を人々に授けた。 そして，「これから西の方へ行き，鉄を吹き道具を作ることをさらに多くの人々に教えねばならない」と，白鷺に乗って天空高く飛び立った。その後，金屋子神は出雲国に飛来し，能義郡比田の森に降り立ったと言う。

河内から千種へ戻り、今度は千種川沿いを南に下らず、千種の町から東へ　国道 492 号線で、途中　岩野辺・岩鍋を通って　鳥ヶ峰を新しい鳥ヶ畝トンネルで抜けて、揖保川水系の波賀町へ出て宍粟市山崎へ揖保川沿いを下る。
かつては交通の難所であり、また、この山中にも数々のたたら跡がり、特に途中　岩鍋は古代の製鉄神金屋子神の降臨伝承地とされ、街道沿いにその碑がある。

この地が金屋子神降臨伝承地といっても　すぐにたたら製鉄と結びつくものはないが、この道の両側に広がる山中には数多くのたたら跡が点在している。

碑のすぐ横には　以前見かけなかった岩野辺自治会が整備した荒尾鉄山跡の案内看板がたっていましたので、案内板に従って集落の中に入りましたが、集落のはずれに猪対策の扉があり、さらに奥荒尾山の方向に落ち葉に覆われた道が続いていました。今日はここまでと・・・。　以前から気になって調べていた住友泉屋と千種のたたらとの関係で　この荒尾山鉄山は泉屋（分家）とも関係のある鉄山と資料にあった鉄山。

もう　夕方近く　次回まわしで　ゆっくりたずねようと・・・・。

集落の人に聞くと　扉からほんの少し登って脇道に入れば、江戸中期から明治前期の荒尾山鉄山跡で、山中にその遺構が残っていると聞きました。

　また、この岩鍋の碑から直ぐ東が鳥ヶ屺トンネル。　かつては難所だったところで、長いトンネルを抜け、まっすぐ下れば　揖保川水系の引原川が流れ下る波賀町　鳥取と山崎を結ぶ国道 29 号線に出る。

千種から東へ　岩野辺から山越えで揖保川水系の波賀町斉木へ
国道429　鳥ヶ屺（とりがたわ）道路と鳥ヶ屺トンネル 開通

千種から岩野辺を通り内海を経て鳥ヶ峰を越えて西谷村（現・宍粟市）に至る「岩野辺道」が当道路の由来とされる。昔の本道路は峠を境に岩野辺側は比較的緩やかで、斉木側は急傾斜となっていた。
急峻な谷間から峠越えするルートのため、大型車のすれ違いが困難で、さらに冬季の積雪による通行止めが頻発するなど、交通の障害となっていた。これらを解消するため、トンネルを含む道路の改築事業に着手し、鳥ヶ屺トンネル 開通とともに 2008年11月11日にとりがたわ道路全体が供用開始された。

インターネットから採取　鳥ヶ屺トンネル

長いトンネルを抜けると波賀町斉木の集落に出て、そのまま長い坂を下ると正面の山際の引原川の橋。引原川沿いを下ってきた鳥取と宍粟市山崎とを結ぶ国道２９号線に出て、あとは真っ直ぐ川沿いを南へ下れば３０分ほどで宍粟市の山崎である。
久しぶりの長い原チャリツーリングでしたが、
新緑のたたらの山郷をかけぬけた心地よい一日 でした。
この地に通いだして約 20 年ですが、たたら跡に咲くピンクのクリンソウを見るのは初めてイメージを膨らませながら訪ねた千種天児屋たたら跡に自生するクリンソウも本当に心地よい風景たたら跡によく似あうと。また、気になっていた三室山の河内の谷筋　そして久しぶりに古代製鉄神降臨の地　岩鍋にも行けました。　何度来ても　新鮮な千種での一日でした 。

長いトンネルを抜けると波賀町斉木の集落
千種川水系から揖保川水系にあっけなく出る

2015.5.20.　夕　原チャリを走らせながら　by Mutsu Nakanishi

****

【関連 Iron Road　ご参考まで　】

1. **久しぶりに西播磨 古代からの製鉄の地「宍粟市千種」を訪ねる」2013.7.19.**
   千種天児屋たたら跡・岩鍋古代製鉄発祥の地伝承の碑を訪ねる.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/iron9/1308chigusa00.htm
2. **たたらの郷に「ジキタリス」の花園を訪ねる**
   奥播磨黒尾山西北山麓　宍粟市山崎町　野々隅原 大国牧場　花の Walk
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/9iron07.pdf

【参考資料】　鳥羽弘毅氏著「たたらと村　千草鉄とその周辺で」

【和鉄の道・Iron Road】西播磨の古代製鉄地帯　宍粟・佐用の製鉄関連遺跡　探訪

【和鉄の道･Iron Road】西播磨の古代製鉄地帯 宍粟･佐用の製鉄関連遺跡 探訪

1. 古代鉄の大王国 播磨国 「千種鉄」「岩鍋」古代製鉄神 金屋子神 降臨伝承の地　2001.1.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/jstlbb01.pdf
2. 古代製鉄の一大生産地「讃容の里」Walk　西播磨 佐用町 大撫山製鉄遺跡を訪ねて　2003.11.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/4iron01.pdf
3. 「御方里」周辺　安積山製鉄遺跡探訪 一宮町　2004.2.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/4iron07.pdf
4. 産鉄の地 「御方里」の里を訪ねて 一宮町　2004.6
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/4iron10.pdf
5. たたら製鉄 砂鉄採取の地形 西播磨 砥峰高原 一面ススキが覆いつくす 砥峰高原　2007.10
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/7iron18.pdf
6. たたらの郷に「ジキタリス」の花園を訪ねる　2009.6.21.
   奥播磨黒尾山西北山麓 宍粟市山崎町 野々隅原 大国牧場 花の Walk
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/9iron07.pdf
7. 奥播磨 千種川に注ぐ恋文川源流 たたらの郷 宍粟市山崎町小茅野（こがいの）集落を訪ねる　2010.7.20.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/10iron08.pdf
8. 「初期大和王権の成立に大きな役割を演じた西播磨」
   西播磨で古墳時代後期末の鍛冶炉跡が出土 有年 羊礼・井田遺跡を訪ねる　2011.3.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/11iron02.pdf
9. 千種川流域に咲くひまわり畑と製鉄神「天目一箇神」を祭る「天一神社」を訪ねる　2012.8.
   佐用　西播磨佐用町（旧南光町）林崎
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/12iron06.pdf

風来坊 2015
【8】

≪ 写真アルバム ≫ 梅雨の合間　須磨アルプス 岩稜 馬の背を歩く

≪ 須磨アルプス　馬の背Walk ≫　2015.6.10.

妙法寺駅 →東山登山口 → 法寺/須磨馬の背乗越古道 →横尾山東の鞍部･全山縦走路 →馬の背
→東山山頂 →東山登山口 →横尾山山裾 横尾道散策路 →須磨離宮

私の住む住宅地　神戸　須磨の若草町からいつも正面に眺める須磨アルプス　馬の背。
六甲全山縦走路の一部で､岩肌をむき出しに､荒々しい岩肌まるだしで、両側が切れ落ちた狭い稜線が続く。

六甲全山縦走路きっての名勝で、西の横尾山から東山へと岩肌むき出しの狭い稜線尾根が続くが、ちょっと気を付けて登れば、この神戸で手軽にアルプス気分の稜線歩きが楽しめ、四季を問わずに六甲縦走のハイカーや地元の毎日登山の人でにぎわう山である。

私も何度も歩いた縦走路ですが、歳と共に、狭い馬の背の痩せ尾根と前後に続く急な岩壁や岩稜を直登の梯子や階段で上り下りするのが嫌で、最近は縦走路歩きを敬遠。比較的気楽に歩ける横尾山の西の旗振り山への縦走路を歩いたり、東山から縦走路に出ず、そのまま南の板宿へ下ったりである。

5 月末新緑の森に包まれた馬の背の東側にある東山を歩いて、頂上から久しぶりにこの荒々しい岩稜「馬の背」の景観をゆっくりと眺め、やっぱりこの岩稜の真っただ中に立ちたいなぁ・・・・と。 また、馬の背に行くなら、ぜひ、長いこと歩いていない妙法寺から真っ直ぐ南へ谷をつめて、馬の背とクロスして須磨へ下る馬の背越えの古道から行こうと。

今はよくわかりませんが、道標もないが、谷筋をまっすぐつめれば、一番短時間で横尾山の東の鞍部に出て、馬の背の縦走路に出られる。 視界の効かぬ雑木林の谷筋に踏み跡が細々と続き、この谷筋を詰めれば問題はないのですが、踏み跡を間違って尾根筋へ出ると　細い痩せ尾根の崖となって苦労する。土地勘があれば、問題のないルートであるが、稜線まで誰にも出会うことのないルート。 踏み跡はちゃんとあり、最近は結構地元の人が歩いていると最近聞いて、是非歩いてみたいと。

6 月 10 日　梅雨の晴れ間の午後　思い立って　須磨アルプス　馬の背へ。
今日は　かつて何度か歩いた妙法寺から谷筋を直登で馬の背へ出られる古道の乗越ルート。
道は残っていると聞いたが、どうだろうか・・・・　気になるところですが、無理して崖を歩かねば大丈夫。
久しぶりの馬の背の岩稜の稜線歩き。　ちょっぴりですが、アルペン気分に浸って　爽快感一杯でかえってきました。

1.　東山の山裾の東山登山口の横から真っ直ぐ南へ　谷筋を横尾山と馬の背の鞍部へ

北の妙法寺から谷筋を真っ直ぐ南へつめ　須磨アルプスの稜線縦走路とクロスする

妙法寺から須磨へ　馬の背を乗越す古い道がある

森の中の谷筋を真っ直ぐに馬の背の乗越まで登ってゆくルートで、以前には何度も通ったことがあるが、ここ５年は通ったことなし。どうなっているか・・・・・

　妙法寺駅から南へ、須磨アルプスの連山の山極に向かって　横尾の団地をぬけると山極の横尾道。　この道を東へ池の傍を回り込んだところに、六甲全山縦走路の案内板のある小さな広場があり、ここが登山口。通常はここから山腹につけられたつづら折れの散策路を登って東山の頂上で稜線の縦走路に出会う。東山と西の横尾山をつなぐ岩稜の痩せ尾根稜線縦走路が「馬の背」で　東山は馬の背の東端である。

また、登山口の広場の西側を樹木に覆われた小さな谷川があり、この谷川を上へ上り詰めれば、岩稜の横尾山稜線を東に下ってきた鞍部に出られ、鞍部を乗越してそのまま南に下れば須磨へ出られ、昔からある古道である。

　また、この横尾山の鞍部から東へ六甲全山縦走路をとれば、岩稜の痩せ尾根が続く馬の背である。

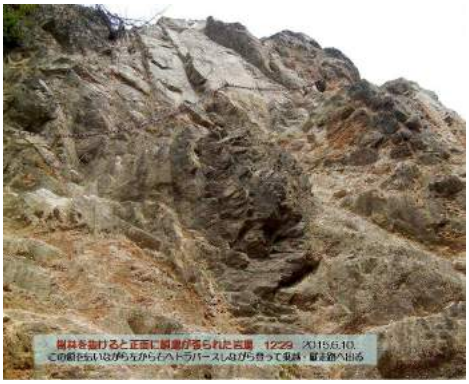
　午後１時過ぎ　池の傍を回り込み、広場に入る階段を登ると正面が谷筋へ入っていく道。標識もなにもなく、緑に包まれた森の中谷筋へ入る道が続き、ここから約３０分　全く視界が効かぬ雑木林の中の谷筋を詰める。

横尾山の鞍部へ真っ直ぐ視界の効かぬぞ木林の中　谷筋を踏み跡をたどりながら登る　2015.6.10.

緑に包まれた樹木の上にいくつか枝尾根の岩稜が見えだし、ふいに樹木の中を抜けると、視界いっぱいの大きな岩壁の前にでて、この岩壁の上方に左から右へ鎖が張られている。このそそり立つ鎖場をトラバースし、さらに岩の間を辿りながら少し岩壁を登ると横尾山の鞍部で　稜線縦走路とのクロスポイントに道標があり、その横に出る。右も左もそそり立つ岩稜で鎖・梯子が岩稜に張り付き、道標の縦走の南も北も切れ落ちた谷。　ここから東へ　さらに岩稜の縦走路を馬の背へ

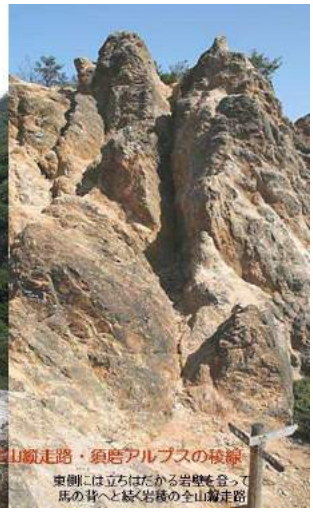
2.　横尾山東の鞍部　稜線縦走路とのクロスポイント

右も左も急峻な岩稜　その両側は切れ落ちた谷　　荒々しい岩稜を鎖と鉄梯子が張り付いて　縦走路が伸びている



谷筋の樹林の中を抜けると　前方正面一杯に鎖が張り付いた岩壁　この岩壁を登って稜線に出る　2015.6.10.

登山口から　約 30 分で　岩稜の須磨アルプス　六甲全山縦走路に出る　馬の背は右へ縦走路を登ればすぐ



須磨アルプス 稜線の六甲全山縦走路　横尾山東の鞍部　妙法寺/須磨の古道とのクロスの峠　2015. 6. 10.

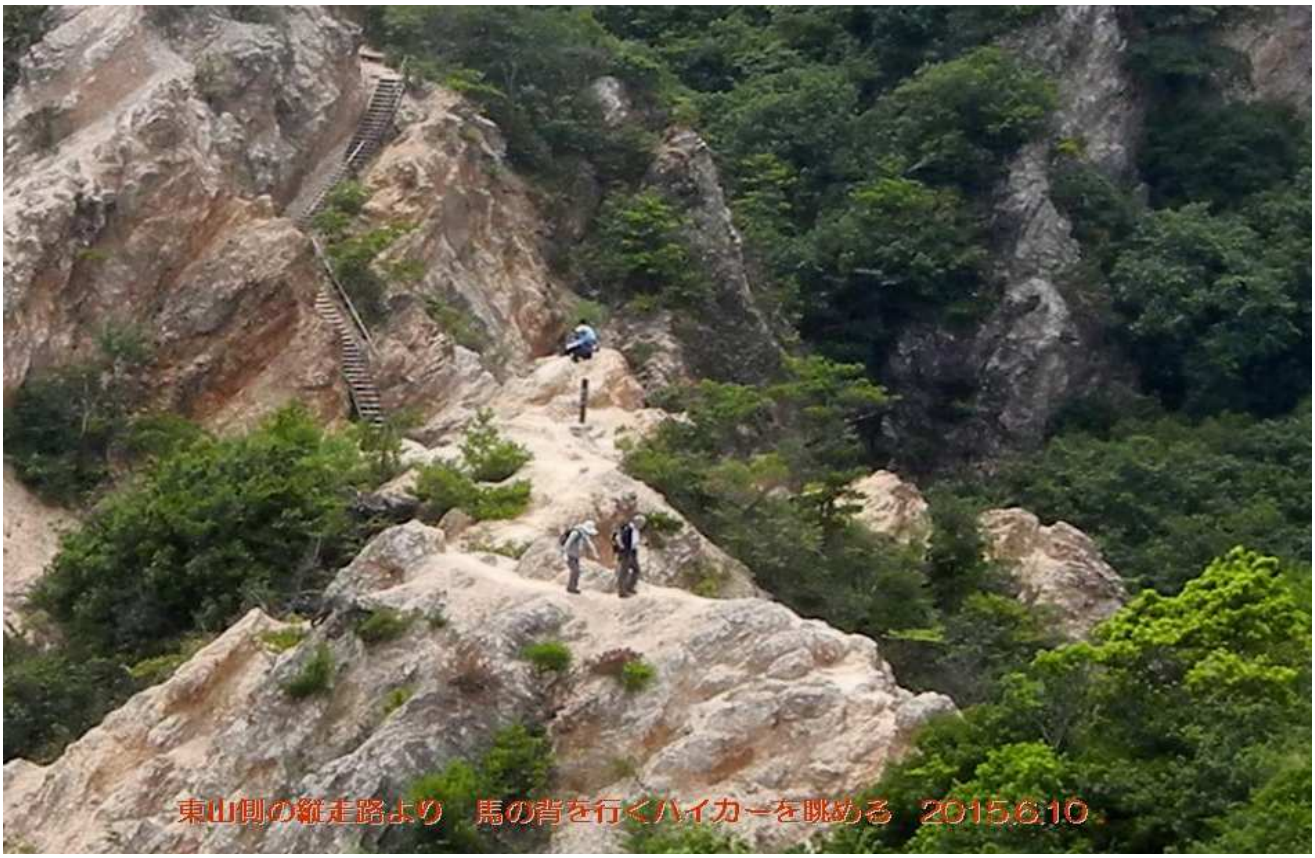
3.　須磨アルプス 稜線の六甲全山縦走路　馬の背

西六甲　横尾山と東山の間をつなぐ岩稜の稜線縦走路　両側が切れ落ちた痩せ尾根で須磨アルプスの名

馬の背から東へ　　馬の背-東山へと続く六甲全山縦走路　背後中央に高取山　2015.6.10.

西の横尾山と東の東山を結ぶ岩稜の稜線尾根　須磨アルプス馬の背　2015.6.10.

馬の背から西横尾山　　馬の背から東　東山



横尾山から馬の背を行くハイカーを眺める　2015.6.10.

馬の背の道標より東山へ　馬瀬を行くハイカー　2015.6.10.

馬の背の縦走路　一番狭い部分　　2015.6.10.

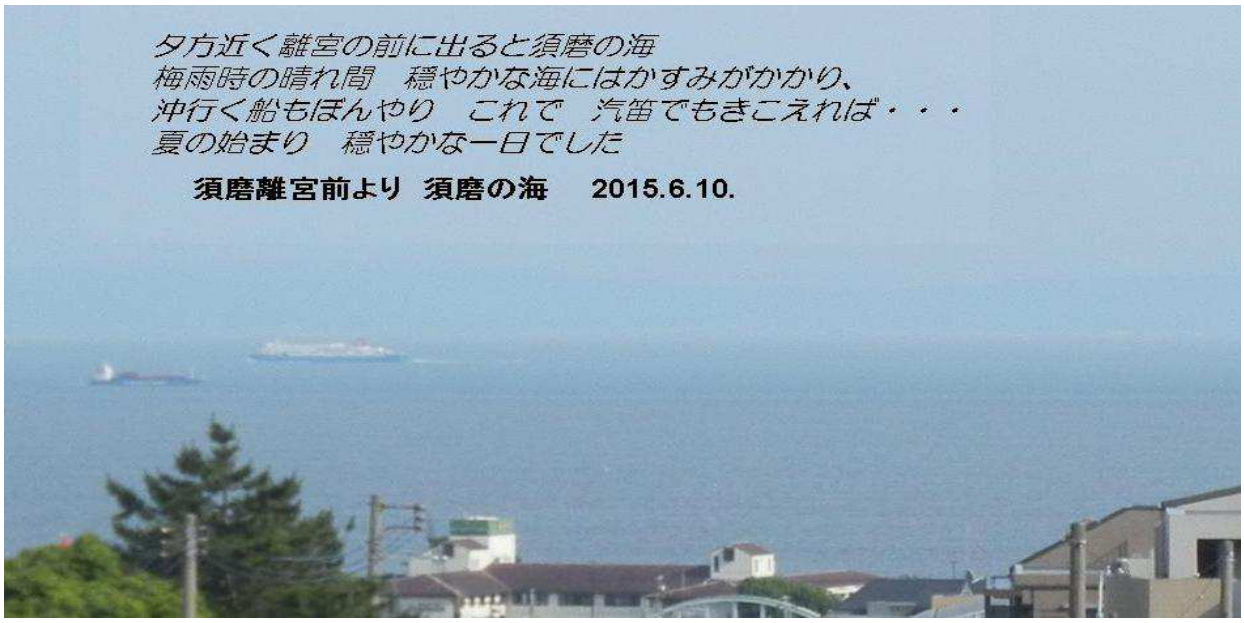
馬の背を抜けて、東山山腹の樹林の中へはいり、東山の頂上へ　頂上からは馬の背がよく見える　2015.6.10.

4.　横尾山　北の山裾を巡る散策路　横尾道　&　菖蒲の花が咲き出した須磨離宮

横尾山　北の山裾を巡る散策路　横尾道　2015.6.10.

梅雨時を晴れ晴れとさせてくれるバラ･菖蒲･紫陽花

ゆったりと緑の中に咲く花を眺めると　梅雨も楽し　　2015.6.10.　須磨離宮で



≪参考　和鉄の道　風来坊･Country Walk ≫

◆　新緑の須磨アルプス 東山を楽しむ　　2015.4.22.

http://www.infokkkna.com/ironroad/2015htm/walk12/1505sinryoku00.htm

周山街道から亀岡摂丹街道を北摂の能勢へ

【写真アルバム】　霧雨に煙る京都北山・北摂の美林を巡る

京都北山周山街道　北山杉の郷「中川」から亀岡・北摂の杉林を巡って神戸へ　　2015.6.16.

≪霧雨に煙る京都北山-北摂の美林を巡る≫

京都周山街道を北山杉の郷 中川 → 周山-京北町
→ R477　亀岡盆地へ　→丹南市八木町
→ R477　桂川　月読橋 -千代川から摂丹街道を北摂へ
→ 摂丹街道　京都/大阪境　ひいらぎ峠　→能勢町野間
→ 川西市妙見ケーブル黒川駅　→ときわ台から R423 へ
→ 止々呂美　→池田市伏尾台→猪名川　絹延橋
→ 川西能勢口駅

梅雨の合間に京都の八瀬・大原へ行く機会があり、雨上がりの里山や山腹の杉林の美しさにみとれました。
雪の北山杉が見たくて、北山杉の美林が立ち並ぶ山間の周山街道沿いの磨き丸太の郷　中川へに出かけたことがあるのですが、眼前に広がる北山杉　緑の美林はあまり意識したこもない。
東山魁夷が信州で描いた美林の森のイメージが大きく広がって、
「今、霧に煙る北山杉が美しいだろうなぁ・・。
　　周山街道の北山杉の郷中川は今、どうだろう」と。
家内も北山杉の郷中川は歩いたことがないという。

ふと思いついて、京都から神戸への帰りに　「北山杉が立ち並ぶ周山街道を北山杉の郷 中川・周山を巡って亀岡へ。
そして　そのまま北摂の山を越えて池田へ出る R422・摂丹街道（旧池田街道）を走ろう」と。

６月１６日朝　霧雨まじりの曇り空　京都での用事を済ませて、京都の街を西に通り抜けて　宇多野　福王寺から北へ
周山街道に入って、高雄から清滝川が流れ下る山間を磨き丸太の北山杉の郷へ。
そしてそのまま北山杉の美林を楽しみながら周山から亀岡に抜け、北摂の山を越えて池田へ出る。
京都　周山街道とR422・摂丹街道（旧池田街道）をつないで　神戸へ帰る北山杉を巡るドライブ。
霧雨に煙る素晴らしい北山杉。　期待にたがわず、心地よいドライブを楽しみました。

1.　周山街道を北へ　清滝川が流れる山合　磨き丸太で有名な北山杉の郷　中川周辺

霧雨に煙る北山杉　緑のグラデ-エションが素晴らしい北山杉の美林　　周山街道　中川　周辺で　2015.6.16.

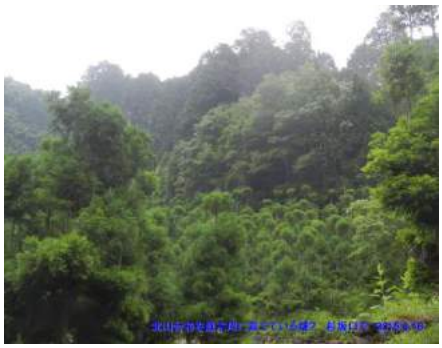
狭い山間の街道筋　清滝川の両側に磨き丸太の作業場が見える北山杉の郷中川の背後に北山杉の美林が霧雨に煙る
今の時節だけの景色をひとりじめ。期待通りの景色。
また、この北山の奥には　切り倒した杉の株の切口から、幾つも芽を出し、巨樹に成長した芦生台杉などと呼ばれる
巨樹が幾つもあるのですが、この中川周辺では庭木用として育てられている「北山台杉」の畑にも出会えました。
　植林をせずとも山を守れ、また、庭木用としての需要が高く磨き丸太とは違う北山杉の新しい産業。
しりませんでした。

周山街道　中川　周辺で　2015.6.16.

● **北山台杉**　　**切り倒した杉の株の切口から、幾つも芽を出し、巨樹に成長する「台杉」**

自然に成長した台杉の巨樹が　京都北山には幾本もある。

この中川周辺ではこの台杉を庭木用として育てられている「北山台杉」の畑が山腹にいくつか見つけました



周山街道　杉坂口で見つけた庭木用に育てている北山台杉の畑　2015.6.16.

山腹で切り倒した株から芽を出した台杉をここに移して育てるという

2.　中川からさらに山間の美しい杉林の中を北へ登って　桂川の上流京北町周山へ

周山街道を　北山の山間を北の周山へ　山に囲まれてはいるが視界が開け、桂川の上流に周山で出会う　2015. 6. 16.

中川からさらに奥へ清滝川沿いの山間を遡って小野町に出て、笠トンネルと京北トンネルの二つの長いトンネルで山を越えると桂川の上流でこの地域の中心地　周山　ここは北山山地の中の交通の十字路　昔からの街道の要所である

3.　周山から亀岡へ　周山街道と別れ、西へ　R422　亀岡街道　を亀岡盆地に下ってゆく

周山で川幅の広い桂川に出会えたので、そのまま川に沿って亀岡と思いましたが、山間を蛇行して流れ下る桂川を横目にまた、山中へ。　千歳山・紅葉山の峠道を越えてやっと亀岡盆地へ　　この山中も素晴らしい杉林の峠道でした

R477 亀岡海道　京北町/八木町の境　　千歳山山腹の峠で　　2015.6.16.

峠で一服　杉の香りがただよい　心地よい。　北山杉の杉林とはちょっと違った杉の重なり。

ここは建築材用の杉林で、磨き丸太の杉林とは手入れがちょっと違うのか、北山杉の美林とは違った美しさ。

峠道を少し下るとまもなく前方が開け、亀岡盆地が見えてきた。

峠を越えるとまもなく視界が開け、亀岡盆地の中へ　　亀岡海道八木町神吉周辺　　2015. 6. 16.

愛宕山と北摂山地の間　中央を桂川が南東へ流れる亀岡盆地　　桂川にかかる月読橋を西へ　　正面の北摂山地へ向かう

ここからは　北摂山地の京都・大阪府境を越えて南西の豊能へ出る R422 摂丹街道を走る

4.　亀岡盆地　月読橋を渡って　北摂山地に入り、京都/大阪の府堺を越えて豊能を走り抜ける

◎　大阪平野を流れ下る淀川水系と亀岡盆地の桂川を水系隔てる山地　北摂山地を越えると豊能

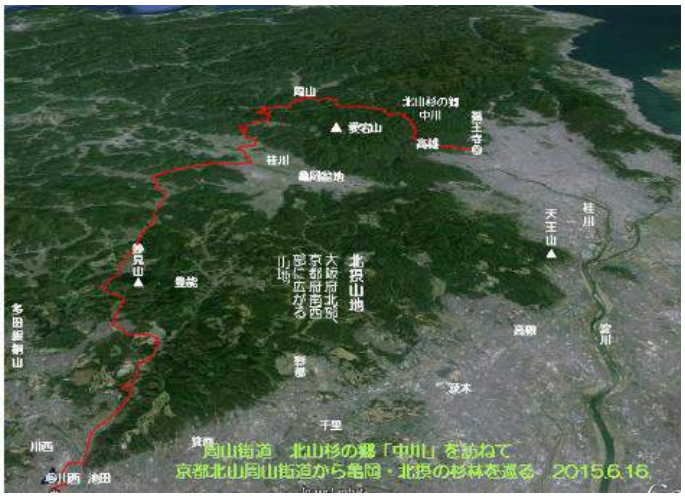
スポットとしては　何度が通って知っているのですが、面ではつながらぬ私にとっては　全くのブラックボックスの地域。

妙見山に象徴される生野鉱脈の東端　多田銅銀山・隠れキリシタンの郷　茨木千提寺もある

山間にありながら、大きな住宅地が急速に展開され、また、今も第二名神高速道路や大規模団地の開発が行われ、トラックや車が山中を走り回り、山中とは思えぬ活気山中でありながら大阪の都心と 30 分ほどでつなぐトンネルが千里へと繋がっていると聞く。全く知りませんでした。

国道422から一つ東側　の国道 423 号線にトラバースして　余野川沿いを下る　止々美周辺　2015.6.16.

この止々呂美地区では大規模な住宅地かいはつと並行して　第二神明のインターチェンジの建設が進んでいました。
この北摂箕面の山間と大阪千里を直通トンネルで結ぶ道路もあり、第二の千里丘陵のようになるのかもしれない。
驚きました。



全くの思い付きでスタートした京都北山杉の美林を巡る周山街道から摂丹街道のドライブ。
霧雨に煙る北山杉の美林　期待通りの美しさで本当に心地よいドライブでした。
改めて　梅雨時の杉林の美しさを発見できました。
また、ちょくちょく　この街道を帰えろう・・・・・と。
家内は初めての北山杉の郷中川と北山台杉がとても印象的だった様子。
私は　この梅雨時の緑のグラディエーションに惹かれました。
どちらも満足感一杯を話題にしながら　神戸へ　帰ってきました。

2015.6.16.夕
神戸への車中で　今日の北山杉ドライブを話題にしながら

Mutsu Nakanishi

周山街道から亀岡摂丹街道を北摂の能勢へ

【スライド原図集　】　霧雨に煙る京都北山・北摂の美林を巡る

京都北山周山街道　北山杉の郷「中川」から亀岡・北摂の杉林を巡って神戸へ　　2015.6.16.

≪霧雨に煙る京都北山-北摂の美林を巡る≫

京都周山街道を北山杉の郷 中川 → 周山-京北町

→ R477　亀岡盆地へ　→丹南市八木町

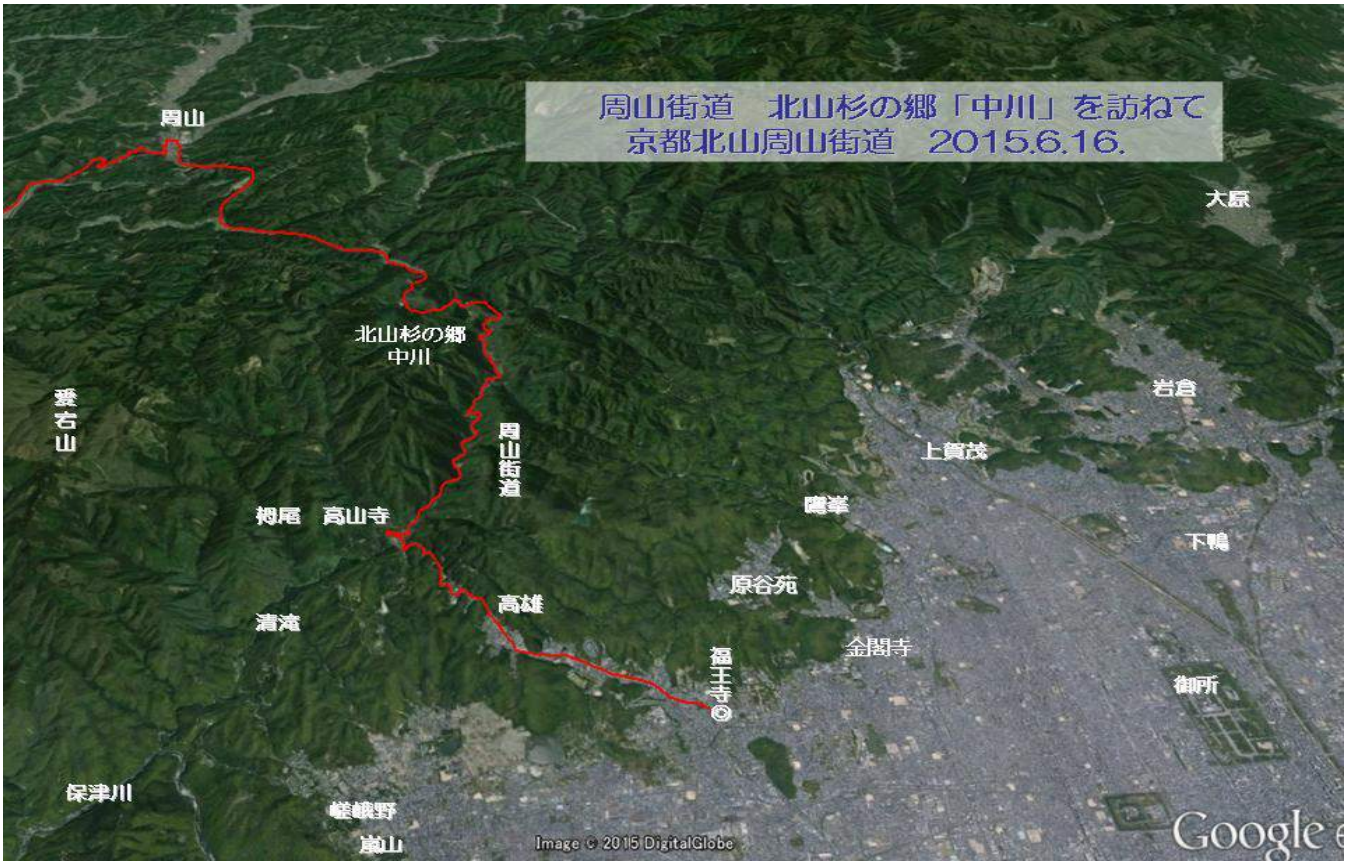
→ R477　桂川　月読橋 -千代川から摂丹街道を北摂へ

→ 摂丹街道　京都/大阪境　ひいらぎ峠　→能勢町野間

→ 川西市妙見ケーブル黒川駅　→ときわ台から R423 へ

→ 止々呂美　→池田市伏尾台→猪名川　絹延橋

→ 川西能勢口駅


周山街道　北山杉の郷「中川」を訪ねて
京都北山周山街道　2015.6.16.
周山
大原
北山杉の郷
中川
愛宕山
周山街道
岩倉
上賀茂
鷹峯
拇尾　高山寺
下鴨
原谷苑
高雄
清滝
金閣寺
福王寺
御所
保津川
嵯峨野
嵐山
Image © 2015 DigitalGlobe
Google

2015.6.16.　緑に包まれた周山街道を北へ

北山杉
北山丸太・磨き丸太の里　中川　2015.6.16.

2015.6.16.　周山街道　中川

2015.6.16.　周山街道　中川

2015.6.16、周山街道　中川周辺　杉の美林
特産　磨き丸太になる杉
良く手いれされた人工林がこの美しい景色を生んでいる

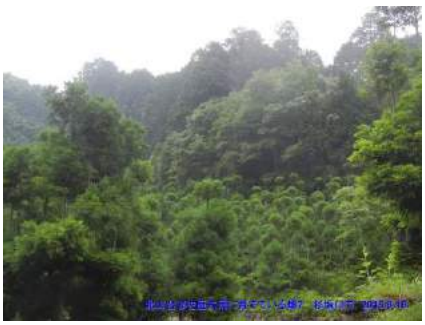
2015.6.16、周山街道　中川で

2015.6.16、周山街道　杉坂口で

2015.6.16、周山街道　杉坂口で

2015.6.16、周山街道　中川　谷筋の山腹に広がる北山杉の美林

中川の北直ぐの杉坂口で出会った北山杉の美林とはちょっと違った林
北山台杉を庭木用に育てている畑? でした　2015.6.16.



周山街道「中川」から北山を巡って　周山から亀岡へ

R477 亀岡へ 千歳山を越える峠道 ここの杉林も美しい 2015.6.16.

R477 亀岡へ 千歳山腹をまいて 越えてゆく峠道 ここの杉林も美しい
2015.6.16.

R477 京北町八木町の頃 千歳山山腹の峠で 2015.6.16.

Google Earthより　桂川が流れ下る亀岡盆地

Google Earthより　桂川が流れ下る亀岡盆地を東から西へ横断
北隈の山並みへ向かう　月読橋　　亀岡市千代川町

亀岡市千代川
亀岡盆地
妙見山
豊能町
ときわ台
箕面森町
止々呂美
川西畔野
平野
池田市 伏尾台
北摂山地
大阪府北部
箕面グリーンロード北口
Image © 2015 DigitalGlobe

亀岡市千代川
妙見山
豊能町
ときわ台
箕面森町
止々呂美
川西畔野
箕面グリーンロード北口
トンネルと高架道路で千
里まで路線バス15分で結
ぶと聞く
池田市 伏尾台
平野
猪名川
川　西
Image © 2015 DigitalGlobe

山中に突然現れた道路建設地　今　新名神など箕面の奥では山中ながら大規模開発が進む

京都の夏 2015 祇 園 祭 後祭　宵山&山鉾巡行　7.23.夕&7.24.

祇園祭のお囃子に 日本人の心の故郷「優しき縄文」が今も生きている

「コンコンチキチン　コンチキチン」

静まり返った京都の町並にかすかに流れてくる祇園囃子の心地よさ。

私は「心優しき日本人の故郷　縄文」 とよく言うのですが、

ふと　祇園町・祇園囃子は縄文の響き・リズム　日本人の故郷ではないか・・・と

祇園祭　大船鉾巡行　　**三内丸山　縄文のお月見 と弘前ねぷた**

「コンコンチキチン　コンチキチン」　祇園囃子の音が静まり返った京都の家並にかすかに流れてくる。

雑踏の中にいるのに、何とはなしに心地よい響き。　こんな感覚　どこがで聞いたことがあると。

記憶をたどると青森三内丸山遺跡のお月見で聞いた縄文の祭のリズム・響き

真っ暗な中　岩木川沿いを郷に帰る弘前ねぷたの笛の音

そして　小牧野や大湯など東北のストーンサークルの静寂の森で聞く無音の響きなどに行きついた。

「心優しき日本人の故郷　縄文」 と私はよく言うのですが、縄文の心地よい音の響きを思い出していました。「これだ」と。

そんな昔からの心地よいリズム・響きが祇園囃子にもあると気が付いた。

また、意識はしていませんでしたが、　京都にはそんな心地良いゆったりとした響き・リズムを感じることがあり、

ついつ、ふらりと計画もなく京都の街歩きを楽しむ。 そんな京の街歩き　いつ行っても　新鮮な発見に出会います。

楽しい京都の街歩き　　私の街歩きの原点かもしれないと・・・・

暗闇の中に燃え上がる大文字の無音の炎　　京の田舎･巨木芦生台杉の生命力を育んだ北山杉の森

街中に点在する神社仏閣の神域空間の音　　京の祭に　　夕の雑踏が去った夜の祇園町

古い家並の街で　下駄の音が街に響く寒い朝　　京都の街中の路地歩きのざわめきの中にも

街のざわめきの中で聞く賀茂川の流れ　　京を取り巻く丘の上から街を見下ろして聞くざわめき

等々　考えてみると心地よい感覚が次々と・・・・

祇園祭の街角に立って　近づいてくる祇園囃子に耳を澄ます。
なんともいえぬ心地良さが身に染みわたる。
この心地よさはなになのか?
ふと頭に浮かぶ「祇園囃子は縄文の響き･リズム　日本人の故郷の心地よさがある」と祇園祭の京の街を思い浮かべるにつれ、だんだんとそれが確信の思いになって　頭一杯に広がってゆく。

「京都に多くの人が惹かれるのも　　この日本人の奥底にある響き・リズムが　京都には今も随所に残っているからか」と。
「今年の祇園祭では　是非　この感覚を確かめたい」と。
豪雨そして台風と悪天候にたたられた今年の祇園祭前祭でしたが、後祭の宵山　7 月 23 日は奇跡的な雨上がり。
7 月 23 日夕と翌 24 日　祇園祭　後祭の宵山と山鉾巡行の京の街歩きを楽しみました。

「日本人の心の故郷　心優しき縄文　　かつて約 1 万年を越える長きにわたって続いた平和な暮らしの時代があった」
その根底に流れる心地よいリズム・響きが私たちの中に　今も脈々と受け継がれている。

岩手　御所野縄文集落遺跡の土屋根

三内丸山縄文遺跡　縄文のお月見

縄文縄文の響き・リズムを思い浮かばせてくれる東北の弘前ねぷたと青森ねぶた

● 参考　　三内丸山遺跡「縄文のお月見」のお月見で聞いた　縄文の響きをいつも起想させてくれる
山上進さんの横笛演奏(「津軽の響き」より　岩木山　岩木山　お山参り)がバックに入った
三内丸山遺跡の動画が下記ホームページにあります
http://www.infokkkna.com/ironroad/2009htm/iron5/0910aom00.htm

そのリズムと響きが祇園囃子や京都の街角に間違いなく受け継がれていると感じる祇園祭　後祭の街歩きの心地よさ。
スピードを求め、即物的な現代社会の中で、心の奥底にしまい込まれて、ついつい見失いがちな「真実・本物」の感覚。
本人だけにしかわからぬ感覚かもしれませんが、最近よく言われるスローライフの感覚もこれかと…。無意識の心地よさを呼び起こしてくれ て、心身リフレッシュのうれしい街歩き。
いつも新しい発見がある　京の街歩き　ぶらっと出かけられる気楽さもあって、当分はやめられそうにない。
頭を空っぽにして　ぶらっと京都の街歩きにでかけられては・・・・・と。

2015 京都祇園祭　後祭の京都街歩き

1.　後祭　宵山の夕　山鉾の提灯に灯が入った鉾町　2015.7.23.夕

宵山の夕　山鉾の提灯に灯がはいり、祇園囃子が流れる鉾町　宵山を楽しむ人で一杯に　2015.7.23.夕

古い町家が建ち並ぶ鉾町では表の格子を開け、家自慢の屏風祭で人を招き入れてくれる

2.　後祭　宵山　夕の喧騒がなかったかのような夜　静まり返った祇園　　2015.7.23.夜

祇園囃子の余韻が無音の街歩きを一層心地良くしてくれる

3.　後祭　山鉾巡行　　2015.7.24.

素晴らしい美術品を飾りつけ山鉾の巡行がすぐ前を行く　祇園囃子に　音頭取りの声　車輪のきしむ音もすぐ前に

戦勝凱旋の姿をあらわすという巨大な大船鉾の巡行は堂々として　最後を飾るにふさわしい

祇園祭　後祭　2015　山鉾巡行　御池通で　　2015.7.24.

2015 祇園祭　後祭　　山鉾巡行の辻まわしは、昨年じっくりと見たので本年はパスしましたが、雑踏の中で押され眺める前祭とは違って、本当にまじかで山鉾そして巡行を見られました。　また、鉾町の街歩きも本当にゆったりと宵山の雰囲気を楽しむことができました。　あの人がびっしり詰まった前祭もそれはそれでお祭りの雰囲気ですが、後祭がおすすめ。

昨年もそうでしたが、提灯飾りに灯が入った山鉾　祇園囃子を聞きながら、商家の座敷に飾られた自慢の屏風の見て歩き。

昔の形での宵山の鉾町歩きが楽しめましたことの余裕。　街角でふと立ち止まって　流れてくる祇園ばやしを聞く余裕も。

また、翌日の山鉾巡行も、人垣に邪魔されずに本当にまじかで見れる後祭

ふっと感じる心地よい空間「祇園祭の音と響きが日本人の奥底にある心地よい縄文の記憶を受け継いでいる」と思い浮かばせてくれる心地よさは今回の街歩きの随所でも…・・・。

私だけでなく、多くの人達が祇園祭そして京都に惹かれるのもそれだと思っています。

今年は新しい発見のあつた祇園祭でした

2015. 7. 24.　　帰りの阪急電車でゆられながら・・・

Mutsu Nakanishi

【　参考　　和鉄の道　Iron Road　　】

1.【縄文】　和鉄の道　Iron Road　製鉄関連遺跡探訪リスト

http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/ironjyomon.htm

2.祇園祭　後祭

1. 2014 年祇園祭 後祭 山鉾巡行? 150 年振りに「大船鉾」が都大路をゆく　　2014.7.

http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/2014walk/14walk13.pdf

3. 心優しき縄文

1. 【鉄の雑記帳】日本人の心のふるさと「心優しき縄文人」の知恵　　2014.6.1.

「利他的精神」について 朝日新聞天声人語にこんな記事が…

http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/2014iron/14iron05.pdf

2. 【2014 年 4 月　From Kobe】 日本は今 心のない時代に 今警鐘をならさねば…　　2014.4.

http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/2014mutsu/fkobe1404.pdf

3. 【2010 年 11 月　From Kobe】　縄文がえりの勧め　心優しき縄文の村　　2010.11.

http://www.infokkkna.com/ironroad/2010htm/2010mutsu/fkobe1011.pdf

4. 縄文の心を映すストーンサークル　2011.11 月　　2011.11.

http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/7iron13.pdf

4.縄文のリズム・響き　東北の祭

1. 2002 夏　「ねぶた」と「ねぶた」　青森 Walk　　2002.8.3.-5.

http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/walk/kaze16.pdf

2. 三内丸山縄文遺跡「縄文のお月見」　　2009.9.5.

初秋の青森・秋田風来坊【1】岩木高原「嶽キミ」Walk と三内丸山遺跡「縄文のお月見」より

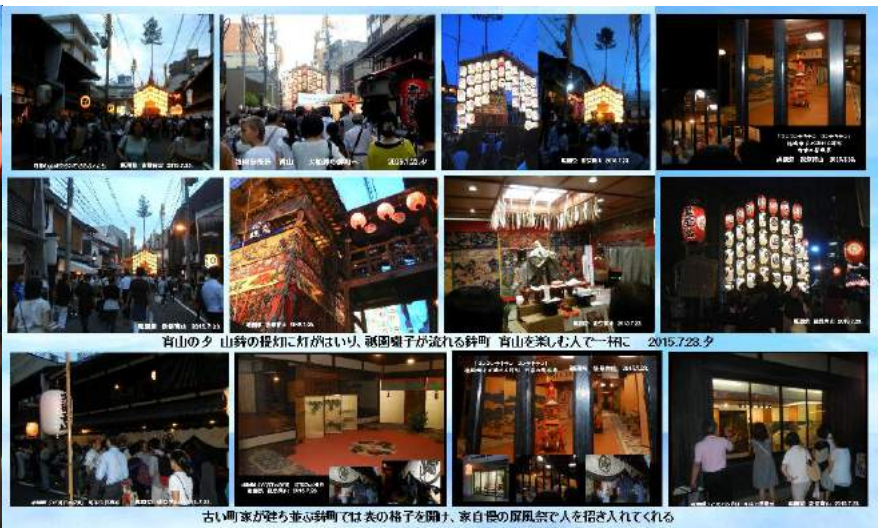
- http://www.infokkkna.com/ironroad/2009htm/iron5/0910aom00.htm

  動画のバックに　「津軽の響き」より　山上進さんの横笛などが入っています

- http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/walk/9walk13.pdf

2015 京都祇園祭　後祭　　スライド集　　京都街歩き

1.　後祭　宵山の夕　山鉾の提灯に灯が入った鉾町　2015.7.23.夕


宵山の夕　山鉾の提灯に灯がはいり、祇園囃子が流れる鉾町　宵山を楽しむ人で一杯に　2015.7.23.夕
古い町家が建ち並ぶ鉾町では表の格子を開け、家自慢の屏風祭で人を招き入れてくれる

祇園祭 後祭宵山 2015.7.23.

祇園祭後祭 宵山 大船鉾の辻取へ 2015.7.23.夕
前祭の宵山から比べると人出ははるかに少なく、ゆったりと鉾町を歩け、
祇園祭の雰囲気をゆっくり味わうのがうれしい。
昨年から復活した巡幸祭の後祭 花傘巡行の新しい楽しみの見所です

祇園祭 後祭宵山 2015.7.23.

南観音山
祇園祭 後祭宵山 2015.7.23.

「コンコンチキチン コンチキチン」
祇園囃子が流れる鉾町
町家の屏風祭
祇園祭 後祭宵山 2015.7.23.

祇園囃子が流れる鉾町 町家の屏風祭
祇園祭 後祭宵山 2015.7.23.

「コンコンチキチン コンチキチン」
祇園囃子が流れる鉾町 町家の屏風祭
祇園祭 後祭宵山 2015.7.23.

祇園囃子が流れる鉾町　町家の屏風祭
祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.

祇園囃子が流れる鉾町　町家の屏風祭
祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.

祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.

祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.

祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.

祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.

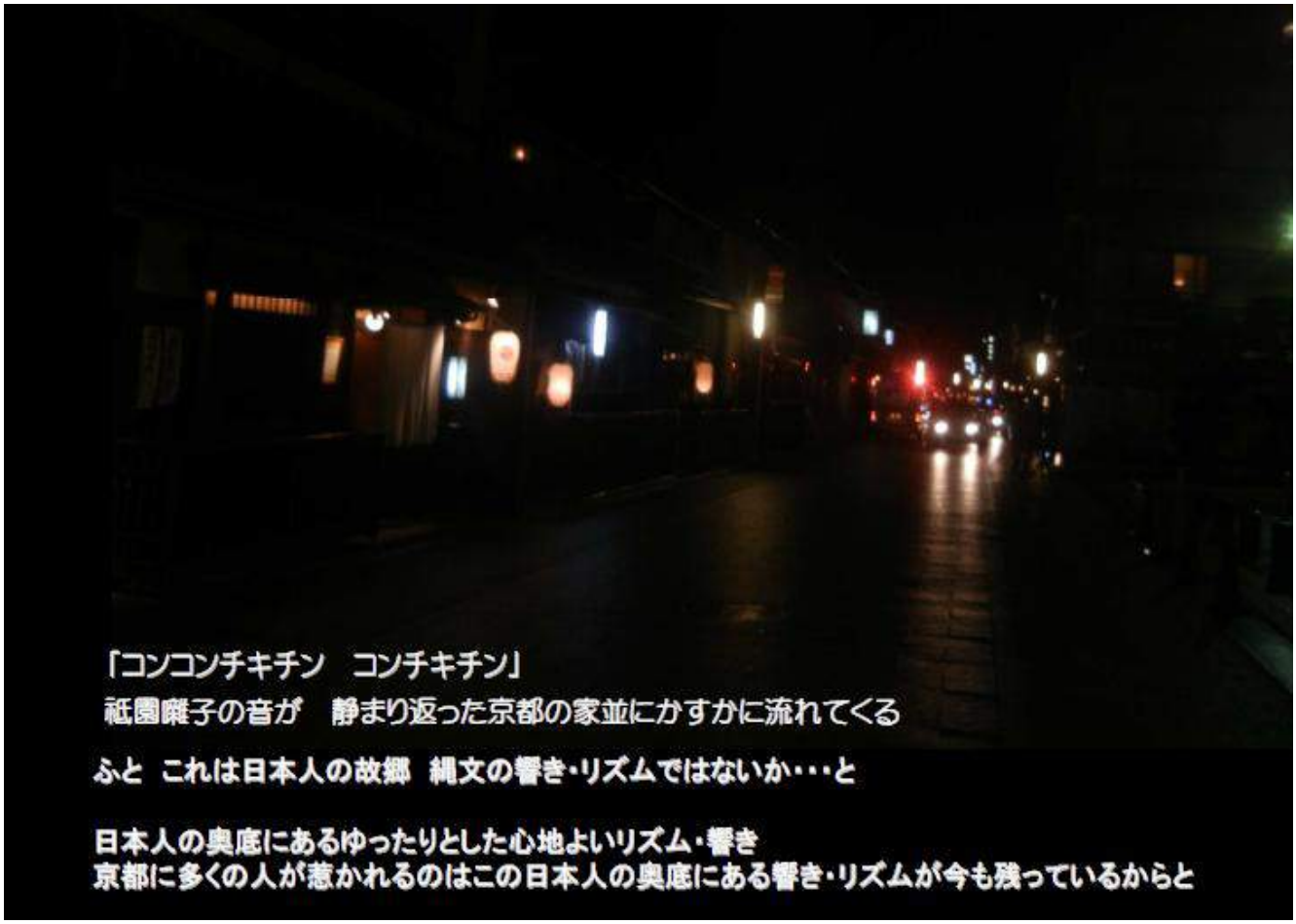
祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.

祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.

賀茂川　四条大橋で　祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.

四条通　四条大橋　祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.

2.　後祭　宵山　夕の喧騒がなかったかのような夜　静まり返った祇園　　2015.7.23.夜



人波がとざえ　ひっそり静まり返った祇園　　祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.

人波がとざえ　ひっそり静まり返った祇園　　祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.

「コンコンチキチン　コンチキチン」　祇園囃子の音が
静まり返った京都の家並にかすかに流れてくる

私は　「心優しき日本人の故郷　縄文」とよく言うのですが、
ふと　祇園街　祇園囃子は縄文の響き・リズム　日本人の故郷ではないか…と

雑踏の中で見る大文字の無音の炎
巨木戸生台杉の生命力を育んだ北山杉の森
街のざわめきの中で聞く賀茂川の流れ
街中に点在する神社仏閣の神域空間の音
職人さんたちの下駄の音が街に響く寒い朝
等々にも

京都に多くの人が惹かれるのも
この日本人の奥底にある響き・リズムが　京都には今も随所に残っているからかと

青森三内丸山遺跡のお月見で聞いた縄文
真っ暗な中　岩木川沿いを郷に帰る弘前ねぷたの笛の音
そんな昔からの心地よいリズム・響きが祇園囃子にもある。

今年はそんな日本人の奥底にあるゆったりとした心地よいリズム・響きを
祇園祭の中に確かめたくて　　祇園祭後祭の宵山　京都の街をゆったりと歩きました

20105.7.23.　Mutsu N akanishi

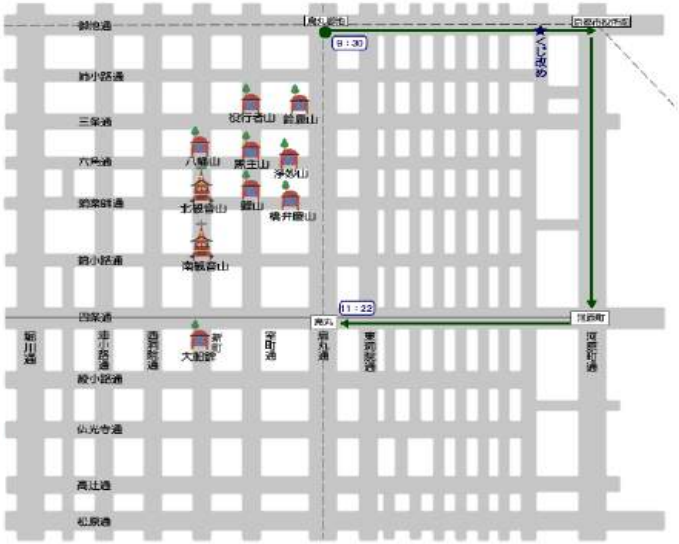
3.　後祭　山鉾巡行　　2015.7.24.

素晴らしい美術品を飾りつけ山鉾の巡行がすぐ前を行く　祇園囃子に　音頭取りの声　車輪のきしむ音もすぐ前に

戦勝凱旋の姿をあらわすという巨大な大船鉾の巡行は堂々として　最後を飾るにふさわしい
祇園祭　後祭　2015　山鉾巡行　御池通で　　2015.7.24.

1番：橋弁慶山　[心身強健]
五条大橋で牛若丸と弁慶が刀を交える
有名なシーン
2番：北観音山 [疫病除け]
天水引は雲龍図と金地唐草を使用
百子図綴錦は優品
3番：役行者山 [疫病除け]
左右のご神体の背後にある二本の
朱傘が特徴的
4番：八幡山 [夜泣き封じ]
木彫りの鳩が鳥居の上で向かい合う
夫婦円満のしるし
5番：鈴鹿山[盗難除け/安産]
ご神体は山鉾随一の美女と誉れ高い
鈴鹿権現
6番：南観音山 [疫病除け]
山後部から垂れ下がる柳の枝は
疫病除け、龍の目は宝石
7番：鯉山 [立身出世]
龍門の滝を昇りきった鯉は龍になるという
中国の伝説に取材
8番：黒主山 [盗難除け/泥棒除け]
大判黒主が大きく反って滋賀の山桜を
仰ぐ姿を表現
9番：浄妙山[勝負運]
一来法師が筒井浄妙に先んじようとする
一瞬を人形組みで表現
10番：大船鉾 [安産/勝負運]
船鉾は神功皇后の出陣を表し、大船鉾は戦勝凱旋の船を

祇園祭　後祭　山鉾巡行順番　2015.7.24.



6番：南観音山［疫病除け］　大勢の人で引く様は山から切り出した巨木を引くようだ

６番南観音山の後ろを　７番鯉山 中国故事登竜門の鯉がご神体　飾り付けは重文のタペストリー

7番：鯉山［立身出世］中国故事登竜門の鯉がご神体　飾り付けは重文のタペストリー

いよいよ最後 10番　戦勝凱旋の姿を描く大船鉾がやってきた

10番　戦勝凱旋の姿を描く大船鉾

10番　戦勝凱旋の姿を描く大船鉾

10番　戦勝凱旋の姿を描く大船鉾

10番　戦勝凱旋の姿を描く大船鉾

10番　戦勝凱旋の姿を描く大船鉾

市役所前で　くじ改め・河原町通への辻廻しへの順番を待つ大船鉾

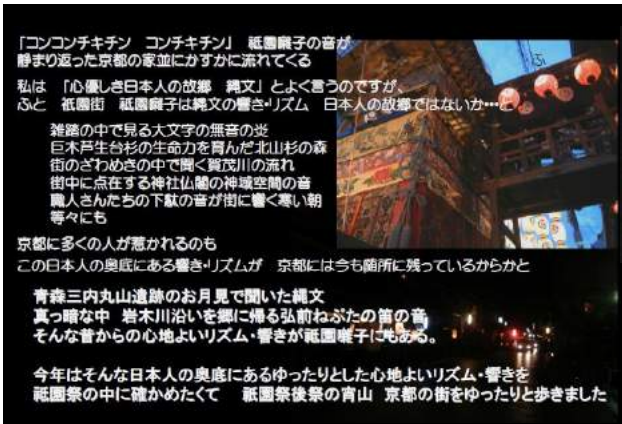
先頭にて　河原町を巡行する　一番　橋弁慶山　二番　北観音山を曳く

一番　橋弁慶山　（小船鉾は　四条交差点　おりて　本屋がいを交える

河原町通を巡行する　2番　北観音山　二番　北観音山を曳く

河原町通を巡行する　2番　北観音山

四条河原町から寺町通へ入って行く花車巡行が四条河原町を通過中
四条河原町の交差点はこの花笠巡行と山鉾巡行の辻廻しを見る人で一杯
四条交差点や四条通の巡行はもう見なくても十分と地下に潜る



日本人の心の故郷　心優しき縄文

日本には　かつて　約1万年を越える長きにわたって続いた　平和な暮らしの時代があった
その根底に流れる心地よいリズム･響きが私たちの中にも受け継がれている

今年は日本人の奥底にあるゆったりとした心地よいリズム･響きを
祇園祭の中に確かめたくて
祇園祭後祭の宵山　京都の街をゆったりと歩きました

祇園祭　後祭　2015.

【 参考　心優しき縄文 】

1. 【鉄の雑記帳】日本人の心のふるさと「心優しき縄文人」の知恵
   「利他的精神」について 朝日新聞天声人語にこんな記事が････　2014.6.1.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/2014iron/14iron05.pdf
2. 【2014年4月　From Kobe】 日本は今 心のない時代に 今警鐘をならさねば･･･　2014.4.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/2014mutsu/fkobe1404.pdf
3. 【2010年11月　From Kobe】縄文がえりの勧め　心優しき縄文の村　2010.11.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2010htm/2010mutsu/fkobe1011.pdf　2011.11.
4. 縄文の心を映すストーンサークル　2011.11月
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/7iron13.pdf

【 参考　祇園祭　後祭 】

1. 2014年祇園祭 後祭 山鉾巡行　150年振りに「大船鉾」が都大路をゆく　2014.7.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/2014walk/14walk13.pdf

【写真アルバム】 ひまわりの夏 2015　2015.7.28.

西播磨 佐用町旧南光　千種川沿いのたたらの郷のひまわり畑

今年も太陽に顔を向ける沢山の笑顔に出会えました

今年は台風の強風に見舞われ、随分ひまわりが倒れたと聞きましたが、
黄色の帯が田園地帯一杯に広がり、今年も太陽に顔を向ける沢山の笑顔に出会えました

西播磨佐用町東徳久のひまわり畑で　2015.7.28.

西播磨佐用町東徳久のひまわり畑で　2015.7.28.

西播磨佐用町東徳久のひまわり畑で　2015.7.28.

西播磨佐用町東徳久のひまわり畑で　2015.7.28.

西播磨佐用町東徳久のひまわり畑で　2015.7.28.

ひまわりの夏　2015

真っ青な空に　モクモクと入道雲　　ひまわりの夏　到来
毎日頭や肌を刺す酷暑にも一斉に太陽を見つめる黄色い元気な顔・顔・顔
今年も西播磨佐用のひまわり畑　元気なひまわりに出会ってきました
自宅の庭でも　ひまわりに朝顔も咲きだして、
早朝の空気を吸い込みながら、朝顔の数を数えるのもこの時期の楽しみ
まだまだ　元気　好奇心もある　前向いて　元気出してと

2015.8.1.　from Kobe　　Mutsu Nakanishi

【スライド原図】 ひまわりの夏 2015　　2015.7.28.

西播磨 佐用町旧南光　千種川沿いのたたらの郷のひまわり畑

今年も太陽に顔を向ける沢山の笑顔に出会えました

西播磨佐用町東徳久のひまわり畑で　2015.7.28.

西播磨佐用町東徳久のひまわり畑で　2015.7.28.

西播磨佐用町東徳久のひまわり畑で　2015.7.28.

西播磨佐用町東徳久のひまわり畑で　2015.7.28.

西播磨佐用町東徳久のひまわり畑で　2015.7.28.

ひまわりの夏 2015

西播磨佐用町東徳久のひまわり畑で　2015.7.28.

西播磨佐用町東徳久のひまわり畑で　2015.7.28.

西播磨佐用町東徳久のひまわり畑で　2015.7.28.

西播磨佐用町東徳久のひまわり畑で　2015.7.28.

西播磨佐用町東徳久のひまわり畑で　2015.7.28.

小野市のひまわりの丘　　2015.7.28.

ひまわりの夏　2015

真っ青な空に　モクモクと入道雲
毎日頭や肌を刺す酷暑にも一斉に太陽を見つめる黄色い元気な顔・顔・顔
ひまわりの夏　到来　　お変わりありませんか…
今年も西播磨佐用のひまわり畑　元気なひまわりに出会ってきました

自宅の庭でも　ひまわりに朝顔も咲きだして、
早朝の空気を吸い込みながら、朝顔の数を数えるのもこの時期の楽しみ
まだまだ　元気　好奇心もある　前向いて　元気出してと･･･

また、毎年8月は　終戦・原爆・原発　そして 墓参　それぞれが生き様の記憶を次々と呼び起こし、
戦争と平和　暮らしと家族　そして仲間にも思いをはせる
この夏　特に気になる平和の危機　違憲　戦争に道を開く安全保障関連法案を廃案に
憲法九条を守ろう　社会の流れが大きく変わる節目を迎えています。
年寄と言えども参画せねばと・・・・

仲間の元気を活力に　母校の高校野球の声援にも毎年変わらぬ夏の楽しみ
孫たちに振り回されることも多いのですが、それもうれしい　ひまわりの夏
お互い無理せず元気に　この夏を乗り切りましょう

2015.8.1.　神戸より　Mutsu Nakanishi

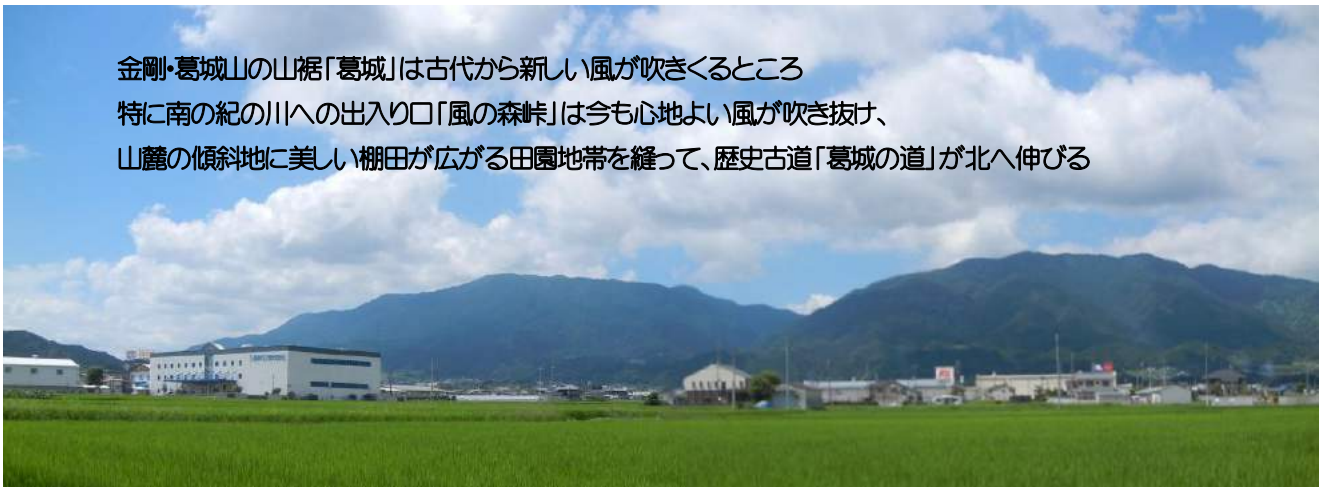
【写真アルバム】

風来坊 2015
【12】

風の森峠から南郷へ　金剛山東山麓　葛城の道 walk

さわやかな夏の風を感じたくて　古代葛城氏の生産工房が眠る美しい棚田が広がる田園地帯

御所市葛城川の岸より　金剛山麓葛城の道　南郷を遠望　　2015.8.23.



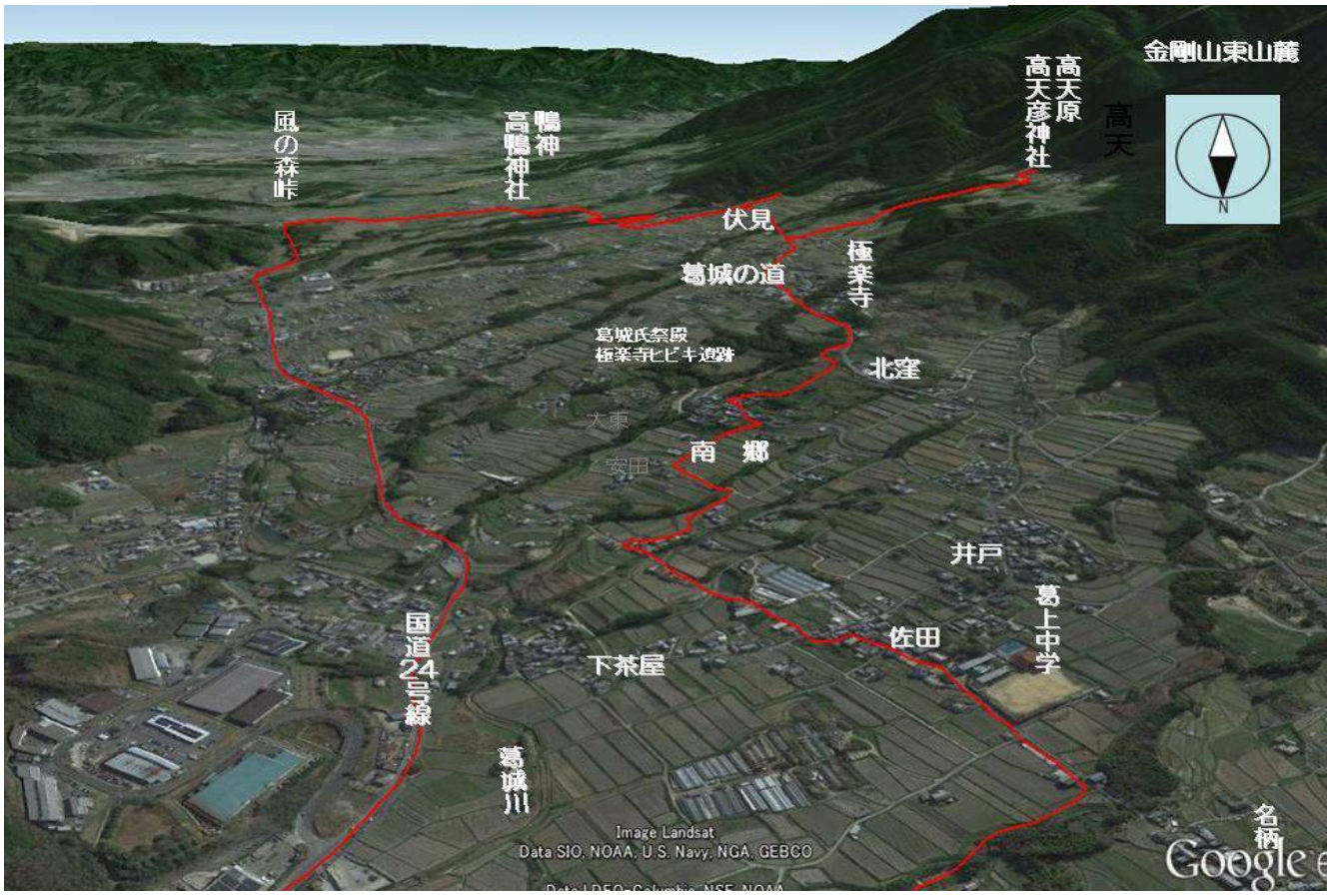
御所市室周辺より　中央に河内へ抜ける水越峠　左:金剛山　右:葛城山　　2015.8.23.

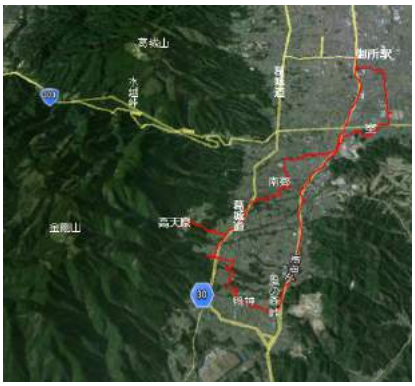
国道 24 号線西寺田で　左: 南 風の森峠・五条紀の川へ　右: 北 葛城山・二上山山裾から大和川竜田越へ

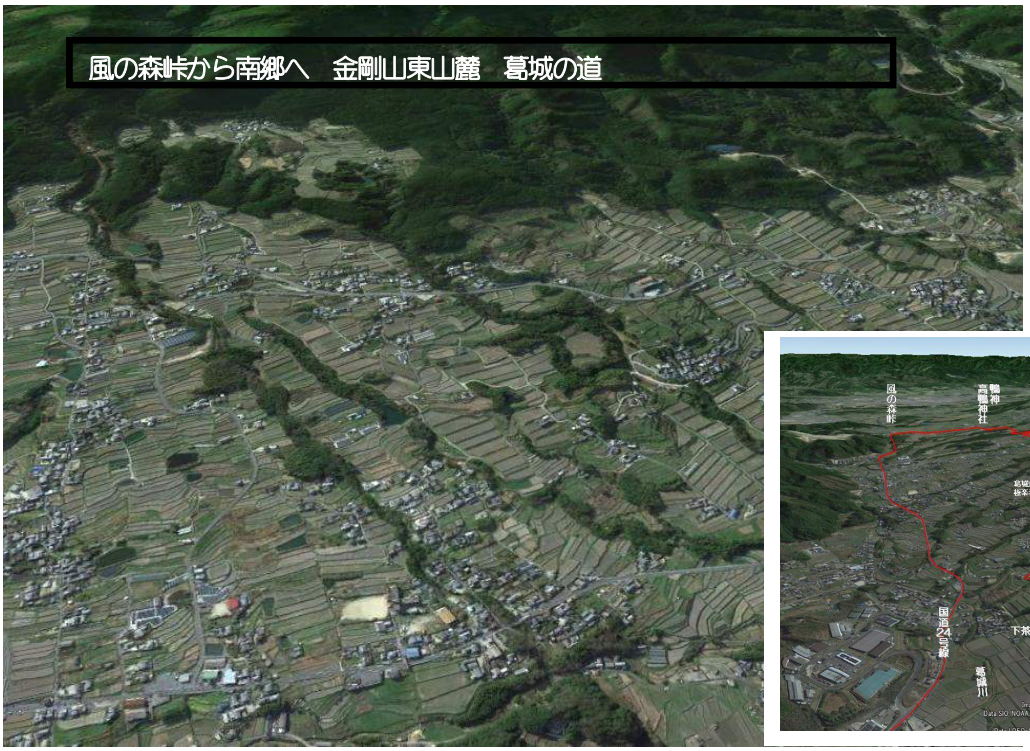
奈良盆地南部「葛城」は古代から　大陸・朝鮮半島の交流拠点　その流入口を眺める

風の森峠から南郷へ　葛城道　参考図

金剛山東山麓傾斜地を北の葛城山麓へ伸びる古道







金剛･葛城山麓の丘陵地にこんなに数多くの棚田が整然と並ぶ美しい田園地帯がある。

この地周辺は日本でも一番早くに数多くの水田が広がった地(弥生前期　中西遺跡)であり、また、この丘陵地の中を葛城古道が南北に抜けてゆく。ここは　古代の鴨族･葛城氏の発祥の根拠地で、大陸･朝鮮半島との交流路の入口でもありました。

南の入口　風の森峠から　心地よい風　新しい風か吹き抜けてゆく。

この美しい田園地帯の棚田の下には　5 世紀この地を本拠とした葛城氏が鍛冶工房などの生産工房を営み、この下にはその生産工房が眠っている。　何度かこの葛城氏の本拠地を訪ね、美しい棚田が広がる田園やこの田園を吹き抜ける風の心地良さを知りました。

夏の暑い一日ですが、御所の秋津･中西遺跡を訪ねた午後　是非　風の森峠から南郷への古道葛城の道を歩きたいと。

御所市の寺田からバスに乗って国道24号線を
南の風の森峠を目指す　　2015.8.23.

紀の川水系と大和川水系の分水界風の森峠　2015.8.23.

風の森峠

このあたりが日本で早くから水田稲作を始めた地といわれ、金剛山から吹き下ろす風が強く、五穀豊穣と風水害をさけるために風の森峠の頂上の森に風の神　志那都比古神を祭った(風の森神社)。このことから　このあたりを「風の森」と言うそうだ。

ただし、地名も「風の森」という森も実際にはない。

また、この風の森周辺は「鴨神」といい、渡来系と言われる豪族　鴨族発祥の地であることから「鴨神」の地名が生まれたようだ。

風の森峠から西へ金剛山麓の傾斜地へ登る急坂　登り口に高鴨神社･風の森の標識が立っている　　2015.8.23.

鴨神への急坂を喘ぎあえぎ登る　暑さにばて気味　前は稲穂と空だけ、登り切れば　きっと･･･

喘ぎながら登り切るとパッと視界が開け、緑の棚田が目に。
南正面には吉野･紀伊の山並みが、棚田の向こうに広がる。　畔に座り込んで　紀伊からの風の臭いを楽しむ。
前にここを歩いたときは　強い風が吹き抜けていましたが　今日は暑い。　でも座り込んでいると心地良し

喘ぎながら登り切るとパッと視界が開け、緑の棚田が目に　風の森峠周辺で　　2015.8.23.

北側は金剛山の傾斜地に広がる田園　葛城山があんなに小さく　2015.8.23.
葛城の道は　鴨神へは左に折れて　金剛山の正面山裾へ登ってゆく
この「風の森」の石柱は奥の高鴨神社への道標を示すものと思っていましたが、　逆で右へ
風の森峠の頂上にある風の森神社への入口を示す案内と後で知りました。

広い道路との交差点を北に折れると向こうに赤い鳥居のある高鴨神社の森が見える　　2015.8.23.

巨樹の緑に包まれた静かな森の中に高鴨神社の本殿がありました　　2015.8.23.

金剛山が背後にしていると思っていましたが、葛城の斜面地を背後に　まっすぐ南　紀の川の方を向いていました

この鴨神は鴨氏一族の発祥の地で、高鴨神社はその氏神として祀られたもの。　京都の上賀茂神社、下鴨神社の本家にあたる神社。
本殿は三間社流造りで、国の重要文化財に指定されている。
祭神は天孫降臨神話の国譲りに登場する大己貴命（大国主命）の子で迦毛大御神とも称され、　この鴨神の森に座し、皇孫の守護をした神。
鴨氏はこの丘陵から奈良盆地に出て、葛城川の岸辺に移った一族が鴨都波神社を、また東持田に移った一族が葛木御歳神社を祀った。
後に、高鴨神社を上鴨社、御歳神社を中鴨社、鴨都波神社を下鴨社と呼ぶようになった。

高鴨神社の森に沿って　ぐるりと金剛山側をま割り込んでさらに北へ　葛城の道を行く。この先は伏見・高天原・極楽寺を経て南郷へ
御所のある奈良盆地　そして　風の森峠からも随分高い高台の斜面地を北へ向いて道が続く。
金剛山山腹の巻き道であるが、斜面地全体によく整備された棚田が張りめぐらされていて、全く山道を歩いている気がない。

よく整備された棚田か続く中を、点々と古代から住み継がれてきた集落がこの斜面地のあちこちに散らばって続き、北側遠くには奈良盆地　南側には吉野・紀伊の山々がみえる。　西側すぐ横には金剛山から葛城山の山体の山襞が迫る。
水分補給しながらの夏の暑さを別にすると、それも心地よい。
さえぎる物のない素晴らしい田舎の田園風景を楽しみながら　ぶらぶら歩く。

鴨神から伏見へ　谷筋をトラバースして、伏見地区に入ると、また、一気に視界が開け、北の奈良盆地側が見晴らせる。
また、道に沿って　道の上段・下段に広がる緑の棚田が実に気持ちいい。

伏見地区の田園をながめながら、また一つ金剛山の枝尾根を越えると高天原集落への入口。　まだ、この上に集落がある。ちょうど金剛山頂上の真下の位置で、頂上ではないが、奥に鉄塔が見えて、金剛山の中腹と言える位置。　高天集落はこの金剛山の東斜面地の一番高いところにある集落で記紀に記されている「高天原の伝承地」である。

古事記神話に記されている高天原については諸説がありますが、この御所市の高天も、古来より神話の世界である高天原の伝承地で、この高天原集落の静かな森の中に古代豪族葛城氏の氏神高天彦神社がある。

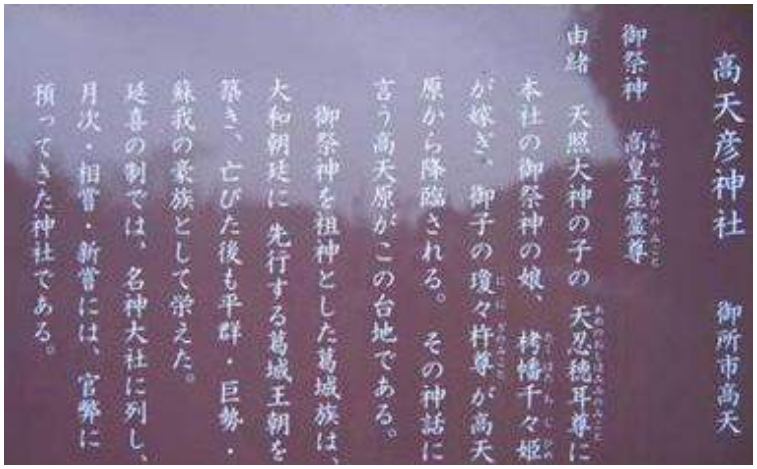
記･紀神話の中で、出雲へ国譲りのための使者を命令した高皇産霊神（たかみむすびのかみ）を祭神とする。
その孫が高天原から地上へ天降った瓊瓊杵尊（ににぎのみこと）。
また、神社東方には「蜘蛛窟」が残っている。　巨大な土蜘蛛が住んでいた場所とも、千筋の脚があった土蜘蛛が埋められた跡との伝承があり、『日本書紀』には、この土蜘蛛伝承から“葛城”という地名が生まれた経緯が語られている。

高天原へのきつい坂道をのぼりきると人家が見え、棚田が広がる美しい景観が見晴らせる。　高天原集落と思いましたが、、高天原への道はまだ上へ　森を抜けていく道が続く。　ここへきて、汗が噴き出す。

高天原　高天彦神社　参道入口　車道は右へ曲がって　さらに奥へ続く　　2015.8.23.

ここで　ついに水切れきつい　座り込んで　眼下の景色をしばし眺める。
少し登りましたが、まだ　南郷を歩かねばならないしとここで　下ることに

高天原　高天彦神社　参道入口さらに奥　高天原に車道が続く　2015.8.23.



インターネットから採取した高天彦神社

残念ながら今回は行きつくことができず。次回です。
暑さに水切れはやっぱり堪えました。
でも　一番高いところ　眼下に広がる田園の眺めは最高でした。

高天彦神社参道前から眺める奈良盆地遠望　2015.8.23

高天彦神社参道前から眺める吉野・大峰の山々　遠望　2015.8.23

高天からまっすぐ極楽寺集落の県道へ降りる。　途中　田圃の畦道に入って北へ下りながら元の県道まで戻る。
出た所は　以前　葛城氏の祭殿が出た極楽寺ヒビキ遺跡の現地説明会に行った時に　案内バスを降りたところ。
ここから　極楽寺ヒビキ遺跡へ向かって　下の集落へ下ったところだった。　眼を北の県道に向けるとすぐ県道の西側に極楽寺が見える。　今　極楽寺ヒビキ遺跡はどうなっているのだろうか?

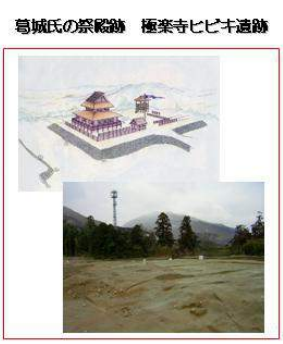
来た道へすこし下ったところから、わき道に入って　農道を県道まで下る　　2015.8.23.、

県道へ出た所　ここは以前　葛城氏の祭殿ヒビキ遺跡の入口で案内バスを降りた所だつた　インターネットより

道の左手に極楽寺　その向こう右手に鉄塔の見える森が見える

葛城氏の居館･祭殿が出土した極楽寺ヒビキ遺跡は　正面鉄塔の手前すぐ下の南郷を見下ろせる高台

寒い寒い２月の朝　凍えそうになりながら発掘現場を見学した記憶がある。



道は鉄塔の見える森をまきながらの下り坂。長い下り坂　右手の標識には「何号」。すぐ横に先ほど見た鉄塔。
残念ながら　ヒビキ遺跡の中へは行けませんでしたが、坂の正面は、また視界が開けて南郷の田園が広がっている。

鉄塔の所からはさらに北へ下る坂道で南郷に下ってゆく　　2015.8.23.

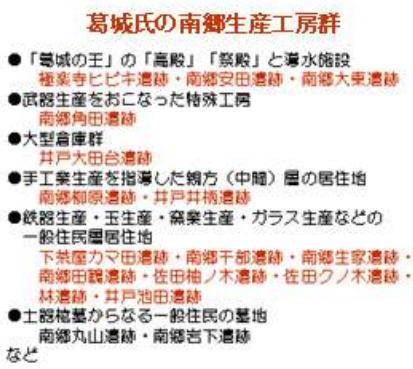
極楽寺から南郷へ下ってゆく坂道からは眼下に南郷の田園地帯がひろがっていました　　2015.8.23.

葛城の道より　すぐ直下の南郷の田園地帯を見下ろす　　2015.8.23.

南郷の丘陵地の主要部はすぐ下。 樹木に覆われて見えていないが、 南郷の傾斜地の一番下の国道 24 号線に近い下茶屋周辺が見えている。 緑が実に美しい。
奈良盆地の東の端を縁取る青垣の山々 中央に三輪山がみえ、室生の山々へと続き、 それらの山々をバックに 左奥から中央部にかけては遠く奈良盆地の中央部が見え、 大和三山も見えている。 また、その右奥に室・宮山古墳が見えている。
一番手前が南郷の田園地帯である。

北の名柄へ向かう県道 30 号線・葛城の道から外れ、南郷地区井戸・佐田の集落へ入る手前の道から、東へ南郷の田園地帯へ降りてゆく。 今までの金剛山に代わって 北西側に葛城山がどっしり座っている。
田園地帯の中にぽつぽつとし小さな集落が点在し、その週宇井には美しい棚田 緑の田園が広がっている。
このよく整備された段々の田園地一帯はかつて、葛城氏の生産工房に関係した南郷集落群があった。
葛城氏の鍛冶工房跡を訪ねて何度か訪れたことがあるが、この田園の中を歩くのは本当にひさしぶり。

南郷地区の井戸・佐田の集落に下る少し手前から東へ下る 見上げると北西側バックに葛城山 2015.8.23.



夕暮れ時 南西側の南郷の田園地帯に野焼きの煙がたなびいている。 見たかった南郷の田園の景色。

見たかった南郷の田園の景色 左:南郷の田園 中央:南郷の一番下を流れる葛城川 南郷の北端 水越峠から葛城山

美しい田園地帯が広がる南郷の田園で　こんな写真もとれました　2015.8.23.

御所市室周辺より　中央に河内へ抜ける水越峠　左：金剛山　右:葛城山　　2015.8.23.

「葛城」は古代から新しい風が吹きくるところ
心地よい風が今も吹き抜ける

夏のさわやかな風を感じたくてのwalk
金剛山の丘陵地に広がる美しい棚田群を
心地良い風が郷を吹き渡る風の森・風の郷

帰りには　今回も野焼きの煙が棚田の郷に漂い
郷の夕暮れを演出する

久しぶりの風の森・葛城道
足の向くまま　気の向くまま
多少　ばててしまいましたが、
これぞ風来坊の醍醐味

心地よいバスに揺られながら　　2015.8.23.夕

風の森峠から南郷へ　金剛山東山麓　葛城の道walk　2015. 8. 23.

御所市葛城川岸より　金剛山麓葛城の道　南郷を遠望

古代葛城氏の生産工房が眠る美しい棚田が広がる田園地帯
古道が通る素の郷を吹き抜けるさわやかな風とあそびながらの楽しいwalkでした

2015.8.23. by Mutsu Nakanishi

参考　和鉄の道•Iro n Road

1. 金剛•葛城 山麓 葛城氏の鍛冶工房「忍海」　渡来人が住み鉄鍛冶の技術を伝えた古代「忍海　2005.2.
2. http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/5iron05.pdf
2. 古代　大和への道【4】 古代「紀路」紀ノ川の流れに沿って大和へ　Country Walk　2007.7.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/7iron15.pdf
3. 「大和平野は弥生時代のはやくから　大穀倉地帯だった ???」
   国内最大級弥生時代前期の水田跡2千枚が出土?御所市 中西遺跡　2011.11.25.
   高い計画性と技術は大和の国力の源泉
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/11iron16.pdf

東播磨の田園に初秋を訪ねる　2015.9.11、

加古川中流の名勝　滝野 闘竜灘・　彼岸花の里　多可町　・　酒米「山田錦」の里　加東・三木吉川

中国山地　氷上分水界から南へ東播磨の中央を流れ下る加古川　2015.9.11.　小野市粟生で

1. 加古川沿い北へ　加古川中流の名勝　滝野 闘龍灘へ
2. さらに北へ遡り、多可町のの彼岸花
3. 帰りは加東•三木の酒米 山田錦の里を訪ねる

加古川の中流　名勝　闘竜灘　　彼岸花の里　多可町　　酒米「山田錦」の里　加東•三木吉川

8 月下旬からずつと台風•集中豪雨の不順な天気。夏から秋への里の風景を訪ねたくてうずうず。
台風も過ぎ去り、久しぶりに空澄み渡り、爽やかな風が吹 9 月 11 日家にいる手はないと　原チャリに乗って戸外へ。ちょっと早いのですが、この時期いつものコース　東播磨の田園の初秋を訪ねて、加古川の土手を北に走る。

西神戸の田園地帯を抜けて、　北の丹波氷上の中国山地から南へ　西播磨の中央を南へ莫れ下る加古川の土手を北に遡って、小野•滝野を経て、西脇から彼岸花の里　多可町へ。
帰りは滝野•社から東へ。　丘陵地に広がる田園の畔に点々と酒蔵の旗が翻る酒米「山田錦」の里　加東•三木吉川を経て、丹生山を南へ越えて西神戸へ出る西神戸の田園ルート。
今年の夏　是非行こうと思いながら訪ねられなかった　鮎が遡る加古川の名勝　闘竜灘にも立ち寄ってきました。

- ◆　北側の山々から流れ下る加古川の両側に　実りの秋を約束する黄金色に染まり始めた田園
- ◆　川巾一杯に岩盤の河床続く岩場の狭い水路を豪快に流れ下る急流に鮎が挑む名勝　滝野の闘竜灘
- ◆　西脇の北に広がる小さな盆地の山郷　妙見山を背に実りの田の畔を彩る彼岸花　　彼岸花の里　多可町
- ◆　里山の傾斜地一杯に広がる段々畑を背に 酒蔵の旗が点々と翻る里の夕暮れ　酒米「山田錦」の里　加東•三木吉川

等々。初秋東播磨の里の風物詩をデジカメに収めて、写真アルバムに。
また、播磨の特産　酒米についても　ちょっぴり新しい知見を得ましたのでそれも　ちょっと。
毎年　出かける東播磨の初秋　今年は畔一杯を埋め尽くす彼岸花や黄金色に輝く田には　まだちょっと早かったのですが、真っ青の秋晴れの中　里山を背にどこまでも田園が続く東播磨の初秋。　気持ち良い加古川の土手を走り抜けて　気分爽快。新しい知らなかった景色にも出会えました。

1.　両岸に広がる田園を眺めながら加古川沿いを北の闘龍灘へ

中国山地　氷上分水界から南へ東播磨の中央を流れ下る加古川　2015.9.11.　小野市粟生で

加古川の中流の西岸に沿って北に走る JR 加古川線の無人駅小野町駅。市街地からちょっと外れ、電車は 1 本/hr ほどでバスも最寄り駅もなし。でも　この駅に街の年寄たちの NPO が経営する蕎麦屋「ぷらっと　きすみの」はいつも満員。

こっちへ来ると何時も立ち寄るここで遅い昼食を済ませて、加古川の西岸の土手に出て、北へ加古川を遡り、中国道と加古川が交わる滝野の闘竜灘を目指す。　土手の周辺はまだちょっと秋の実りには早いですが、秋の実りを約束する広大な緑の田園地帯が続く。　ほっと一息　今日は暑くもなく川風に吹かれながら　田園風景を楽しむ。

田園の向こうに　青野ヶ原が南北にのびる加古川　西岸に広がる東播磨の田園地帯

加古川西岸の土手から北の滝野・西脇方面遠望

南　土手と青野ヶ原の間に広がる田園

まもなく実りの秋を迎える田園がどこまで続く加古川西岸の初秋　　東播磨　粟生周辺　2015. 9. 11.

小野市新大河橋周辺から川底に岩が見られるようになり、滝野の闘竜灘はもうすぐ。　さらに北　小野市の北端　大門橋の所で土手道はストップし T 字路に。　岸を西に下って岸の下を加古川に沿って北へ向かう古い街道筋を北へ。反対に橋を渡ると東岸の向こう南北の幹線国道 175 号線が走る加古川東岸の田園地帯に出る。

　小さな集落が点々と連なる古い街道筋。　JR 加古川線の社駅から滝野へ加東市の社に入ると加古川が大きく東へカーブし、闘龍灘へ向かい滝野の街が見える。

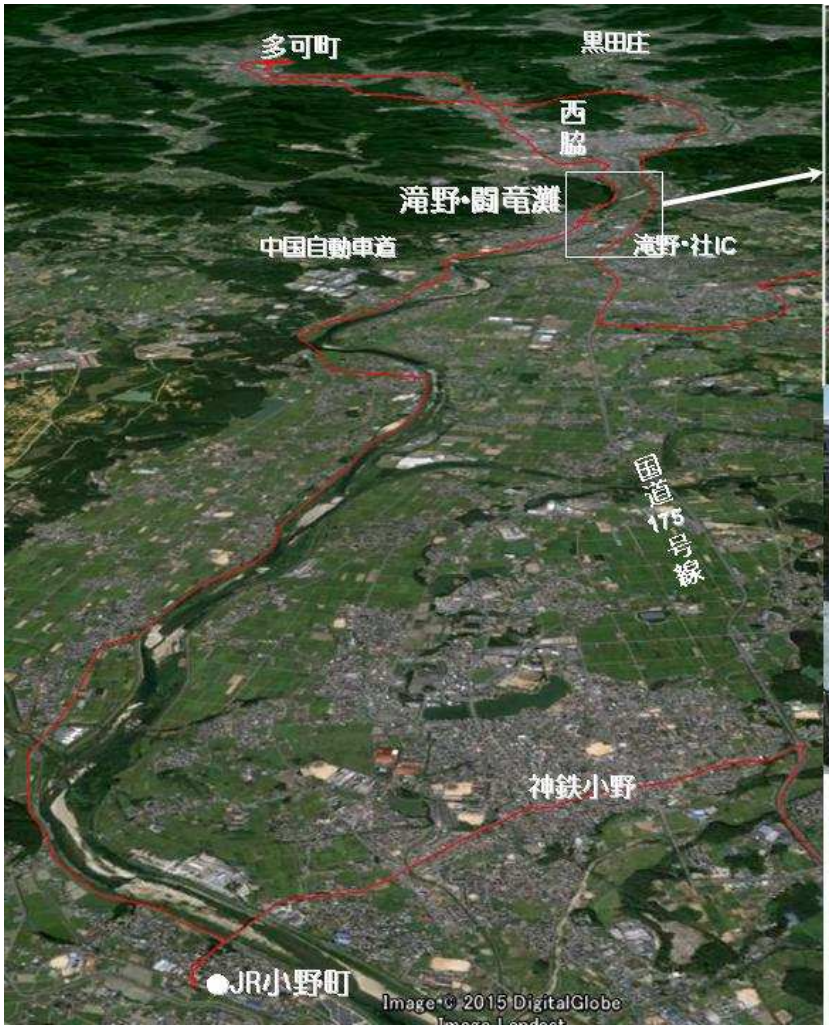
さらに北へ行くとまもなく中国道の高架。　それをくぐって　滝野の街の中心に入る。

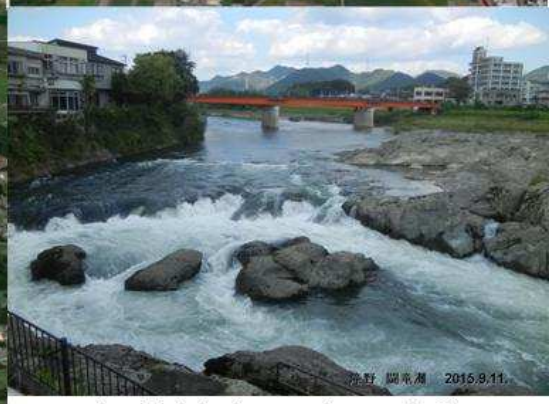
川へ近づこうと曲がりながら滝野の街の中を走り抜けるとふいに闘竜灘にかかる赤い橋に出た。以前にも来た覚えのあるこ橋。橋の下には　川幅一杯に岩場の河床が広がり、中央の狭い水路に流れが吸い込まれてゆくのが見える。　闘竜灘だ。しかし、あの鮎が飛び越えてゆくという景色は河原に下りないと見えない。　闘竜橋を越えてしまいましたが、闘竜灘の河原に入るには、手前の橋のそばの細い道を入らないと　以前いったことのある川岸の観光スポットへ行けない。

滝野に近づくにつれ、河床に岩盤が現れてくる　2015.9.11.

小野市の北端から加東市の社に入ると加古川が大きく東へカーブし、闘龍灘へ向かう　2015.9.11.

滝野　闘竜灘にかかる闘竜橋　2015.9.11.





加古川中流の名勝　闘竜灘

加古川の中流　滝野町上滝野の加古川右岸にある名勝。
河床いっぱいに起伏する岩石に阻まれた激流が巨竜の躍動に似ていることからこの名が付けられた。
かつては加古川を遡るアユの漁場としても有名で、今もアユ料理を食べさせてくれる。

闘竜灘公園　　今はシーズンでないのか　ひっそりしている　2015. 9. 11.

もう一度橋を戻って、川に沿って南へ入ったところが、ステンレスの昇竜のモニュメントがある闘竜灘公園。ここから川に下りられる。　公園を挟んで川岸に料理旅館が立っている。　もう何年も前に来た記憶があるのですが、ひっそり。ちょっと拍子抜けですが、川岸に近づくと下に豪快な闘竜灘の景観。　ちょうどすぐ下をとうとうと音を立てながら　すさまじい急流が流れ下っていました。

流れを飛ぶ鮎見られるか???

眼を凝らしましたが、よく判らず

河原に下りて　闘竜灘の急流を眺める　　上:上流側　下:下流側　　2015.9.11.

闘龍灘は河床いっぱいに起伏する岩石に阻まれた激流が巨竜の躍動に似ていることからこの名が付けられた　加古川の中流滝野町上滝野の加古川右岸にある名勝。　かつては加古川を遡るアユの漁場としても有名で、今もアユ料理を食べさせてくれるという。「アユの塩焼き食べたいなぁ　闘竜灘も長いこと行かないが・・・」と家内いつも話題に出るが、まだ行けていない。　一人で塩焼きのアユのまじかじりするのも気が引けるので、今日は闘竜灘の偵察と。

まじかで眺める迫力は格別。　残念ながら　鮎の飛ぶ姿は見えずでしたが、夏の終わり　スカッとした気分に

鮎の塩焼きかぶりつきたかったのですが、シーズン外と言うこともあるのか、どこにも出店もなく、料理旅館の入口を除くとどこにも鮎の塩焼きだけのメニューなく、高いコース料理のメニューの写真ばかりでした。

もう　鮎は高級魚　なかなかぱくつけないんだと。

ここでも　確かに川を眺めながら、鮎の塩焼きほおばった記憶があり、また、山口の長門峡では鮎を焼く店がずらっと並んでいたのに・・・・と。また　今度探そう。

でも　名勝　闘竜灘の景観に　気持ちもスカッとして、さらに北へ遡って　彼岸花の里　多可町へ向かいました。

2. 彼岸花の里　多可町間子に彼岸花を訪ねる

シンボル　妙見山を背に田園が広がる彼岸花の里　多可町間子　2015. 39. 11.

東龍灘から加古川西岸に沿って　北へ街中を抜けて西脇市の野村に出る。

ここからはいつも国道 175 号線を遡って多可町へ行く時の道。よく知った道だ。

東北へカーブする加古川と別れ、　加古川に注ぐ杉原川に沿って多可町に入り、さらに北へ。

田園の中を行くと　ほどなく前方に多可町のシンボル妙見山が見え、田園の中に集落がぽつぽつとある多可町にはいり、間子の集落へ。

この時節　田圃の畔に赤い彼岸花が点々と連なって沿咲くのが見えるのですが、ちょっと早すぎたようだ。

でも、久しぶりの妙見山の前に広がる緑の中に広がる広大な田園は気持ちがいい。　お久しぶりと・・・・。

もう一つ　びっくりしたことがある。

広がる山田錦の畔に「秋田村」の旗が幾つもひろがっていて、この多可町が酒米「山田錦」発祥の地だそうだ。

東播磨　多可町の象徴　妙見山を背に　畔に彼岸花が咲く多可町間子集落 2015. 9. 11.

お彼岸近くになるとこの川の土手や田圃の畔に彼岸花が咲き誇るのですが、少し早かったようだ。

でも　畔のあちこちに幾つものつぼみと一緒に彼岸花が咲き始めている。　自然の緑の中の赤　やっぱりこの時期の風物詩。

間子の集落の畔をぶらぶら歩いて、立ち止まっては　デジカメのシャッターを押す。

今年も見にこれてよかったと。

彼岸花の里　多可町間子で　　2015. 39. 11.

「秋田村」の旗が畔に翻っているのに今年初めて気が付いた。
近づいてみると背の高い大粒の酒米「山田錦」の田。
田圃の畔に旗が翻る光景はこの時期、東播磨でよく見る光景。「山田錦」は灘の酒蔵のみならず、全国の酒蔵が酒米として使っているので、不思議ではありませんが、それにしても広大な山田錦の田園がこの多可町にあるのには気づかず。それも旗は灘の酒蔵でなしに「秋田村」。
いつから何だろうか・・・・・

不思議に思えて　インターネットを調べると多可町は「山田錦」発祥の地だそうだ。
「山田錦」は、「山田穂」と「短稈渡船」との交配から誕生しましたが、母方の「山田穂」の生まれ育ったのが
兵庫県多可町だそうで、もちろん、「山田錦」の一大産地でもあるようです。
町は「山田錦発祥の地」の看板を掲げていて、この発祥の地に秋田村が出現したのは、
秋田県の各蔵元に“多可町の山田錦”をとの熱い思いで作る田んぼの愛称名なのだそうだ。

山田錦発祥の地はてっきり、同じ東播磨の三木吉川だと思っていました。この多可の酒米から秋田のうまい酒ができるようだ。
また、彼岸花の里を後にする道際のにには透き通る青空にコスモスの花。　秋一杯の田園の中を走り抜ける。

もう少し、彼岸花のある田園風景を眺めたくて、南の街中を戻らず、田園が広がる東の安田集落から加古川沿いの国道 175 号線へ向う。　正面遠く　加古川傍の山際まで広がる田園地帯安田地区。ここにも彼岸花と「山田錦」の旗が翻る。

東播磨　多可町東安田の田園で　2015. 9. 11.

こんなに山田錦を多可町だも作っていたのか・・・・また、多可町は山田錦発祥の地の一つ。　と今更ながらびっくり。
秋の午後はつるべ落とし。太陽の影が長く尾を引いているが、やっぱり　三木吉川の「山田錦」の里に翻る旗を見て帰らねばと彼岸花の里多可町を後にする。

3. 帰りは加東•三木の酒米 山田錦の里を訪ねる

「山田錦」と並ぶ幻の酒米と呼ばれる酒米「愛山」があるのを初めて知りました　　加東市木梨の里で　2015. 9. 11.

山田錦の里　三木吉川の田園地帯　　北神戸　淡河の里で

帰り滝野・社 IC の直ぐ南から、東へ折れて　中國縦貫道に沿いの丘陵地に広がる山田錦の里　加東市の東条・三木・吉川へ。
いつもは国道 175 号線を小野市天神まで下って、ここから東へ吉川の方へ行くのですが、滝野・社 IC のすぐ南で　社・東条

への案内標識をみて、滝野から東へ折れて、中国縦貫道に沿って、三木・吉川の方へ出ることに。
国道 175 号線から東へ県道 17 号線に入り、街中を抜けるとすぐ前方北側を走る中国道にかけて、広大な田園が広っている。
そして、遠くに見える田園の畔のあちこちに、旗が幾つも見える。　ここも酒米の里だ。
近づくとよく知る灘の酒蔵「剣菱」の旗。でも旗には「愛山契約地」の文字。

剣菱の酒造りに欠かせぬ酒米「山田錦」の相棒がこの地で栽培される酒米「愛山」であること初めて知りました
県道 17 号線　加東市木梨で　2015.9.11.

灘の酒蔵　剣菱の「山田錦」の契約地が口吉川の細川町他吉川や三木にあるのは知っていましたが、「愛山」の名の付く酒米についてはよく知らず、この加東市藤田・木梨集落周辺にも剣菱が酒米の契約地を持っているのだとその時は軽く思っていました。家に帰って酒米「愛山」を調べてびっくり。
インターネットに幻の酒米「愛山」の名とともに、「愛山」は酒米の最高峰なんだと。びっくりしました。

幻の酒米とも呼ばれている”愛山”、醸す芳醇な味わいは愛飲家の垂涎の的と言う。
愛山は 1941 年（昭 16）、兵庫県立農事試験場酒米試験地（当時）にて、「愛船 117」を母（種子親）、「山雄 67」を父（花粉親）として誕生、愛山 11 号の系統名で特性調査が行われました。しかし、収量は高いものの品質がやや不良との理由で、1951 年に試験は打ち切られ、育種の世界からは消えてしまった。その後、愛山 11 号は酒米試験地の地元加東郡社町（当時）の農家が灘五郷の酒造メーカとの契約栽培の下で、”愛山”の品種名で復活する。
種子は酒米試験地が純系淘汰で増殖、地元ＪＡの採種圃から生産者へと供給され、愛山は全国の名だたる蔵元の注目するところとなり、作付は次第に増加。兵庫県の醸造用玄米の産地銘柄に指定され、平成 24 年産の検査数量は、山田錦・五百万石・兵庫夢錦（以上は兵庫県奨励品種）に次いで 423 トンにも上っている。

- **インターネットより**　http://www.okomeno-tawaragura-ask.jp/azemichi/2013/06/post-174.html　他

兵庫県産の酒米の最高峰「山田錦」と「愛山」。
「愛山」は栽培が非常に難しい品種でもあり、「山田錦」よりも値段が高く貴重。独特の酒造適性を持っているため蔵元の関心を集めるが、生産量が少ないために“幻の酒米”といわれ、「剣菱」が唯一 40 年余り契約栽培で守り続けた酒米だという。
米は粒が大きくて心白が出やすく、麹と溶けやすい性質があり、剣菱が最も得意とする伝統的な日本酒造り技法「純米生酛」の酒造りに　もう一つの酒米「山田錦」と共に欠くことのできぬ最高の性質なのだそうだ。
「剣菱」のホームページにも　剣菱が育てたこの「愛山」と栽培農家との関係への思いが記されている。

- **剣菱に宿るもの**　http://www.kenbishi.co.jp/story/person4/

国道 175 号線の東　北の中国道沿いの田園に白と黒の剣菱の旗が翻る酒米「愛山」の里　加東市木梨　2015. 9. 11.

県道 17 号線木梨の集落の東側に広がる田園　写真正面田園奥　山裾の中国道の手前　左端に安住寺　右奥には三草山が見える

加東市木梨の千鳥橋から北西側にも広がる田園地帯　　2015. 9. 11.

この広さ剣菱が使う酒米「愛山」のほとんどは加東市のこの契約栽培地で作られたものか?

千鳥橋より　加東市藤田・木梨地区西側国道 175 号線側　酒蔵の旗が翻る田園　2015. 9. 11.

縁あって昔から　私には親近感のある灘の酒蔵「剣菱」。

その「剣菱」が契約農家と一体となって育てた酒米「愛山」の契約栽培地がこの田園地帯のようだ。

「山田錦」の契約栽培地　多可町間子地区の秋田村」といい、この「愛山」の契約栽培地　加東市木梨・藤田地区といい

酒米を栽培する農家と酒蔵の間には強いきずなの中で、うまい酒が造られている。

田の畔に翻る旗にはそんな思いが込められている。

インターネットで調べた付け焼刃です

参考　酒造りに必須の原料･副原料&　酒米「愛山」を生かす伝統の酒造り法　「生酛」

1.「蒸し米」 酒の原料　　2.「麹･麹菌」　蒸し米のデンプンをブドウ糖に変える
3.「酒母･乳酸菌」 ブドウ糖をアルコールに変える　4.「水」。

酒米「愛山」は昭和17年兵庫農試において「愛船117」と「山雄67」を交配、昭和24年に「愛山11号」の系統名で試験栽培されたが、昭和26年に打ち切られた。その後付近の農家が種子を増殖し、「愛山」と命名し慎ましく栽培されてきた。
唯一灘の酒蔵メーカー剣菱はこの酒米「愛山」を、40年余り契約栽培で守り続けてきたという。
その理由は　時間と手間はかかるが、剣菱の最も得意とする自然環境に任せた伝統技法でしっかりとした酒質?が作れる生酛（きもと）による酒造りにこの酒米「愛山」が最も適した性質を持っていたからと言われる。
その中身はよく知らないが、
酒米「愛山」は米は粒が大きくて心白が出やすく、麹と溶けやすい性質があり、純米生酛　をやるには最高の性質だと言われているようだ。
（**純米生酛**；乳酸菌を空気中から取り込んで乳酸を作らせ、雑菌や野生酵母を駆逐する伝統的な日本酒造り技法）
生酛(きもと)は、自然環境下で培養される強い酵母による酒造りのため、大変な労働と所要時間が長いため、次第に工程を省略する手法が探究された。
明治時代に**山廃酛(やまはいもと)**が、ついで**速醸酛(そくじょうもと)**が考案され、
一時期、生酛造りはほとんど行なわれなくなったが、
近年の伝統再評価の流れの中でふたたび脚光を浴びつつあるという。

酒造りで大量の米を発酵させるためには、酵母が米の量に見合っただけの何百億、何千億もの微生物である酵母が必要となる。この酵母を増やす(酛立て・酒母造り)ため、高さ 1m ほどの桶に、麹と冷たい水を入れ、それらをよく混ぜて、水麹（みずこうじ）と呼ばれる状態を作り、そのあと水麹に醸造用乳酸と、採用すると決めた酵母を少量だけ入れる。これに蒸し米を加えると酒母造りの仕込みは完成する。
あとは製法によって 2 週間から 1 ヶ月待つと、仕込まれた桶の中で酵母が大量に培養され酒母すなわち酛の完成となる。
伝統的技法である生酛（きもと）とは、最も古くから続く製法で、乳酸菌を空気中から取り込んで、乳酸を作らせ、雑菌や野生酵母を駆逐する技法で、酒母になるまでの所要期間は約 1 か月と長いが、成功すればしっかりとした酒質となる。
このため、この方法に魅力を感じ、伝統の復活のために取り組んでいる酒蔵も増えてきている。
一方、工程が多く手間が掛かり、醪酵段階も完全醪酵させるので所要期間が長く、
現在でも時間や労力が掛かるので敬遠される傾向にある。

酵母を増やす行程　酒母造り　「酛立て」（もとだて）のプロセス

◆生　酛　　米、麹、水を桶（タンク）に投入 > 山卸 > 温度管理 > 酵母添加 > 温度管理 > 酒母完成
（山卸とは米と麹と水を櫂で混ぜる作業のことで「酛すり」ともいう）
◆山廃酛　　生酛造りの工程から山卸を除いたもの
米、麹、水を桶（タンク）に投入 >　温度管理 > 酵母添加 > 温度管理 > 酒母完成
◆速醸酛　　米、麹、水、乳酸を混ぜる > 酵母添加 > 温度管理 > 酒母完成

全く知らなかった加東市の酒米契約栽培地　しかも「山田錦」と並ぶ「愛山」の存在。
兵庫県の酒米は「山田錦」だけではないんだと。
この酒米「愛山」の里から、中国道・千鳥川に沿って　県道 17 号をさらに東の東条へ　初秋の色濃い田園地帯を行く。

東条天神の三木・小野への案内標識で南へ中国道の高架をくぐって県道 75 号線に入り　東条川沿いを東条町新定までくだり、ここから右手へ　山越えして口吉川へ向かう。
東条町新定で東条川を渡り、県道 144 を南へ。　橋からは東条川沿いに　今通ってきた東条町の街並が見えている。
時刻は　午後 4 時 45 分。　酒米「愛山」の里で時間を食ったので、いよいよ、日陰が長く伸びて、日没が近い。
急いで、山越えして　吉川へ出て、日没までには淡河から丹生山を越えて、神戸の箕谷へ出たい。
田園の風景もそこそこにして、原チャリを走らす。

東条町新定から南へ　里山の中を山越えして　山田錦の里　三木市吉川へ　　2015. 9. 11. 夕

吉川からは　何度も原チャリで走ったよく知った道で、ほっと一息。
でも急がねば…。
さらに南へ県道 144 号を山越えして　三木市口吉川の細川地区へ出る。
この東西に延びる丘陵地には毎年酒蔵の旗が数多く見られる初秋の美しい棚田が見られる田園地帯なのですが、もう時間がない。
真っ直ぐ　そのまま付き切って　再度里山を越えて　淡河へ向かう。
　峠を越え、山陽自動車道の高架をくくると　まもなく眼下に見慣れた丹生山の山並みと細い谷筋に広がる淡河の集落が見える。
これで、暗くなる前に　丹生山を越えて　帰りつけるとほっとする

里山を抜けて、眼下に見慣れた丹生山の山並みと細い谷筋に広がる淡河の集落が見え、ほっとする　2015.9.11.夕

米の王者　兵庫産「山田錦」と思っていましたが、
もう一つなくてはならぬ「愛山」と言う酒米があるのを知りました。
最近の日本酒ブームでその評価が益々高くなる「愛山」は
灘の酒造メーカーと加東市の一地区の契約農家が 40 年かけて守り抜いた幻の酒米と聞く。
東播磨の北の丘陵地棚田に広がる酒米の田の畔に翻る旗には
酒造メーカーそれぞれと契約農家の強い思いが毎年毎年受け継がれてきたのでした。
酒米の田の畔に翻る旗は酒蔵と酒米契約農家との強い絆　そして　今年もうまい酒ができる印なんだと。
今年初めて知った幻の酒米「愛山」　この新酒は是非買い求めたいなぁ・・・・・・と。

【　参考　インターネット検索で知った「愛山」の話　】

1. **幻の酒米"愛山"　あぜ道日誌　ほか**
   http://www.okomeno-tawaragura-ask.jp/azemichi/2013/06/post-174.html　他
2. **剣菱に宿るもの**　http://www.kenbishi.co.jp/story/person4/

日没まじか 山田錦の里加東・三木吉川　播磨の里 初秋の夕暮れ 実りの田を陽の影が渡りゆく

午後５時を過ぎて　秋の夕暮れはつるべ落とし、　もうすぐに日没に
目の前に並ぶ丹生山塊の山を越えて　北神戸の箕谷・山田へ急ごう
久しぶりの晴天に東播磨の田園を訪ねた一日
豪快な闘竜灘の流れも久しぶり　　彼岸花の里　多可町　田園の秋
そして　夕暮れ近く　里山の間に広がる棚田　酒米の里も健在
東播磨の初秋に　新しい発見も加わって
爽快感一杯で　　初秋の風を感じながら　丹生山を越えてゆく
2015. 9. １１.　日没まじか　　by Mutsu Nakanishi

風来坊2015
【14】

路面電車　阪堺電車に乗る　イメージとは大違い　びっくり!!

低床の最新電車　二両連結の最新電車も　2015. 9. 14.

終点浜寺公園駅に入る阪堺線の最新２両連結の低床電車　　奥に重文の南海浜寺公園駅　　2015. 9. 14.

泉大津に行く機会の帰り、ふと思い立って　南海浜寺公園駅に降りて、浜寺公園駅/天王寺駅・恵美須町駅を結ぶ路面電車阪堺電車に乗りました。路面電車と言うと京都市電や大阪・神戸の市電もあったのですが、尼崎の住人だつた私には、街中を音を響かせながら走り抜けたオンボロの阪神国道電車がすぐ浮かんできますが、なくなってもう久しい。

　　阪堺線は大阪南　恵美須町・天王寺駅から狭い下町をガチャガチャ音を立てて走り、住吉大社の前を経て　堺の町そして浜寺公園を結び、私には遠く学生時代の天王寺駅前の狭い商店街の中など下町を走り抜けてゆくオンボロの路面電車のイメージがあり、消えた阪神国道電車のイメージが今も残る一番の路面電車とづっと思ってきました。

頭の中にある昔の阪堺線イメージ　インターネットより

かつて 阪神国道を走っていた阪神国道電車 インターネットより

テレビで見るヨーロッパの市街地を走る美しい最新の低床路面電車が日本各地の町を走り出して久しく、路面電車の印象も随分変わってきました。

でも　私の頭の中では　阪堺電車はあの車輪の音をきしませながらガタガタ走るイメージ。「天王寺駅前も近鉄アベノハルカスも建って随分変化した中、あの阪堺線はどうなっているだろうか?

重文の南海浜寺公園駅の建物も見たいしなぁ」と南海電車に乗っていて　ふと思いたって「今日は阪堺線で天王寺へ出ようと」　南海浜寺公園駅で下車。阪堺線で天王寺へ。

阪堺電車の浜寺公園駅で見る電車は頭の中にある電車とは大違い。　ピッカピカの最新低床の２両連結の電車でした。
電車の中もぴかぴか。運転席もすごいすごい。　もうびっくりでした。

阪堺線の最新２両連結の低床電車　　2015. 9. 14.

あのごちゃごちゃしていた阿倍野筋　阪堺線天王寺駅終点

また、阪堺線天王寺駅があるあのごちゃごちゃした阿倍野筋。
これもすごく広い大通りになって角にはあの阿倍野ハルカスのビル。そして　阿倍野筋の終端では　道の真ん中に阪堺線の駅が終点でどっかり座って、「俺の方がここは先やぞ」と自己主張。　これもうれしい。　びっくりしました。でも　年老いて　昔のイメージがこびりついていますが、昔と今は大違い。また　見ると思いの落差の大きさにもびっくり。心せねば・・・・と。

阿倍野筋　天王寺駅前　あべのハルカス　　2015. 9. 14.

でも　どっしり道の真ん中に座っている小さな路面電車の終点これもよし。　また、電車の窓から眺める車窓も心地良し。
今、　阪神国道に路面電車が残っていれば、ええ風景やろなぁ・・と思うのですが、これは贅沢。
でも　阪堺線は今　堺市の支援を受けて運行中。ずっと残ってほしいなぁ
嵐電や鞍馬線の観光電車も楽しいのですが、大阪の下町を走る路面電車もよし。　関西おすすスポットです。

現在　走っている阪堺電車の色々　　浜寺公園から天王寺駅までの車窓より　　2015. 9. 14.

京都北山の最北部　三国峠周辺の山里の秋を巡る　2015.9.20.

旧鯖街道　根来･針畑越 & 丹波　芦生･美山への入口　朽木 生杉から美山茅葺集落へ

京都の田舎　大原　黄金色の田の畔を赤い彼岸花が縁取っていました　2015.9.20.

若狭･京都･近江の国境三国峠の下　旧若狭鯖街道　朽木針畑地区生杉集落

若狭･京都･近江の国境三国峠の下　朽木針畑地区生杉集落は
旧鯖街道　根来･針畑越　そして　丹波への三国峠越の古道の入口
一度是非歩いてみたかった場所
京都から　連休の渋滞を避けての帰り道に家内の運転で清流　安曇川を遡り、
北山原生林の森に抱かれた山里若狭･京･近江をつなぐ歴史街道を訪ねました

真っ青な秋の空　若狭街道《鯖街道》国道 367 号線を北へ
高野川沿いを大原から途中越。そして、滋賀県側の安曇川沿いをさらに北の坊村から朽木へ。
今日は旧鯖街道　三国峠周辺の北山最北部に分け入り、ぜひとも一度歩いてみたかった若狭・京・近江国境　針畑・根来越の京都側入口周辺に足を入れたい。そんな思いを胸に安曇川に沿って　葛川から朽木へ至る鯖街道を走る。

朽木へ向かう途中越 鯖街道 清流安曇川には釣り人 明王谷の山も素晴らしい初秋の色に

旧鯖街道 若狭・京・近江の国境 針畑・根来越 峠への入口 朽木針畑「生杉」は原生の森に抱かれた静かな山里

集落を抜け 丹波・芦生への三国峠(三国山)へ登る道は針畑川の源流に広がる生杉原生林の森

安曇川の源流に原生林の森が広がる山里「生杉」では 源流の駅「山帰来」を拠点に針畑ルネサンスの町おこしが進行中

西の佐々里峠を境に東へ 広河原・能見・久多と続く京都最北の山里 ここも京都市左京区です

佐々里峠を西へ下ると美山の里が広がる由良の源流域　美山の茅葺集落の秋に出会えました

【参考　和鉄の道　Iron Roadより】

若狭小浜　旧若狭街道　針畑越　根来道　遠敷(おにゅう)の里 & 鵜の瀬

古墳時代　朝鮮半島との交流の玄関口「若狭」を再度訪ねる　2011.8.30.

2.3. 若狭と大和の深い関係を示す 若狭 遠敷川(おにゅうがわ)鵜の瀬の水送り

http://www.infokkkna.com/ironroad/2011htm/iron7/1110unose03.htm

【鵜の瀬で目にした関係案内板の記】

鵜の瀬　鵜の瀬公園資料館にあった奈良東大寺お水取りと若狭　鵜の瀬　の関係を解説したパネル

前記した若狭・京・近江国境　針畑・根来越は　ナビや地図では　幾つも細い林道が記されていて、一般車道は見つからないのですが、インターネットには峠越の記事がある。

また、以前　若狭小浜側から、遠敷川を遡って　若狭側の上根来まで行ったのですが、

「行けぬことはないが、車ではむつかしい」と聞いて引き返したことがある。

それから　数年　どんなところか、前々から気になっているところで、国境の峠　針畑峠を南に下った滋賀県朽木針畑「生杉」集落が京都側の峠側の入口周辺なのですが、山深い山中の里　足を踏み入れたことなし。

また、ここは三国峠越で　由良の源流　芦生から美山への古道の入口でもある。

こちらへも林道が伸びているのですが、確かなことは判らない。

うまくゆけば　芦生の原生林を経て、美山へぬけられるかも・・・・・。
山越をして　芦生の森からそのまま由良の源流沿いを南美山町の茅葺の里をめざされば
私の新しいルートが開拓できると。

いつもの事ですが、 まったく下調べもせずの風来坊　まあ　地図があり、未知とはいえ周辺は何度も出かけたことがある京都北山。 自然一杯の京都の田舎･山里の秋景色を満喫。 「知らなかった意外な景色を幾つも見られたなぁ」とルンルンで帰ってきました。
今回　初めて行った　若狭・京・近江国境　針畑・根来越の入口　朽木針畑「生杉」
交通の便も大丈夫そうなので　若狭への道・芦生への道　是非一度トライしようと思っています。
だんだん季節感がなくなってきた昨今　また　旅行ガイド片手のツアーがもてはやされる昨今ですが、ガイドブックに載らぬ自分だけのツアー　見知らぬ土地に足を踏み入れるのも一興。
また、私の Country Walk の写真羅列のメモですが、私の知らなかった京都の秋の写真アルバム
ご参考になれば。

【参考　和鉄の道　Iron Road 】
1. 若狭小浜　旧若狭街道　針畑越　根来道　遠敷(おにゅう)の里 & 鵜の瀬
古墳時代　朝鮮半島との交流の玄関口「若狭」を再度訪ねる　2011.8.30.
2.3. 若狭と大和の深い関係を示す 若狭 遠敷川(おにゅうがわ)鵜の瀬の水送
http://www.infokkkna.com/ironroad/2011htm/iron7/1110unose03.htm
2. 京都北山ドライブ　花脊峠･佐々里峠を越えて 由良川源流へ
北山の森･大悲山 峰定寺･美山「かやぶきの里」を訪ねる　2012.9.17.
http://www.infokkkna.com/ironroad/2012htm/walk9/1210miyama00.htm

久しぶりにデカンショ街道を走りたくて、美山茅葺集落から西の安掛峠に出て　地図と見比べながら　由良川と別れて県道１９号を南下して園部へ。　そして　国道３７２号　デカンショ街道を真っ直ぐ西へ　篠山へ出て神戸に向かう
今回　やっと気になっていた京都北山の最北部　三国峠周辺の山里を巡ることができ、また、美山茅葺集落にも・・・・。
９月シルバーウイーク　京都を含め、各地で渋滞が続く中全く渋滞に巻き込まれることもなく、
自然一杯の京都の田舎・山里の秋景色を満喫して
「今日は知らなかった意外な景色を幾つも見られたなぁ」と一日を振り返りつつ、
デカンショ街道を夕日と競争しつつ神戸へ走る。
今日も楽しい京都北山　京都最北部を巡る Country walk が楽しめました。

20105.9.20.夕　Mutsu Nakanishi

《　写真帳　京都北山の最北部　三国峠周辺の山里の秋を巡る　2015. 9. 20.　》

京都の田舎　大原の田園を彩る彼岸花

朽木へ向かう途中越　鯖街道　清流安曇川には釣り人　明王谷の山も素晴らしい初秋の色に

京都北山の最北部　三国峠周辺の山里の秋を巡る【1】 2015.9.20.

旧鯖街道　若狭・京・近江の国境　針畑・根来越　峠への入口　朽木針畑「生杉」は原生の森に抱かれた静かな山里

集落を抜け 丹波・芦生への三国峠(三国山)へ登る道は針畑川の源流に広がる生杉原生林の森

安曇川の源流に原生林の森が広がる山里「生杉」では　源流の駅「山間郷来」を拠点に針畑ルネサンスの町おこしが進行中

京都北山の最北部　三国峠周辺の山里の秋を巡る【2】 2015.9.20.

西の佐々里峠を境に東へ　広河原・佐見・久多と続く京都最北の山里　ここも京都市左京区です

佐々里峠を西へ下ると美山の里が広がる由良の源流域　美山の茅葺集落の秋に出会えました

京都北山の最北部　三国峠周辺の山里の秋を巡る【3】 2015.9.20.

京の田舎　大原の里の初秋を彩る彼岸花　2015.9.20.　9:50

京の田舎　大原の里の初秋を彩る彼岸花　　2015.9.20.

明王谷の秋景色　20105.9.20.

明王谷の秋景色　20105.9.20.

明王谷の秋景色　20105.9.20.

明王谷の秋景色　20105.9.20.

比叡山回峰行の道場として有名な明王院　20105.9.20.

葛川梅ノ木　左へ分岐すると広河原・蓬ヶ峠
真っ直ぐ行くと朽木地区に入ってゆく

高島市朽木　栃生の集落に入る　　2015.9.20.　11:09

安曇川の桑野橋 河原には連休を利用したオートキャンプする人たち
さすが 自然休暇村を目指す朽木である 11:12

高島市
朽木
三島市

【参考 和歌の道 Iron Roadより】
若狭小浜 旧若狭街道 針畑越 根来道 遠敷(おにゅう)の里 & 鵜の瀬
古墳時代 朝鮮半島との交流の玄関口「若狭」を再度訪ねる 2011.8.30.
2.3. 若狭と大和の深い関係を示す 若狭 遠敷川(おにゅうがわ)鵜の瀬の水送り
http://www.infokkkna.com/ironroad/2011hm/iron7/110unose03.htm
鯖街道根来道

【参考 和歌の道 Iron Roadより】
若狭小浜 旧若狭街道 針畑越 根来道
遠敷(おにゅう)の里 & 鵜の瀬
鯖街道根来道
江戸から明治に掛けて 若狭湾で獲れた魚介類は大地を経て京都まで運ばれていた。
その代表的産物が「鯖」。
ひと塩した鯖は「京都に着くころになると丁度良べ頃の味になった」という。今も小浜 京都間に残る幾筋もの「鯖街道」の誕生である。
ここ根来は、「京は遠でも十八里」(遠足)という約72キロ)と親しまれた針畑越のルートの一部。
ここから滋賀県朽木村へ抜ける京の都までの最短路であった。
史蹟 「鵜の瀬」由来記

福井県小浜市
若狭町
滋賀県高島市
三国岳
針畑峠
生杉
百里ヶ岳
水坂峠
芦生の森
朽木
京都府丹南市
美山町
久多
大津山
京都市左京区
滋賀県大津市
途中
途中越
© 朽木針畑地区の生杉から
北へ針畑峠を越えて若狭 根来・遠敷への道は かつての鯖街道
また 奈良東大寺のお水取りの伝承が残る大陸・若狭から奈良への古道
西へブナの原生林の森を抜け三国峠を越えれば
芦生の森・由良の源流から茅葺集落の残る丹南・美山町へ
Google

福井県小浜市
若狭町
滋賀県高島市
三国岳
針畑峠
生杉
百里ヶ岳
水坂峠
芦生の森
朽木
京都府丹南市
美山町
久多
大津山
京都市左京区
滋賀県大津市
途中
途中越
© 朽木針畑地区の生杉から
北へ針畑峠を越えて若狭 根来・遠敷への道は かつての鯖街道
また 奈良東大寺のお水取りの伝承が残る大陸・若狭から奈良への古道
西へブナの原生林の森を抜け三国峠を越えれば
芦生の森・由良の源流から茅葺集落の残る丹南・美山町へ
Google

朽木から 蛇行する谷筋北側沿いの谷筋を通って
福井・滋賀・京都の府県境三国峠の下の集落≪生杉≫へ向かう県道783号線
ちょうどススキの季節 谷川沿いのススキが美しい 2015.9.20.

百里ヶ岳
木地山峠
三国峠
針畑峠
旧針畑越鯖街道
県道763号線
朽木

おいすぎ

丹後への三国峠越 & 若狭への針畑越、日本海若狭と京都・琵琶を結ぶ古道の入口 針畑生杉 2015.9.20.

美山茅葺集落
佐々里峠
広河原
芦生の森
芦生演習林事務所
京都府丹南市
長治谷
三国峠
ブナ原生林
生杉集落
福井県
針畑峠
京都市左京区
三国岳
久多
旧鯖街道・針畑峠越
滋賀県高島市
栃ノ木
栃木畏渓谷
Image © 2015 DigitalGlobe
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Image Landsat

生杉の集落で 2015.9.20.

生杉の集落で 2015.9.20.

生杉の集落で 2015.9.20.

生杉ブナの原生林へ 2015.9.20.

生杉集落を抜けると三国峠への道はブナ原生林の森の中へ 2015.9.20.

ブナの原生林が道脇の池に姿を映し、幻想的な景色　20105.9.20.

生杉ブナの原生林で　2015.9.20.　12:25

生杉ブナの原生林で　2015.9.20.

地元の人の車が1台降りてきた。原生の遊歩林へのゲートが開いてないが再度聞いてみたが、
やっぱり行き止まりで戻らねばダメだという。三国峠を越えて　長岩谷のゲートまで確
かめたかったのですが、ここで引き返して、佐々里峠の道へ

源流の駅「山陽来」地域交流センターの所まで戻り、T字路を右に取り、再度県道783号線を南の久多・梅ノ木へ下ってゆく。 この道は旧 若狭・滋賀国境から針畑峠から南へ、針畑川の流れに沿って
真っ直ぐ梅ノ木へ下ってゆく旧鯖街道である。
群生したススキの穂が風に揺れて 素晴らしい秋景色 ススキが見送ってくれる。

群生したススキの穂が風に揺れて 素晴らしい秋景色 ススキが見送ってくれる 生杉で 2015.9.20. 12:47

桑原

人工の渓流での渓流釣り イワナ等の手づかみ そして渓流魚の食事・バーベキューなどが楽しめる施設と
あって、数多くの人で一杯。 でもすぐ下に渓流があるのになんで……と。
梅ノ木から東の久多・広河原へ延びる道路へ出るすぐ手前の朽木渓流センター 朽木小川で 2015.9.20.

能見峠河道
梅ノ木

久多　ここは京都市左京区　京都市の最北端

能見峠への手前　久多の道筋にも茅葺の家が見られました　2015.9.20.

久多から能見への峠道　2015.9.20.

下に久多の集落遠く比良武奈ヶ岳が見える能見峠周辺　2015.9.20. 13:30

2015.9.20.　能見峠

広河原　2015.9.20.

佐々里峠へ登る途中にある台杉の巨樹　今回も出会えました　2015.9.20.　14:00

佐々里峠へ登る途中にある台杉の巨樹　今回も出会えました　2015.9.20.

佐々里峠を越えて丹南市へ　2015.9.20.　14:02

芦生から西へ流れ下る由良川に出て、川に沿って美山の茅葺集落へ　田歌周辺で　2015.9.20.　14:28

黄金色の田の向こうの山裾に茅葺屋根の集落が見えてきた　2015.9.20.　14:34

茅葺集落の周辺は多くの車と人でにぎわった感じしていた。
真っ白な高原葱と黄金色の田の間の山裾に茅葺屋根の家が立ち並ぶ
イメージ通りの秋景色　今年も出会えました　2015.9.20.　14:42

美山茅葺集落の秋景色(1)　2015.9.20.

美山茅葺集落の秋景色(2)　2015.9.20.

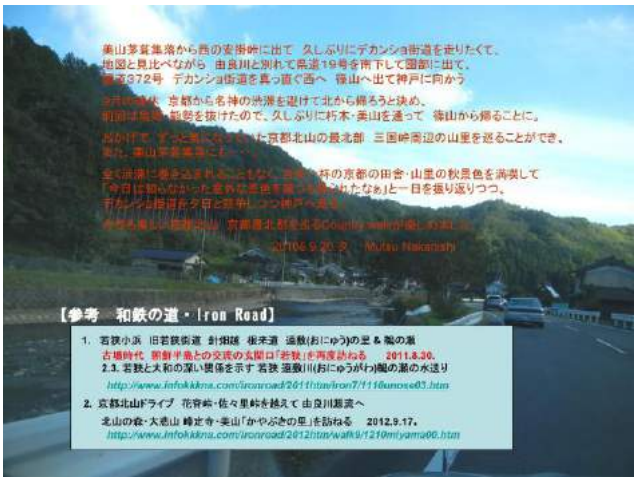
美山茅葺集落の秋景色　シンボル赤い郵便ポストの通り　2015.9.20.

美山茅葺集落の秋景色　シンボル赤い郵便ポストの通り　2015.9.20.

美山茅葺集落の秋景色　高麦畑越しに茅葺集落を眺める　2015.9.20.

美山茅葺集落の秋景色　2015.9.20.

由良川の土手から眺めた茅葺集落　2015.9.20.
集落の中へ向かう人の多さに集落の中へは行かず、15:00を過ぎたので　西へ帰ることに



刈入れが終わった田の畔を飾る彼岸花　篠山デカンショ街道 篠山で　2015.9. 20.夕　16:50

酒米「山田錦」の田に酒蔵の蔵が輝く夷播磨「山田錦の里」　加東市東条大川瀬で　2015.9.20.　17:05

北神戸　丹生の里　山田で　日没　2015.9.20.　5:45
日暮れまでに神戸へ帰りつきました

【写真アルバム】　　2015 年のコスモス探訪

実りの秋を迎えた播磨 加古川市志方の里に コスモスを訪ねる　2015.10.15.

播磨のコスモスの里　加古川市志方　広尾（東）の田園に広がるコスモス畑　2015.10.15.

″コスモス″　メキシコ原産の外来の花で、別名「秋桜」。でも、コスモスを「秋桜」というのは 秋の風に可愛らしく揺れる様子が「秋桜」とイメージされたのか??

広く使われるようになったのは山口百恵の「秋桜（コスモス）」の歌からだという。でも　今では実りの秋を迎える里になくてはならぬ秋のの風物詩。川岸や田の畔・街角など通りかかった道端で風にそよぐコスモスそして野原一面をピンクに染めるコスモスなどなど。真っ青な空に映えるコスモスが咲きだすと身も心もすっきりと。

毎年　「コスモスが咲き始めた」と聞くと出かける播磨の田舎　加古川市志方のコスモスの里。真っ青な空と里山の緑を背に、黄金色の田とピンクのコスモス畑が織りなす絵模様は私の心に深く刻まれた秋迎えのた風物詩。

加古川の中流西岸の加古川市志方町　北・西・東の三方を里山に囲まれ、播磨の田舎　田園地帯が広がっている。そして、秋になるとその中にある各地区が競うように、休耕田を利用した広大なコスモス畑が出現する。「今年のコスモスはどうだろうか」とワクワクしながら満開の コスモスを待つ。

休耕田の位置は毎年　地区ごとに変わるので、毎年定番の風景に加え新しいコスモスの景色をむ発見するのも楽しみ。今年は行けるかなぁ…と思っていましたが、10 月の連休に「コスモス祭りが開催された」と聞いて、10 月 15 日　真っ青な空に原チャリを志方に走らせて出会ってきました。

≪2015 年　コスモスの里　アルバム　≫

実りの秋を迎えた播磨 加古川市志方 コスモスの里　2015.10.15.

コスモスの里　志方　広尾（東）のコスモス畑で　2015.10.15.

コスモスの里　志方　高畑地区のコスモス畑で　2015.10.15.

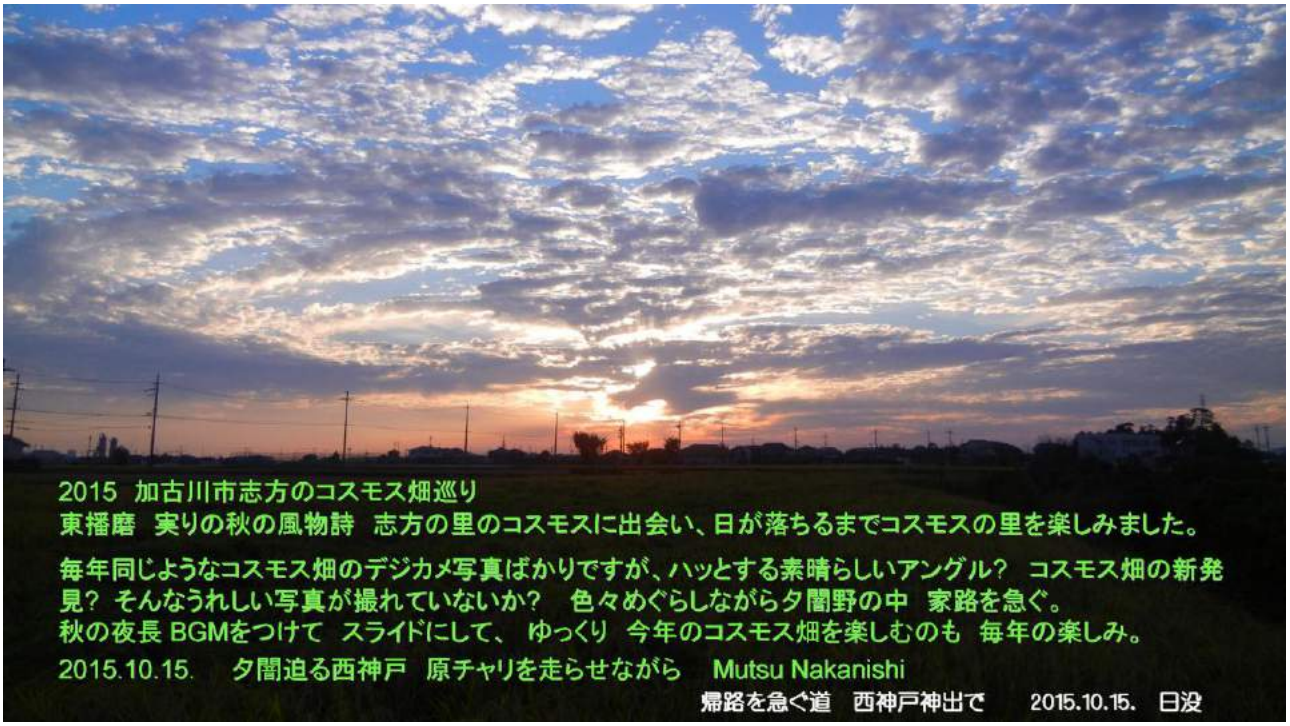
コスモスの里　志方　中国道沿いの野尻地区のコスモス畑(1)　2015.10.15.

コスモスの里　志方　中国道沿いの野尻地区のコスモス畑（2）　2015.10.15.

蕎麦の栽培が盛んな野尻地区　最近は見かけなくなって　もう蕎麦の栽培やめたのかと聞くと
街道筋の奥に蕎麦畑が広がっているという。　白い花をつけた蕎麦畑　まもなく播磨の新蕎麦だ。

コスモスの里　志方　東飯能地区のコスモス畑　2015.10.15.

夕暮れ近くコスモスの里のあちらこちらで　刈り入れ作業の終わり　野焼きの煙が昇る



【　参考　風来坊　Country Walk　秋の風物詩　コスモス walk　】

◆　2014 コスモス探訪　　2014 年 10 月

神戸運動公園コスモスの丘・加古川市志方のコスモス畑・大阪鶴見緑地

http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/walk11/1411kosumosu2014.htm

◆　2013　西神戸・東播磨の田園にに深まり行く秋を訪ねる

1.加古川東岸の山裾に広がる志方のコスモス畑　志方町高畑・広尾・野尻のコスモス畑

http://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/walk10/1310akitanpou00.htm

◆　2012 秋　西神戸・播磨に小さい秋を探して【3】

播磨のコスモスの里　加古川市志方　2012.10.12.

http://www.infokkkna.com/ironroad/2012htm/walk9/1210shikata00.htm

ほか

2015 年のコスモス探訪　　コスモスの写真原図抜粋

実りの秋を迎えた播磨 加古川市志方の里に コスモスを訪ねる 2015.10.15.

実りの秋を迎えた播磨加古川市志方　広尾の里のコスモス　　2015.10.15

2015.10.15.　加古川市志方　広尾の里で

2015.10.15.　加古川市志方　広尾の里で

加古川市志方　高畑で　2015.10.15.

加古川市志方　高畑で　2015.10.15.

加古川市志方　高畑で　2015.10.15.

高畑地区から県道43号線を北へ細工所から東へ
城山の北側に回り込み、山間　野鳥の宝庫志方東公園を
抜け、山陽自動車道を潜り抜ける。
狭い山間にピンクのコスモス畑が広がる野尻地区に入る
加古川市志方　野尻地区のコスモス畑　2015.10.15.

加古川市志方　野尻地区のコスモス畑　2015.10.15.

加古川市志方　野尻地区のコスモス畑　2015.10.15.

コスモス畑越しに　集落南の山陽自動車道の高架を眺める
加古川市志方　野尻地区のコスモス畑　2015.10.15.

加古川市志方　野尻地区のコスモス畑　2015.10.15.

加古川市志方　野尻地区のコスモス畑　2015.10.15.

コスモスの季節は　白い蕎麦の花が咲く時でもある。　野尻の里は蕎麦栽培でも有名
でも　見かけなくなっていましたが、　地区の人に聞く集落奥の畑で栽培していると。
集落の北奥の傾斜地の畑では　蕎麦の花が満開でした。

加古川市志方　野尻の蕎麦畑　2015.10.15.

加古川市東飯坂

県道43号線まで戻ってきて、
夕暮れ近く　西側から高畑地区のコスモス畑を眺める　2015.10.15.

2015 加古川市志方のコスモス畑巡り
東播磨　実りの秋の風物詩　志方の里のコスモスに出会い、日が落ちるまでコスモスの里を楽しみました。
毎年同じようなコスモス畑のデジカメ写真ばかりですが、ハッとする素晴らしいアングル？　コスモス畑の新発見？ そんなうれしい写真が撮れていないか？　色々めぐらしながら夕闇野の中　家路を急ぐ。
秋の夜長 BGMをつけて　スライドにして、　ゆっくり　今年のコスモス畑を楽しむのも　毎年の楽しみ。
2015.10.15.　夕闇迫る西神戸　原チャリを走らせながら　Mutsu Nakanishi
帰路を急ぐ道　西神戸神出で　2015.10.15.　日没

晩秋の西神戸　ゆったりとした神戸の田舎　≪櫨　谷≫　2015.11.28.

櫨谷街道に沿って　西神戸の田園風景の中に建つ小さなシャレタお店が人気に

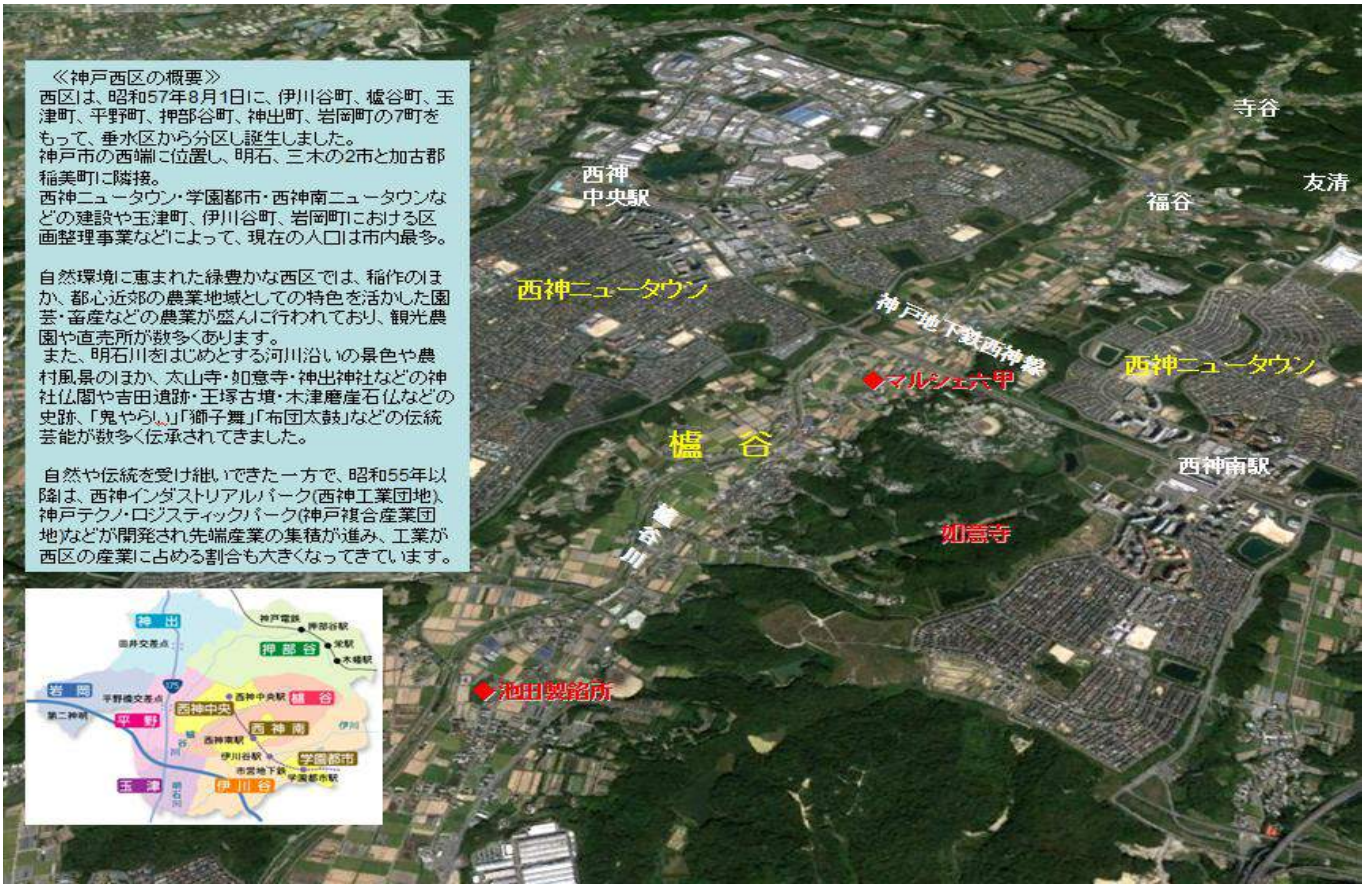
以前から気になっていた西神戸の田舎「櫨谷」。西神ニュータウンに隣接し、南北になだらかな丘陵地の間に延びる近郊農業で暮らす集落が点在するとともに、古いお寺もあり、その歴史は古いと聞く。
何度か櫨谷を通過したこともあるのですが、印象に残っていない谷筋。
季節を感じたくなるといつも西へ　西神戸の田園地帯を眺めながら、加古川の土手へ原チャリを走らすのですが、その途中　この櫨谷も横切ってゆく。
最近　この都市近郊の田舎「櫨谷」にも　若者や新しい人たちが新感覚で、地元の魅力・素材を発見し、それらを組み入れた新しい店づくり。　それがまた新しい人を呼ぶ。　規模はまだ、ささやかながら　田園風景の中にある新しい魅力ある街として、周辺の人達の話題に上るようになってきた。
「お仕着せの地方創生」・「ソアトのない箱モノづくり」等々旧態依然とした政治家の唱える「地方創生」とはちょっと違った地域クリエイティブな街づくりが、神戸近郊でも見られるようになってきました。
地方創生の新しいビジネスモデルになりうるのか?ま　だよくわかりませんが、近くには神戸・明石の境　都市近郊の田舎に開学した大学をきっかけに発展した明石伊川谷「有瀬の街」の例もある。
そんな西神戸の田舎の新しい街「櫨谷」の紹介。

この櫨谷の街の話を何度か聞く機会があり、
「なんでもみてこよう　行ってこよう」の好奇心にかられて
快晴のポカポカ陽気の晩秋 11 月 28 日　この櫨谷へ出かけました。
西神ニュータウンに隣接した田舎「櫨谷」。　この「櫨谷」の街道筋を活性化させようとの取組みが始まっている。巷の話では下記　櫨谷の道筋にある店はおすすめ　ぜひ行ってみたらいいと聞く。

- 神戸牛牧場と JA 六甲がコラボした櫨谷で飼育される神戸牛のお肉(六甲牛)と櫨谷の野菜直売の複合店「マルシェ兵庫六甲」
  （レインボーショップ櫨　＆六甲牛牧場直営店）
- 数々の小分けした餡子の直売　とおいしいおばぎやういろなどを買えるしゃれた餡子(あんこ)屋さん「池田製餡所」

◆ 櫨谷の枝谷のどん突にある古刹　如意寺　西神戸のパワースポットか?
野鳥が飛び交う静かな森に包まれて　ひっそりと重文に指定された塔とお堂のある古刹　如意寺。　なんとも心地よいパワースポットとでもいうべき心地よい空間が、櫨谷の奥にある。　晩秋　里山の紅葉とともに青空にトビが舞い、三重の塔が快晴の空に映える景色は　喧噪の中での紅葉見物とは来たまた違った素晴らしい景色。

神戸市街地の北西に広がる西神戸の丘陵地が広がる西神戸の田園地帯を西へ　白川峠・布施畑からトンネルを抜け、友清集落に出たところが「櫨谷」。　道脇に櫨谷神社があり、南北に広がる櫨谷を高架で渡って西へ抜けてゆく。
家から原チャリや車で 15 分ほど。両側を小高い丘陵地に挟まれた櫨谷の中　中央の街道に沿って両側に家並と田園が広がり、西神戸の典型的な田園風景が広がっている。いつも高架から季節折々の田園風景を眺めながら通過するのが楽しみな谷である。
今日は高架の下へ降りて、県道小部明石線「櫨谷街道」が走る櫨谷の集落の中を南へ。
しゃれたちっちゃなお店ですが、口コミで広がる周辺のニュータウンなどの人達が訪れる人気のスポット。
また、如意寺は狭い谷あいの野道の先に　大きな仁王門があり、その先の谷筋のどん突に、神戸にいることを忘れてしまう静かな森に包まれて　突如　紅葉した境内に　立派なお堂と三重の塔が現れました。　緑の森の空高く、トンビが空を舞い、パワースポットというか　巷と切り離された心地よい空間。　こんな素晴らしい建造物が西神戸にも立派に保存されて残っている。京都にも負けない紅葉も・・・・・。
また暗いお堂の中に座す阿弥陀如来像が差し込む光に本当に美しい。これが本当のお堂の自然な姿と…・・。
そんな　西神戸　ゆったりとした晩秋の神戸の田舎「櫨谷」　心地よいスポットを紹介。



マルシェ JA 兵庫六甲　　池田製餡所　　古刹　如意寺

櫨谷の中の街道筋　田園風景の中に点在する新しいお店　＆ お寺

● 神戸牛牧場直営店　　神戸牛牧場と JA 六甲がコラボした神戸牛のお肉と近郊野菜の直売の複合店「マルシェ兵庫六甲」内

「神戸ビーフ」多くの人が憧れる国産牛肉。　神戸に居ても神戸ビーフの専門店へ行って「神戸ビーフ」をとはおいそれてはいかぬ。
でも　さすがに本場　神戸では　ごく普通に　精肉店で肉を買って食べてもおいしい。また、神戸の山麓には神戸牛を育てる牧場や神戸牛の卸をする会社が幾つかあり、それらの直営店へ行くと安くてうまい肉が手に入る。
西神戸には　そんなところが数か所あり、街のスーパーや農協とタイアップしているところもあり　休日には大繁盛する。

　この櫨谷の一番北の寺谷の丘陵地の中に、古くから神戸牛を飼育する牧場があり、何度か牛を見に行ったことがあるのですが、その牧場が櫨谷の南に JA 兵庫六甲とコラボして、JA 櫨谷の野菜直売の店と一緒に神戸牛（六甲牛）の直営店を出している。
きれいな都市感覚の店づくりの中　近くでおいしい神戸牛の肉とその加工品並びに近郊野菜の産地櫨谷の朝どりの野菜が求められるので　最近周辺の人達の人気になっていると聞く。

櫨谷マルシェ六甲内 神戸牧場直営店ホームページより　http://www.kobe-ushi.jp/shop/

神戸三木線布施畑からまっすぐ西へ神出へ出る神戸の裏街道　もしくは山麓バイパスを西へ西神ニュータウンに向かい、10 分余りで　西神戸の丘陵地　櫨谷の中を北東から南西へ下ってくる県道小部明石線　櫨谷街道と交差する。
この櫨谷街道を南へ少し下ったところ、家並みが続く街道筋　櫨谷の真ん中あたり　福谷集落の JA 兵庫六甲の櫨谷支店と道を挟んで向かい側に　神戸肉と櫨谷近郊野菜の直売の複合店「マルシェ兵庫六甲」内　に神戸牛牧場の直営店がありました。
私には　肉や野菜の値段や品質にはトント疎いのですが、「安くて新鮮」で　この櫨谷よりさらに西にある JA 兵庫六甲の「六甲の恵み」まで会に遊館で済むという。

● 「池田製餡所」　数々の小分けした餡子の直売　とおいしいおばぎやういろなどを買えるしゃれた餡子(あんこ)屋さん

原チャリを走らせていて、櫨谷の道端に「池田製餡所」の看板を見かけたときには、和菓子屋やパン屋に「餡」を卸す会社があるんだと思っていました。　インターネットにあるチラシに「おはぎを買い求められる店」だと書いてあって、結構周辺の人に人気があると……。　今度通った時にはぜひ立ち寄ってみようと。

先日　久しぶりに明石から帰る途中　まっすぐ北に原チャリを走らせていて、櫨谷の中へ。

そして、「池田製餡所」の看板を見つけて、　標識に従って　一つ西側の弓道に入ると　田園地帯の中に　ぽつんと「おはぎ」の旗がはためく一軒家「池田製麺所」がありました。　外観は古ぼけた一軒家。でも中をのぞくときれいにデスプレイされてお菓子屋風。

おはぎや羊羹・ういろなどが並び、製餡所の「あん」も　小さなビニール袋にパックして並び、「おしるこのあん」もありました。ういろや羊羹の試食もあり。　一つ手を出すと山口で食べなれた「生ういろ」の味。「いける」と。

帰って　ぜんざい好きの家内に言うと「人づてに聞いたことあるが、場所がよくわからぬ」と興味津々。

また、後日　家内と二人出かけて　おはぎやういろなどを買っておやつに。

この櫨谷も西神戸イチジクの産地　イチジクの時にはイチジクの餡も作るという。

季節の折々にジャムなど造ルカ内などうれしい店が見つかったと。

池田製餡所のある　櫨谷　松本周辺　（左　写真中央池田製餡所　右　北西　丘陵地の上　西神ニュータウン　）

(google earth より)

よく知らなかったのですが、池田製餡所のホームページに

この　「櫨谷」が源氏物語に登場する地だと初めて知りました。

源氏物語十三帖「明石」に登場する明石の君が住む「岡之屋形」の場所で、光源氏がこの岡之屋形を訪ねたという。

豊かな緑を育む清らかなせせらぎの里「櫨谷」。

源氏物語千年の里へ訪れる歴史ファンも、近年多くなったと知りました。

池田製餡所横の農道を西へ　櫨谷川左岸近くに「岡之屋形」の碑が建っていました。

◆　櫨谷の枝谷のどん突にある古刹　如意寺　西神戸のパワースポットか?

如意寺　山門

阿弥陀堂と三重塔

文殊堂

　地下鉄高架の南側　JA 兵庫六甲や神戸牛牧場直営店がある長谷集落を抜けて　すこし南へ櫨谷街道を下ったところで　小さな小川　谷口川に架かる橋があり、この川岸に　天台宗如意寺の案内標識があり、この川に沿って東に広がる谷口集落の一番奥　狭い谷筋に如意寺がある。

　摂津・播州の国境の丘陵地　西神戸は古くから開けた地で、西神戸の丘陵地にはいくつも古い行事を守り伝えるお寺や神社が残っており、ふと　標識を見て　丘陵地の谷筋へ入って行くとびっくりするお寺に出会うことがある。

前開　高和の性海寺や押部谷近江寺　伊川谷　太山寺稲美の高薗寺等々である。

櫨谷街道から、谷口川沿い　如意寺への入り口

　この櫨谷にある如意寺も何度が標識を見て　そのうちに・・・・と思っていましたが入ったことなく、

今回　谷川集落の奥に初めて入って、素晴らしい古刹があるのを初めて知りました。

　如意寺は大化元年（645 年）法道仙人が多聞天の教化により当山に櫨の木に刻んだ地蔵菩薩と毘沙門天を祀ったのが起源と伝えられる山あいの谷間にひっそりとたたずむ歴史のある寺。

　文殊堂（1453年）、阿弥陀堂（鎌倉初期）、三重塔（1385年）が重要文化財に指定されている。

　現在　山門は伽藍からずいぶんと離れて　往時には広大な寺院だったようだ。

ちょうど゛晩秋　静かな森に包まれて　境内は紅葉が真っ盛り。

重文の立派な建物の上　青空にとびが舞い　神戸の田舎にこんな美しい景色があったのかと

櫨谷街道から東へ　谷口集落を抜けると人家のない視界の開けぬ狭い谷筋　その奥に如意寺　　google earth　より

谷口集落を東に抜けると　狭い農道が枝谷の奥へ続いていて、間もなく突如　山門が突如現れ、お寺は見えず、びっくりする。さらに奥へと　誰もいない狭い谷筋の農道を進むと間もなく立派な「如意寺」の石碑の前に　如意寺の阿弥陀堂が背後に三重塔を従えて現れる。　西神ニュータウンに接して、人里離れたこんな場所があるのか……と。

晩秋　だれ一人いない静かな境内は真っ赤な紅葉がお堂を飾り、素晴らし停景色を独り占め。

周りの森はちょうちょや野鳥の休息の場なのか　大空にも鳶がゆっくりと弧を描く。

国指定重要文化財

如意寺常行堂・三重塔・文殊堂

指定年月日　昭和27年7月19日
所有者・管理者　如意寺

比金山如意寺は、今から千年ほど前、願西上人によって開かれたとされる天台宗の古刹で、地蔵菩薩を本尊としています。12世紀頃の古文書に「地蔵堂に土地を寄進する」という記述があることから、その頃に寺観が整いつつあったようです。寺院所蔵の文書群には、中世から近世にかけて隆盛を誇った当寺の姿が生き生きと示されています。そして、幸運なことに、このことは境内に残る三棟の中世建築によって今もはっきりと感じることができます。今は礎石のみを残す本堂を中心に西に阿弥陀堂、東に三重塔、南に文殊堂と建物を配置する方法は、近隣の太山寺とも共通し、天台宗独自のものであると言われています。

【常行堂(阿弥陀堂)】

常行堂は、常行三昧という天台宗の重要な修行のためのお堂で阿弥陀如来を本尊としています。応永13年(1406)、寛文12年(1672)に大きく改修されていますが、院政末期(12世紀末～13世紀はじめ)に建てられた市内最古の建造物です。素朴で落ち着いた雰囲気をもつお堂の姿も見事ですが、内部の阿弥陀如来(市指定有形文化財)も建物と同じ時代に造られた素晴らしいお像です。このように建物と仏像が造られた当時のまま伝わっていることは、めずらしく、大変貴重な文化財です。

【三重塔】

阿弥陀堂と対面した高台に立つ三重塔は、元和5年(1619)の修理の際に発見された龍車(塔上部の相輪の部材)の刻銘によって至徳2年(1385)に建てられたことが分かります。軒の出が深く美しい純和様の建造物で三層各階には、それぞれ大日・釈迦・多宝如来を安置して法華経と密教思想の融合を表わしています。

【文殊堂】

伽藍の南端の傾斜地に建てられる文殊堂は、懸造様の高床を持つ建造物です。建立年代は、様式手法からみて応永13年(1406)の罹災後と考えられ、巻斗の「癸酉」という墨書銘が示す1453年であるとする意見もあります。他の諸堂と同じく江戸時代に修理が加えられていますが、聖僧文殊を安置する内部の厨子とともに時代の特徴を良く示している建物です。

如意寺には、この他にも鎌倉時代唯一の大型塑像として知られる仁王像(県指定有形文化財)なども伝えられ、この地域に独自の文化が存在したことを教えてくれます。

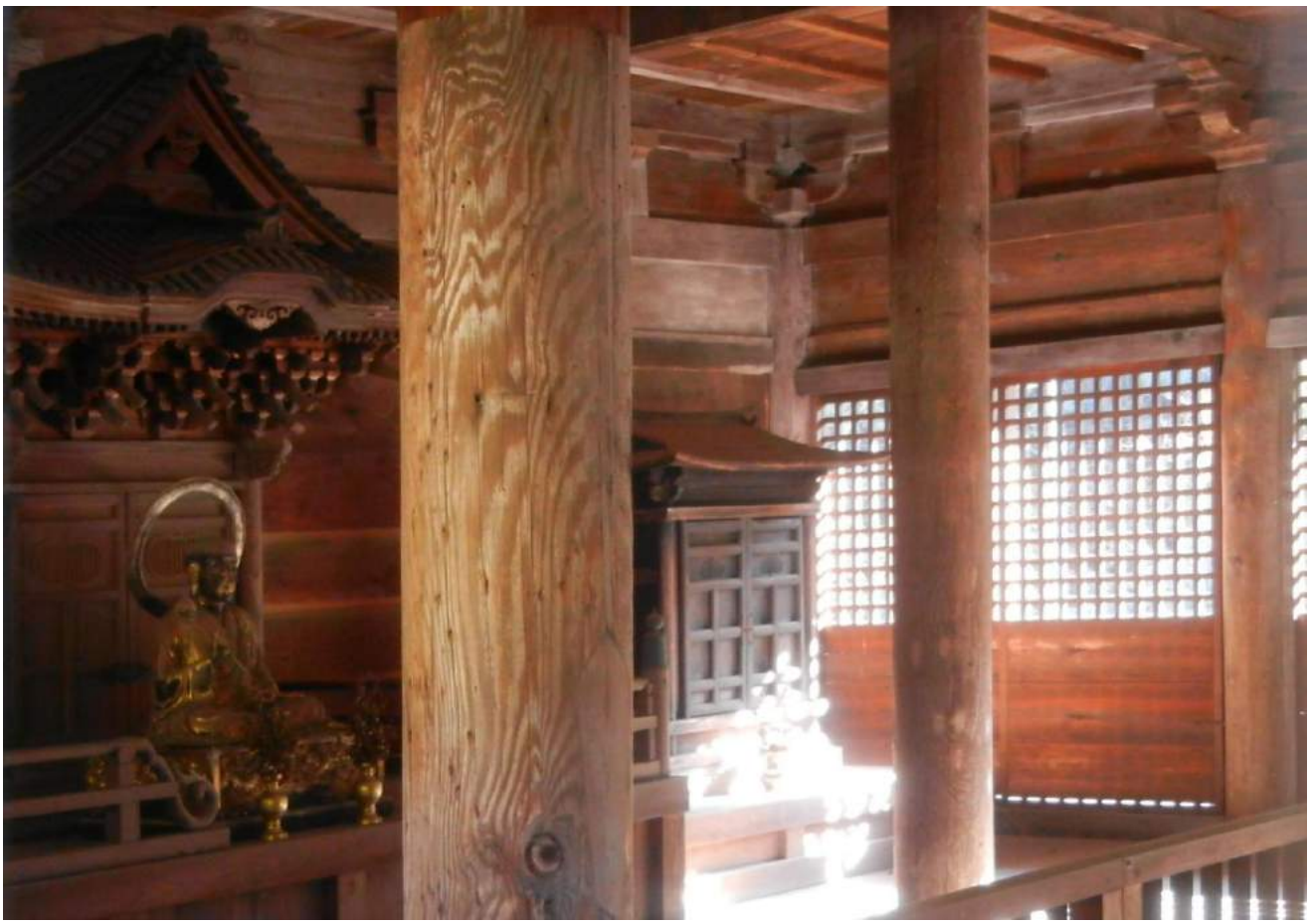
周辺にせまった開発とは別天地のような中世的な場に我々を誘ってくれる如意寺。このような魅力あふれる場を、次代へ守り伝えていくことが今を生きる我々に課せられた使命でしょう。

平成24年3月　神戸市教育委員会

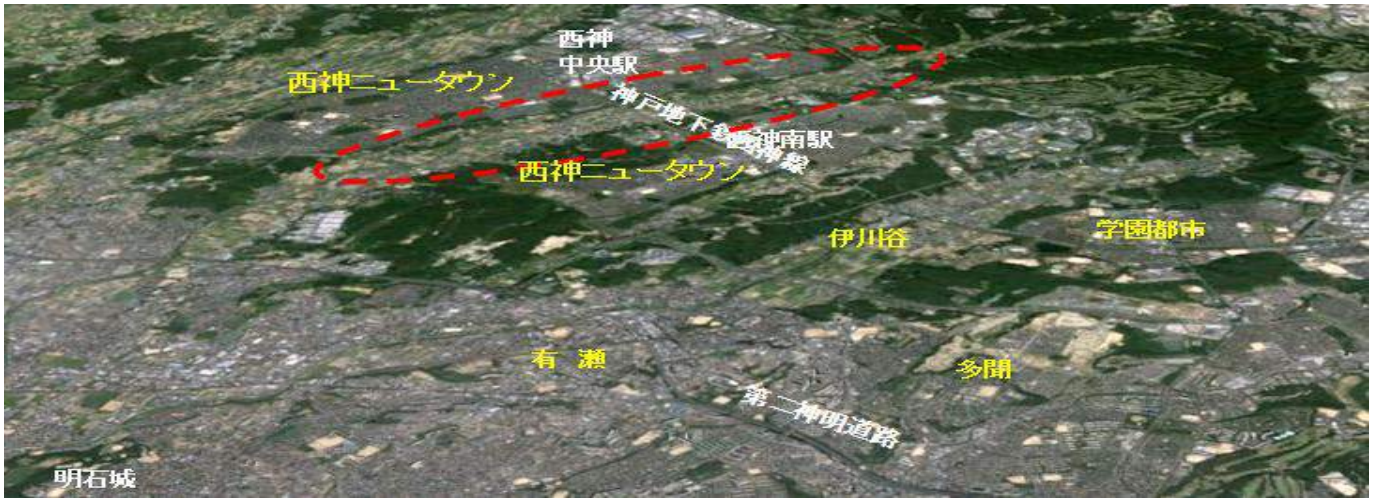
櫨谷　谷口川沿い　　静かな森に包まれた古刹　　如意寺　　2015.11.20.

紅葉した櫨谷　如意寺境内と三重塔　　2015.11.20.

紅葉した櫨谷　如意寺境内　　2015.11.20.



阿弥陀堂　　格子から差し込む光の中に　坐す阿弥陀如来像　　2015.11.20.



この秋　ふと入った西神戸「櫨谷」
観光地に求めなくても　　いにしえの古刹・自然など　楽しい景色や人の暮らし等々　心地よい空間が広がっている。
また、広がる田園には　フレッシュな農産物　地産地消の宝庫。　そして　シャレタ　都会感覚の店も
疲弊しきった田舎とはまた違ったニュー感覚の田舎がありました。

両側を西神ニュータウンが広がる丘陵に挟まれで南北に広がる狭い谷「櫨谷」。近郊野菜や果樹園の農場などでんえんちたいがひろがる西神戸の田園地帯で、古くから摂津・播磨国境を越えてゆく街道筋として開けた地でもある。

両側に広がるニュータウンを結ぶ地下鉄や幹線道路がこの「櫨谷」の中央を東西にわたり、また南には明石や西神戸の市街地が広がっている。　西神戸には都市開発されたニュータウンの間に取り残されたかのように小さな谷筋に田舎の景色を残す田園地帯がいくつも残っている。

そんな谷筋の一つ「櫨谷」でも　ニュータウンに住む人たちと昔ながらの集落の人達との間に数々の交流が生まれ、住民それぞれの新しい相互依存の形態が生まれている。

地産地消に農産品の直売場が取り結ぶ田舎の価値の再発見と都市住民のふるさとづくり。
そして若者たちのニュービジネスの場としての田舎の提供等々。

常にビッグ化・大量消費に飲み込まれてしまう都市とは違う価値感が田舎にはある。
疲弊してゆく地方を復活させるには　「右向け右」の号令型中央指導の「地方創生」ではどうにもならぬのは誰も承知。
でも　出口の見えぬ今　たまには　ゆっくり田舎を車ではなく自分の足で歩いてみるのも　新感覚・新しい知恵のもとと。

神戸の田舎　西神戸を眺めるといたるところで　都市と田舎集落の交流が生まれ、田舎も大きく変貌し始めている。
まだまだ　都市や大企業それに農協にも　飲み込まれてしまう危うさはあるが、
新しい田舎の価値が　疲弊した地方や中央一極集中を打ち砕いてくれるかもしれない。
田舎も今大きく変わる。　その原動力はやっぱり　若者の力。
若者が力をつけないと日本の未来はないなぁ…・と。

風来坊 Country　Walk　総　覧

1.　里歩き・山歩き・街歩き

http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/ironroad.htm

風来坊 Country　Walk　【Ⅰ】里歩き　1999.9.-2002.12.

1.北のまほろば　津軽	1999.9.	kaze01.pdf
2.越中　花街道　奥美濃-五箇山-砺波平野	1999.5.	kaze02.pdf
3.中国錦 州　「化石から　山口県美祢を思う」	2000.11.	kaze03.pdf
4.一足先 に春を告げる南房総	2001.4.	kaze04.pdf
5.新緑の 九州　霧島　韓国岳	2001.5.	kaze05.pdf
6.山口県 長門市　湯本温泉の記事	2001.5.	kaze06.pdf
7.花の四 月　関東で　Country Walk	2001.5.	kaze07.pdf
8.福井県 一乗谷　朝倉氏遺跡	2001.11.	kaze08.pdf
9.2002　京都の春　京大界隈・大文字山	2002.3.	kaze09.pdf
10.源平の 青葉の笛　須磨寺門前に「卯の花」を訪ねる	2002.3.	kaze10.pdf
11.福島県 三春　天然記念物「滝桜」	2002.4.	kaze11.pdf
12.福島県　裏磐梯　残雪の五色沼　アルバム	2002.4.	kaze12.pdf
13.一度行 きたかった草津温泉　風来坊	2002.4.	kaze13.pdf
14.田中講 平先生の新しい陶房葉月を訪ねて	2002.5.	kaze14.pdf
15.春　草 色に輝く秋吉台　カルスト台地 Walk	2002.5.	kaze15.pdf
16.2002 夏　「ねぷた」と「ねぶた」　青森 Walk	2002.8.	kaze16.pdf
17.青森三内丸山遺跡　2002 秋　点描	2002.9.	kaze17.pdf
18.上毛三山　紅葉の妙義山の森を歩く	2002.11.	kaze18.pdf
19.奥会津の名勝　塔のへつり	2002.11.	kaze19.pdf
20.奥会津　館岩村　奥会津曲家集落を訪ねる	2002.11.	kaze20.pdf
21.白雪をいただく富士山　足柄山山塊　金時山	2002.12.	kaze21.pdf

風来坊　Country Walk　【I】　山歩き　1999-2003.2

1.上越国境　利根川の源頭　谷川岳	1999.8.	mnyama01.pdf
2.尾瀬の秋　紅葉の尾瀬ヶ原　上越側　鳩町峠から会津側御池小屋へ	1999.10.	mnyama02.pdf
3.夏の尾瀬　尾瀬沼・尾瀬ヶ原	2000.7.	mnyama03.pdf
4.高山植物の宝庫　早池峰山	2000.6.	mnyama04.pdf
5.津軽富士　岩木山	1999.9.	mnyama05.pdf
6.春の霧島連峰　韓国岳　登山	2001.5.	mnyama06.pdf
7.初夏　水芭蕉の尾瀬　探勝	2001.6.	mnyama07.pdf
8.夏の那須連峰　茶臼岳-朝日岳-三本槍岳　縦走	2001.7.	mnyama08.pdf
9.晩夏　吾妻連峰の主峰　一切経岳へ	2001.8.	mnyama09.pdf
10.北上盆地の背にそびえる栗駒山	2001.9.	mnyama10.pdf
11.くろがね　鉄山　紅葉の安達太良山	2001.10.	mnyama11.pdf
12.以北の最高峰　日光白根山〔奥白根山〕	2001.10.	mnyama12.pdf

13.冬の陣馬山　ハイク　陣馬山-小仏峠　2002.2.　mnyama13.pdf
14.福島県　裏磐梯　残雪の五色沼　アルバム　2002.4.　mnyama14.pdf
15.残雪の草津白根と殺生河原からの展望　2002.4.　mnyama15.pdf
16.出羽　花の月山WALK　高山植物が咲き乱れる山上の縦走路　2002.7.　mnyama16.pdf
17.八甲田連峰 WALK　八甲田連峰縦走と草紅葉の毛無岱　2002.9.　mnyama17.pdf
18.上毛三山　紅葉の妙義山の森を歩く　2002.11.　mnyama18.pdf
19.白雪をいただく富士山　足柄　金時山ハイク　2002.12.　mnyama19.pdf

風来坊　Country Walk 【2】　山歩き・里歩き　2003

1.温かい冬の週末　柏ひだまりWalk　2003.1.　mnwalk01.pdf
2.東京・千葉界隈　桜散策Walk　千鳥ヶ淵・谷中から上野・千葉佐倉　2003.4.　mnwalk02.pdf
3.鎌掛(かいがけ)石楠花谷Walk　天然記念物ホンシャクナゲの群落　滋賀県日野町　2003.4.　mnwalk03.pdf
4.五月の連休　山口【1】秋吉台カルスト　2003.5.　mnwalk04.pdf
5.五月の連休　山口【2】由宇温泉へ白壁の街「柳井」・本四のモデル大島 大橋を通って　2003.5.　mnwalk05.pdf
6.福島県　土湯峠湿原　「赤湯」温泉を訪ねて　2003.5.　mnwalk06.pdf
7.バオバブの木の下で　国立民族学博物館　特別展「西アフリカ　おはなし村」open　2003.7.　mnwalk07.pdf
8.「マリ国立民族舞踊団による音楽とおどり」　バオバブの木の下でみんな踊って　2003.8.　mnwalk08.pdf
9.鉄 のモニュメント　大阪万博　お祭り広場　大屋根　万博記念公園　点描　2003.8.　mnwalk09.pdf
10.「久しぶりのアメリカ」で　風来坊　2003.9.　mnwalk10.pdf
11.萩焼　田中講平先生の萩焼工房「陶房葉月」を山口市吉敷に訪ねて　2003.10.　mnwalk11.pdf
12.鉄のモニュメント　北海道開拓百年記念塔　2003.10.　mnwalk12.pdf

風来坊　Country Walk 【3】山歩き・里歩き　2004.

■　Country Walk Ⅲ　里歩き　2004

1.信州茅野　八ヶ岳山麓に縄文のビーナスを訪ねて　2003.12.　2walk01.pdf
2.網走　流氷探訪　アルバム　2004.3.　2walk02.pdf
3.春風にそよぐ　「かたくりの花」　兵庫県三日月町弦谷　自生地で　2004.3.　2walk03.pdf
4.エンジョイ　イタリア　2004.5.　2walk04.pdf
　古い都・街並みを訪ねて
　エンジョイイタリア　イタリア旅行記(詳細版)
5.信州　戸隠山の自然の中で　森林浴　2004.6.　2walk05.pdf
6.花の北海道　【1】礼文・富良野　美瑛・天塩　アルバム　2004.8.　2walk06.pdf
7.花の北海道　【2】2004夏　花の北海道　Walk〔礼文島・美瑛の丘・天塩／宗谷〕　2004.8.　2walk07.pdf
8.2004　秋点描　関西で　2004.10.2walk08.pdf
9.九州　縄文・古代を訪ねる旅　2004.10.2walk09.pdf
　a.　熊 本 県　菊池川流域の装飾古墳群
　b.　鹿児島県　上野原縄文遺跡
　c.　宮 崎 県　記紀神話の西都原古墳群
10.六甲の東端　こどもの頃から慣れ親しんだ甲山Walk　2004.12.　2walk10.pdf
11.神戸便り　Country Walk　11&12月　2004.12.　2walk11.pdf

■　Country Walk Ⅲ　山歩き　2004

1.北摂の山　武田尾　大峰山へ　桜とツツジを訪ねて　2004.4.　2walky01.pdf
2.吉野山　初秋　ハイキング　2004.10.　2walky02.pdf

風来坊　Country Walk 【4】山歩き・里歩き　2005.

■　Country Walk Ⅳ　里歩き　2005

1.北近江　安曇 川・マキノ 雪の山郷　country Walk　2005.1.　4walk01.pdf
2.須磨便り「早春の須磨　梅見ハイク」　2005.2.　4walk02.pdf
3.北摂のポンポン山　福寿草ハイク　2005.3.　4walk03.pdf
4.桜アルバム「室生古道に満開の桜の古木を訪ねて」　2005.4.　4walk04.pdf
5.早春と冬が入り混じる「北の大地」を風来坊　2005.4.　4walk05.pdf
　釧路湿原と鶴・駒ケ岳山麓・北の縄文・釧網線
6.糸魚川・青海に縄文のヒスイ原石の谷を訪ねる　2005.5.　4walk06.pdf
7.広島県吉和　緑の高原のウツドワン美術館　2005.6.　4walk07.pdf
8.但馬　天日槍の国の歴史とコウノトリを訪ねて　2005.6.　4walk08.pdf
9.越中八尾「風の盆」を訪ねて　写真アルバム　2005.9.　4walk09.pdf
10.四国北岸を東西に貫く大断層「中央構造線」Walk　2005.11.　4walk10.pdf
　大断層帯にそびえる赤石山系と銅山の山郷　別子山村
11.晩秋から初冬に移り行く函館散策　写真アルバム　2005.11.　4walk11.pdf
　夜景と美しい教会群　函館の街　Walk
12.写真アルバム　瀬戸内海誕生の歴史を語る黄島　2005.11.　4walk12.pdf
　岡山県牛窓海岸　黄島・黒島

■　Country Walk Ⅳ　山歩き　2005

1.山岳宗教の歴史を秘めた九州の霊峰「英彦山」　2005.6.　4walky01.pdf
2.写真アルバム　若狭・北近江国境の赤坂山・三国山 Walk　2005.8.　4walky01.pdf
3.写真アルバム　薩摩富士　開聞岳　2005.10.　4walky01.pdf

風来坊　Country Walk 【5】山歩き・里歩き　2006.

■　Country Walk　里歩き　2006.

1.2006 年　春　花の淡路島を訪ねて　2006.4.　5walk01.pdf
　春の花　菜の花・チューリップ・三色スミレ
2.「ひとつたりとも　おろそかにできない命」　不戦の道を探って　2006.8.　5walk02.pdf
　広島平 和の祈り・平和行進 2006 に参加
3.2006 年夏 瀬戸内海遠望　山や海峡から瀬戸内海はどこまでみとおせるのか・・・　2006.8.　5walk03.pdf
4.写真アルバム　水田耕作・鉄・倭国　弥生の時代を作った渡来人たち　2006.10　5walk04.pdf
　北部九州　魏志倭人伝の世界　壱岐・ 筑前・筑後の遺跡を訪ねて
5.甲州・信州国境　八ケ岳山麓に縄文遺跡を訪ねて　2006.10.　5walk05.pdf
　「 縄文人は山を見晴らす素晴らしい高原に住んでいた　」
　1.縄文の集落がそっくり 見つかった茅ケ岳山麓 北杜市梅ノ木縄文集落遺跡
　2.初秋　白樺が美しい紅葉し始めた 八ケ岳清里の朝 清泉寮に泊まって
　3.縄文の黒曜石原産地遺跡　長和市星屑峠に縄文の黒曜石鉱山を訪ねる
　黒曜石」を日本各地に配っていた信州　霧ケ峰・中山峠

■　風来坊 Country Walk　山歩き 2006

1.蝦夷の雄「アテルイ」の足跡京都東山　陽だまりハイク　2006.2.9.　5walky01.pdf
　「清水寺・将軍塚」と　永観堂「みかえり阿弥陀仏」を訪ねて
2.北摂連山の「キリシタンの里　千提寺」Country Walk と「マリア十五原義図」展　2006.2.　5walky02.pdf
3.芦屋市弥生の高地性集落「会下山遺跡」からロックガーデンへ　ハイキング　2006.7.　5walky03.pdf

風来坊　Country Walk 【6】山歩き・里歩き　2007.

■ Country Walk　里歩き　2007.

1. 神戸の春　2007　写真アルバム 須磨山上満開の梅と明石林崎漁港のいかなご漁　2007.3.1. 6walk01.pdf
2. 写真アルバム　2007 年春　櫻の便り　2007.4.15. 6walk02.pdf
   - 山梨県北杜市 の樹齢 2000 年　神代桜と清里から見る春の南アルプス・八ヶ岳
   - 山口県美祢　市街を流れる厚狭川の桜　美祢の Y さんからメールで送ってもらいました
   - 木津川上流　笠置の桜と沈下橋
3. 写真アルバム　「2007 年 5 月　新緑の野山で」　2007.6.1. 6walk03.pdf
   - 滋賀県日野町鎌掛　石楠花谷
   - 新緑の里山　大和川　亀の瀬・龍田山
   - 大阪府二上山周辺で
   - 神戸　北野の市街地　旧水源地のツツジ
   - 葛城山の南斜面　深紅の花を敷きつめる山ツツジ
   - 新潟県　弥彦山から見る越後平野
4. 鳴門　大塚美術館に西洋美術 2000 年の陶板画を訪ねる　2007.7.16. 6walk04.pdf
   バチカン　システィーナ礼拝堂の天井画　完全復元　祝別式に参加
5. 信州の縄文を訪ねる旅　2007.9.5.& 9.6. 6walk05.pdf
   1. 不思議な人体文縄文土器が出土した伊那谷の北部　南箕輪村　久保上ノ平遺跡
   2. 縄文中期研究の先駆けとなった縄文集落　平出縄文集落遺跡
   3. 信州　長和町　黒曜石原産地遺跡　縄文の黒曜石鉱山「星糞峠」
6. 鉄のモニュメント　2007.9.10. 6walk06.pdf
   長良川にかかる現存最古の近代吊橋 「美濃橋 」(重要文化財)　岐阜県美濃市
7. 2007 年　秋　点描　１０月　１１月.　6walk07.pdf
   - 初秋の西播磨の山郷　一面ススキが覆いつくす　砥峰高原　2007.10.4.
   - 奥出雲雲南市掛合町へ　松江道の工事現場から 次々と製鉄遺跡が出土　2007.10.13.
   - 久しぶりに夜の船で四国　松山へ　2007.10.26.-28.
   - 山口県美祢市の夜明けの朝霧　2007.11.9.
   - 神戸でも　今　紅葉の真っ最中　2007.11.26.

■ 風来坊 Country Walk　山歩き 2007

1. 日本三 彦山の一つ　越後　弥彦山　Walk　6walky01.pdf
   古代鉄の国「越」　弥彦山に鍛治神の痕跡を探して　2007.5.16.
2. 紀 ノ川のランドマーク　紀州富士「龍門山」に磁石石を訪ねて　Walk　007.7.24. 6walky02.pdf

風来坊　Country Walk 【Ⅶ】山歩き・里歩き　2008.

■ Country Walk　里歩き　2008.

1. 南ドイツ　クリスマス　ツア　見て歩き　2008.12.4. -12.10. 7walk01.pdf
   ドイツ　中世の町並みと２００７年クリスマス市を楽しみました　(pdf file)
2. 神戸陽だまりハイク【写真アルバム】神戸のランドマーク「錨山」・「市章山」に登る　2008.2.14. 7walk02.pdf
3. 【写真アルバム】　春まじか　早春の南淡路　立川水仙郷と梅満開の由良・生石岬　2008.2.15. 7walk03.pdf
4. 東大寺のお水取り 「おたいまつ」　2008 年 3 月 8 日夕　2008.3.8. 7walk04.pdf
   立ち寄りたかった故河島英吾さんゆかりの喫茶「TEN.TEN　CAFE」にも立ち寄れました
5. 越前と美濃を結ぶ街道　越美北線／越美南線　越美北線の終点　九頭竜湖駅へ行く　2008.3.25. 7walk05.pdf
   九頭竜川に沿って福井県の名峰日本百名山　越前大野盆地の南にそびえる荒島岳

6.　2008　春　桜　アルバム　2008.4.5.-4.13.　7walk06.pdf

1.神戸の桜　東須磨　妙法寺川堤の桜　2008.4 .5.

2.奈良県大宇陀「又兵衛桜」と室生寺・長谷寺の桜　Walk　2008.4. 8.

3.岡山県真庭市「醍醐桜」　和鉄の道に咲いて 1000 年　2008.4.13.

4.北播磨　三日月町　佐用川沿いの桜　2008.4.13.

5.山口県美祢 N.Y.さんからの桜便り　2008.4.7.

美祢桜山の桜に遊ぶ　めじろ　と　岩国錦帯橋の桜

6.山梨県甲府の N さんからの桜便り　素晴らしいと桜並木の富士山　2008.4.13.

7.　新緑の里山をぬけて　日本 6 古窯の一つ　陶芸の郷　立杭へ　2008.4.16.　7walk07.pdf

【写真アルバム】2008 新緑の里山をぬけて　陶芸の郷　立杭へ

8.　Country Walk　巨大草食恐竜「丹波竜」を訪ねる　丹波市山南町上滝　2008.5.15.　7walk08.pdf

9.　初夏の花　満開のスイスアルプス　ハイキング　アルバム　2008.6.29. - 7.8.　7walk09.pdf

1.　雪が消えて　アルプスの山々には　初夏の花が満開

2.　「エーデルワイスの花ほほ笑みて　　鋭き岩肌　金色に照り

3.　スイス　アルプスは　『鉄のモニュメント』　『鉄の郷』

10.　夏の朝の清涼をたっぷり　「京朝顔」　京都府立植物園の「朝顔展」　2008.8.4.　7walk10.pdf

11.　【写真アルバム】秋の風物詩　黄金色の畦を飾る　赤・黄・白三色の彼岸花　2008.9.22.　7walk11.pdf

彼岸花の郷　播磨　多可町　間子集落　(PDF File)

12.　「今　GPS Logger が面白い 」　GPS　Loger を腰に須磨 Walk　2008.10.10.　7walk12.pdf

13.　【写真アルバム】愛宕山　(924m)　紅葉　Walk　2008.11.15.　7walk13.pdf

京都市最高峰　火伏せの神　愛宕神社が鎮座する霊山

番外　青森・八戸　縄文の郷　「是川」　縄文文化を代表する是川遺跡・風張遺跡を訪ねる　2008.10.30.　8iron13.pdf

● 縄文漆の素晴らしい文化を咲かせた縄文晩期の是川中居遺跡

● 墓域のある広場を環状に取り囲む住居群　縄文後期の環状集集落　風張遺跡

風来坊　Country Walk 【8】　山歩き・里歩き　2009.

■　Country Walk　里歩き　2009.

1.　２月陽だまりハイク　　工都 尼崎 を支える「尼崎港閘門（尼ロック)」Walk　2009.2.4.　9walk01.pdf

1.　工都尼崎 を支える「尼崎港閘門（尼ロック)」Walk

2.　尼崎港閘門・尼ロック　解説　（インターネットより）

2.　謎の古代石造物・石の宝殿 と竜山石を訪ねて　2009.2.27.　9walk02.pdf

古代からの石切りの郷 高砂市「生石（おおしこ)」Walk

3.　【写真アルバム】　東近江　陽だまり walk　2009.3.15.　9walk03.pdf

縄文のウッドサークル　能登川正楽寺遺跡と近江八幡　左義長祭りを訪ねる

4.　【写真アルバム】　西播磨佐用　たたらの里に咲く「カタクリと一本桜」を訪ねる　2009.3.31.　9walk04.pdf

兵庫県佐用町〔旧三日月町　弦谷　& 旧南光町徳久・漆畑 〕

5.　【写真アルバム】　ほのぼの鉄道　福井　えちぜん鉄道と雪を戴く白山連峰　2009.4.3.　9walk05.pdf

参考　弥生後期から古墳時代にかけて　福井平野は鉄の先進地

6.　【写真アルバム】　樹齢 1500 余年　岐阜県揖斐川　根尾谷に咲く「淡墨桜」　2009.4.8　9walk06.pdf

7.　【写真アルバム】　関西のツツジの名所　三室戸寺を訪ねる　2009.5.5　9walk07.pdf

8.　【写真アルバム】　摂津／播磨国境の証し?　白川峠夫婦岩 裏山の白川峠に磐座を訪ねる 2009.5.20. 9walk08.pdf

古代　西国からの出入口　須磨　摂津・播磨の国境は山越か?　その証しかも　??

9.　【スライド】　六甲高山植物園　「初夏 6 月　高山植物　花 Walk　」　2009.6.8　9walk09.pdf

10.　【写真アルバム】　「ひまわりの夏 2009 」　2009.7.31.　9walk10.pdf

たたらの里　西播磨佐用町西下野に咲くひまわり

11. 【写真アルバム】 江戸時代にタイムスリップした宗教都市の町並み「寺内町　富田林」2009.8.15.　9walk11.pdf

12. 【スライド】 伏条台杉〔芦生杉〕の群生地　京北町　片波川源流　2009.9.14　9walk12.pdf

京都北山　桂川・由良川の源流地帯に屋久杉クラスの巨木の群生地がある

13. 初秋の青森・秋田風来坊　【1】　2009.9.4-7　9walk13.pdf

青森 初秋の風物詩　岩木高原「嶽キミ」Walk と三内丸山遺跡「縄文のお月見」

1. 青森初秋の風物詩岩木高原「嶽キミ」Walk　2009.9.4.&9.5.朝
2. 三内丸山縄文遺跡「縄文のお月見」　2009.9.5.

14. 初秋の青森・秋田風来坊　【2】　2009.9.6-7　9walk14.pdf

秋田県中央　マタギの里「森吉山」Walk と 縄文の環状列石　鷹巣・伊勢堂岱遺跡再訪

1. マタギの里 阿仁　リンドウの花満開の森吉山ハイク　2009.9.6
2. 鷹巣　縄文の環状列石群　伊勢堂岱遺跡　再訪　2009.9.7

15. 【写真アルバム】 2009 年秋点描　コスモスから紅葉へ　2009.10.　9walk15.pdf

16. 【スライド】 2009 年秋　京都　紅葉ライトアップ　紅葉 Walk　2009.11.15.　9walk16.pdf

風来坊 Country Walk【9】　里歩き・山歩き　2010

1. 西播磨　歴史の町に春を訪ねる　西播磨綾部山梅林と江戸の町並みが残る坂越港　10walk01.pdf

- 菜の花と梅満開の綾部山観梅 walk
- 綾部山 39 号墳を訪ねる　「大和・阿波・讃岐・播磨」の連合を示す播磨の重要な古墳
- 古代秦氏の播磨進出地　港町「坂越」walk
  赤穂市坂越西播磨名産「牡蠣」& 古い港の町並みが残る坂越
- 西播磨　歴史の町に春を訪ねる　まとめ

2. 【写真アルバム】京都御所と植物園に満開の桜を訪ねる　10walk02.pdf

- 京都御所の桜
- 植物園の桜
- 久しぶりに見た重文近代建築　京都府庁&レンガのアグネス教会

3. 【写真アルバム】　春の妖精　カタクリの花　兵庫県播磨　佐用町　2010.4.8.　10walk03.pdf

4. 【写真アルバム】　草木萌ゆ　春の里山風景　神戸北　丹生山系を越える国道 428 号　2010.4.19.　10walk04.pdf

5. 春　石楠花と新緑の綿向山山麓　滋賀県東近江　日野町　walk　2010.5.2.　10walk05.pdf

1 .天然記念物　鎌掛谷のホンシャクナゲ　満開の群生地を訪ねる
2 .鎌掛峠を越えて綿向山へ　綿向山山麓　Walk
3. 馬見岡綿向神社　日野祭（宵山）

参考　【Country Walk】鎌掛　石楠花谷 Walk　滋賀県日野町　2003.4.

6. 【スライド】　2010　京都　葵祭　2010.5.15.　10walk06.pdf

1. 葵祭の名の由来となった植物「ふたば葵」
2. 葵　祭　walk　御所から下鴨神社へ向かう本列（男列）と斎王代に従う斎王代列（女列）

7. 【スライド】　春から初夏へ　花 Walk 六甲高山植物園　2010.6.1.　10walk07.pdf

幻のヒマラヤの青いケシ・高山植物の女王「コマクサ」

8. 平城遷都 1300 年祭で賑わう奈良 Walk　大遣唐使展・若草山・平城宮大極殿　2010.6.11.　10walk08.pdf

1. 平安遷都 1300 年記念大遣唐使展
2. 大和平野の素晴らしい展望台　若草山　walk
3. 平城遷都 1300 年祭　平城宮跡　復元朱雀門と大極殿

9. 【写真アルバム】　ひまわりの夏　西播磨佐用　旧南光町林崎・漆野のひまわり畑で　2010.7.20.　10walk09.pdf

10. 京都堀川　京の七夕　2010.8.3.　10walk10.pdf

11. 【写真アルバム】　涼を求めて　布引の滝・ハーブ園から摩耶山掬星台へ　2010.8.6.　10walk11.pdf

12. 【写真アルバム】　花で追う 2010 年の秋　小さい秋　みつけた　10walk12.pdf

1. 山田錦の郷　三木市吉川　灘の酒蔵の旗がはためく実りの秋　2010.9.6.
2. 新しい兵庫の蕎麦の郷　加古川市志方町野尻・小野市小野町　2010.10.1.
3. 稲穂が揺れる田圃の畔に彼岸花　加古川市志方町で　2010.10.1.
4. コスモスの里　加古川市志方町広尾西・東中コスモス畑　2010.10.13.
5. 一足早い渓谷の紅葉　信州蓼科中央高原「横谷渓谷」　2010.10.17.

13.【写真アルバム】　縄文を代表する国宝「火焔土器」 新潟県十日町市　笹山遺跡を訪ねる　2010.11.17.　10walk13.pdf

風来坊 Country Walk【10】　里歩き・山歩き　2011

1. 早春の須磨アルプス　馬の背を久しぶりに歩きました　2011.2.23.　11walk01.pdf

横尾から馬の背への谷筋　旧道直登ルートを見つけました

2. 2011.春　西神戸で春を探す　春を告げるカタクリ・雪割草・寒葵・土筆　2011.3.28.　11walk02.pdf

みんながみんな「東北頑張れ」「日本頑張れ」と

3. 春の訪れを告げるカタクリの花古代鉄関連地の山蔭に咲く花を今年も訪ねました　11walk03.pdf

1. 西播磨　佐用町　弦谷のカタクリ　2011.4.5.
2. 西神戸　神出　雌岡山のカタクリ　2011.4.11.

4　春の六甲高山植物園新緑の森をめぐりながら花の説明に耳を傾ける　2011.4.29.　11walk04.pdf

5. 春から初夏へ　里山の花を訪ねる　Walk　2011.5.8. － 5.26.　11walk05.pdf

1. 六甲森林植物園　石楠花　新緑の六甲森林植物園の石楠花谷　2011.5.8.
2. 丹波・兵庫氷上盆地　田植えが始まった郷・レンゲ畑・九尺の藤　. 2011.5.14.
3. 梅雨の晴れ間　山口県美祢カルスト台地　2011.5.24.-5.26.

美祢の山郷・水が張られた棚田・麦秋・バラの花

6　ひまわりの夏 2011　西播磨佐用　南光町林崎のひまわり　2011.7.23.　11walk06.pdf

7　京都に夏を告げる祇園祭 2011　2011.7.16. & 7.17　11walk07.pdf

1. 祇園祭宵山　提灯に灯がともり祇園囃子が響く鉾町 walk
2. 山鉾巡行　巡行のハイライト　鉾の辻回し

8　神戸の夏を歩く 2011　これからが夏本番　11walk08.pdf

1. 六甲高山植物園　夏の高山植物　2011.6.15.　2. 布引の滝　2011.7.6.
3. 高校野球　地区大会を観戦 2011.7.12.& 7.15.　4. 梅雨が明けた入道雲　須磨で　2011.7.14.

9　2011 年夏　佐川美術館「セガンティーニ」展と湖面に広がる蓮の花　2011.8.11　11walk09.pdf

琵琶湖　守山佐川美術館 & 草津水生植物公園　蓮の群生地

1. アルプスの画家　セガンティーニ展　佐川美術館

― 光と山 ― GiovanniSegantini―Light and Mountains―

2. 佐川美術館　彫刻の佐藤忠良館　陶芸の楽吉左衛門館　日本画平山郁夫館
3. 湖面に広がる満開の蓮の花（草津水生植物公園　蓮群生地 ）

参考 2008 年の夏　スイスの旅より

セガンティーニが住んだサンモリッツ周辺 & ツェルマット周辺の山郷の風景

10　真っ青な空にもくもくと入道雲　神戸の夏 2011　2011.8.8. 11walk10.pdf

西神戸　鵯越の奥にそびえる菊水山からの大阪湾の眺望

11. 播磨多可町に秋を訪ねる　彼岸花の里&播磨の最高峰千ヶ峰登山　2011.9.27. 11walk11.pdf

1. 彼岸花の里　多可町　2. 三谷登山口より千ヶ峰に登る

12. 東播磨　加古川西岸の丘陵地　加古川市志方に秋を訪ねる【2】

播磨の小さい秋　コスモスの郷　加古川市志方町で　2011.10.17. 11walk12.pdf

13. 2011 年秋　紅葉 walk　紅葉の名所　京都西山　長岡京市　粟生の光明寺

風来坊 Country Walk【11】　里歩き・山歩き　2012

1. 久しぶり　仲間が誘ってくれた　神戸　ジャズ　ライブ　2012.2.5.　12walk01.pdf
2. 知っているようで知らなかった京都東山界隈のお寺　walk　2012.2.21. & 2.22.　12walk02.pdf
   東寺の「弘法さん」・知恩院さん・祇園建仁寺の「竜」・清水寺
3. 2012 年　春の便り　From Kobe　&　各地の仲間からの春便り　2012.3.25.　12walk03.pdf
   1. 神戸の春便り
      1.神戸の春　満開の梅・海・菜の花の丘　2.神戸の自宅周辺も春の景色がどんどん変化しています
   2. 各地の仲間からいただいた春便り
      1.西宮　H.S.さんからの便り　2.秦野　T.S.さんからの便り　3.横浜　M.K さんから三渓園の梅便り
      4.神戸　H.O さんより　5.マーレシアベナン　T.S さんからの便り
4. 神戸桜　Walk 2012　「奥平野の舞桜」　神戸にも素晴らしい一本桜がありました　2012.4.10　12walk04.pdf
   神戸の基礎を築いた平清盛の都「福原京」を見下ろす一本桜「奥平野浄水場の舞桜」
5. 神戸の春を楽しむ　原チャリ Walk　神戸丹生山　箕谷/淡河線　&　雌岡山　2012.4.2　12walk05.pdf
   1.新緑の中ミツバツツジが美しい神戸丹生山越　箕谷/淡河線　2.カタクリの咲く雌岡山にギフチョウが舞う
6. 京都　桜　Walk 2012　醍醐・宇治平等院・高野川堤・植物園夜　2012.4.12　12walk06.pdf
7. 京都　洛北　春 Walk　上賀茂　深泥池　から　岩倉　円通寺へ　2012.4.13.　12walk07.pdf
   静寂な円通寺の庭園へ行きたくなって　深泥池から円通寺へ歩きました
8. 六甲　石楠花谷(森林植物園)の日本シャクナゲ　2012.5.8.　12walk08.pdf
9. 知っているようで知らなかった京都　伏見の街を歩く　2012.5.15.　12walk09.pdf
10. 久し振りに九州へ　素晴らしいバラの街「ハウステンボス」を訪ねました　2012.5.27.　12walk10.pdf
    バラの街　ハウステンボス・西の要の軍港　佐世保・陶磁器の町　有田
11. 千種川流域に咲くひまわり畑と製鉄神「天目一筒神」を祭る「天一神社」を訪ねる　2012.7.18.　12walk11.pdf
    ひまわりの夏 2012　古代たたらの郷　佐用　西播磨佐用町（旧南光町）林崎
    1. 「ひまわりの夏 2012」　千種川沿いの河岸段丘一面を黄色に　佐用町林崎のひまわり畑
    2. ひまわり畑のすぐ近く東徳久間村の里山　製鉄神「天目一筒神」を祭る「天一神社」を訪ねる
12. 須磨　塩屋海岸の洋館　Walk　-　梅雨の晴れ間　高倉山-旗振山から塩屋へ下る　－2012.7.9.　12walk12.pdf
13. 丹波焼の郷「立杭」山野草愛好家では有名な「伝市窯」Walk　2012.7.10.　12walk13.pdf
14. 祇園祭 2012　宵山　&　巡行の朝　鉾町を歩く　2012.5.27.　12walk14.pdf
    1.2012 祇園祭　宵山鉾町 walk　2.2012 祇園祭　巡行の朝　鉾町を歩く
15. 『尼の喧嘩祭』として有名な尼崎貴布禰神社夏祭り〔宵宮〕だんじりと暴れ太鼓の宮入　2012.8.1. 12walk15.pdf
16. わが家の 2012 年夏　朝顔帳　12walk16.pdf
17. 涼を求めて　布引谷へ　滝道を歩く　2012.8.15.　12walk17.pdf
18. 豊かな稔りを迎えた　初秋の西神戸田園 Walk　2012.9.7.　12walk18.pdf
    残暑と初秋の爽やかな風が交錯する 9 月上旬　美しい空に惹かれ、　秋を見つけに西神戸の田園 Walk
19. 「彼岸花の里　播磨多可町」今年も千ヶ峰・妙見山の麓に彼岸花を訪ねました　2012.9.27.　12walk19.pdf
    1.小野市天神　国道 175 号線脇の田園の畦を飾る彼岸花　2.多可町中区間子　妙見山の麓　彼岸花の里
    3.多可町加美　岩座神集落　千ヶ峰の山懐　棚田を飾る彼岸花　4.多可町加美　杉原川沿い田園の彼岸花
20. 京都北山ドライブ　花脊峠・佐々里峠を越えて　由良川源流へ　2012.9.17.　12walk20.pdf
    北山の森・大悲山　峰定寺・美山「かやぶきの里」を訪ねる
21. 播磨のコスモスの里　加古川市志方　2012.10.12.　12walk21.pdf
22. 旧別子銅山跡の産業遺産が眠る別子山　2012.10.27.　12walk22.pdf
    紅葉に彩られた念願の「別子山銅の道・銅山越」Walk
23. 私の阿蘇谷「阿蘇黄土」を訪ねる　古代の製鉄原料???　2012.11.1.& 11.2.　12walk23.pdf
    阿蘇谷にベンガラの原料・「阿蘇黄土」を訪ねました　また、日本一美しいダム　豊後竹田白水ダムへも
    ベンガラ原料の「阿蘇黄土・渇鉄鉱」これが日本での製鉄の開始と関係していないか???

風来坊 Country Walk【12】　里歩き・山歩き・街歩き　2013

1. 【写真アルバム】琵琶湖 野洲川河口　守山市なぎさ公園の菜の花畑に一足早い春を訪ねる　13walk01.pdf
   なぎさ公園から眺める早春の琵琶湖・近江富士（三上山）・御上神社
   2012.11.21.& 2013.2.11.　滋賀県守山市 & 野洲市
2. 屋久島縄文杉ハイクのためのトレーニングハイク　13walk02.pdf
   -早春の比叡山きらら坂・六甲周辺を歩く-
   1. 京都雲母坂を比叡四明ヶ岳へ 2013.2.23.　2. 布引谷から天狗道を摩耶山へ 2013.3.2.
   3. 菊水山から鍋蓋山　天王谷大吊橋　2013.3.5.　4. 雌岡山・雄岡山早春の梅林ハイク 2013.3.16.
   5. 三宮から油こぶし道を六甲山へ　2013.3.17.　6. 武田尾/宝塚　武庫川渓谷廃線歩き 2013.3.23.
3. WV 仲間との屋久島合宿 プライベート記録「私の屋久島」　2013.4.13.-4.16　13walk03.pdf
4. 屋久島縄文杉トレーニングハイク〔最終回〕
   新緑の京都銀閣寺から大文字山越して大津・三井寺へ　2013.4.26.　13walk04.pdf
5. 重要伝統的建造物群保存地区橿原市今井　寺内町「今井」町並 Walk 2013.5.25.　13walk05.pdf
6. 須磨離宮庭園のバラ　新緑の風に乗ってほのかに漂うバラの香り 2013.5.28.　13walk06.pdf
7. 初夏の尾瀬ケ原・尾瀬沼を歩く　初夏 6 月　尾瀬の草花　2013. 6.16. &6.17.　13walk07.pdf
8. ひまわりの夏 小野市ひまわりの丘公園&西播磨佐用林崎ひまわり畑 2013.7.16.& 7.19.　13walk08.pdf
   今年も一面を埋め尽す元気なひまわりの群れに出会えました
9. 2013 年夏　朝顔帳　From Kobe by Kikuko Nakanishi　2013.8.10.　13walk09.pdf
10. 旧尼崎城下「築地だんじり祭 Walk」　2013.9.16.　13walk10.pdf
    1.旧城下町築地と 尼崎とだんじり祭　outline　2.尼崎&旧尼崎城下地図
    3. PDF 版 「築地だんじり祭 WALK　だんりがぶつかり合う「山あわせ」
11. ナッシュビル Bluegrass　Music ライブ　2013.10.2.　13walk11.pdf
    大阪なんば ライブハウス「アナザードーム」にて
12. 西神戸・東播磨の田園にに深まり行く秋を訪ねる　2013.10.　13walk12.pdf
    1.加古川東岸の山裾に広がる志方のコスモス畑 . 志方町高畑・広尾・野尻のコスモス畑
    2. 実りの秋の収穫　播州の秋のすばらしい景色　加古川西岸　志方町　& 上荘町で
    3. 小野市鴨池の秋　小野市鴨池
    4. 西神戸神出の田園地帯の夕暮れ　日没　神戸市西区神出
    5. グリーンスタジアム神戸　夏の終わりをつける花火ナイト　神戸市西区総合運動公園
13. 松山・宇和島から四万十グリーンライン・高知へ　13walk13.pdf
    南四国の秋　一度やってみたかった 四国の列車を楽しむ　鉄ちゃんの旅
    1. 松山伊予鉄　美しいイルミネーション付路面電車　伊予電鉄　松山市街線
    2. 松山→宇和島　アンパンマン列車　特急 宇和海　JR 予讃線
    3. 宇和島→窪川　《シマントグリーンライン》　海洋堂ホビートレイン　JR 予土線・　土佐くろしお鉄道線
       清流　四万十川の秋景色・四万十川に架かる沈下橋・ 日本一暑い所　41℃を記録した四万十の里 江川崎
    4. 窪川→高知　特急 あしずり　JR 土讃線
    5. 高知土佐電鉄　はりまや橋　路面電車ダイヤモンドクロス　土佐電鉄高知市街線

風来坊 Country Walk【13】　里歩き・山歩き・街歩き　2014

1.　京都水族館　孫と好奇心一杯で　2014.1.4.　14walk01.pdf

「金子みすず「大漁」のシーンそのままに群れ動くイワシの大群」に感激

- 大水槽を乱舞する鰯の群れ　　金子みすず「大漁」のシーンを思い出していました
- 化石でしか知らなかった生きた化石「オウムガイ」が悠然と泳ぐ姿
- 「空飛ぶケープペンギン」「くらげ」「ゴマフアザラシ」「いるかショウ」等々

2.　冬の神戸を楽しむ　2014 年 1 月　冬晴れの神戸 walk　2014.1 月　14walk02.pdf

1. 雪が降った寒い朝サクサクと凍った雪を踏みしめて散策　久しぶりの雪を楽しむ　2014.1.19.早朝
2. 澄み切った空　冬晴れを楽しむ《1》
   街に出たくなって　布引谷を歩いた後　神戸街中にある「二宮温泉」へ
   神戸ウォーターとして有名な布引の水　その下　地下 1000m から汲み上げた天然温泉　2014.1.16.
3. 阪神淡路大震災から 19 年　神戸の記憶　2014.1.17.
4. 冬晴れを楽しむ《2》　名産「須磨海苔」の主要養殖地　須磨塩屋漁港を訪ねる　2014.1.16.
5. 冬晴れを楽しむ《3》　冬の楽しみ　ラグビー観戦　2014.1.11.&1.19.
6. 冬晴れの夕暮れ　その美しさに電車の窓からパチリ　2014.1.11.夕

3.　西播磨佐用　古代たたらの郷に春を告げる「カタクリの花」　2014.3.28.　14walk03.pdf

西播磨佐用のカタクリ群生地 旧南光町東徳久殿崎　& 旧三日月町弦谷

4.　2014 京都　好奇心いっぱいの桜 Walk　2014. 4.7. & 4.8.　14walk04.pdf

＜1.西京極＞→ ＜2.天神川桜堤＞→ ＜3.御室･嵐電沿線　桜のトンネル＞→ ＜4.平野神社＞ → ＜5.高野川桜堤＞

5.　西神戸の里山　丹生山田の郷 の 2014 春景色　2014. 4.23.　14walk05.pdf

6.「シャクナゲ　2014」　六甲森林植物園　石楠花谷探訪　2014. 5.1.　14walk06.pdf

7.　Jazz の街　神戸　2014　Jazz Street【1】
15 回　新開地ジャズ　ボーカルクイーン　コンテスト　2014. 5.10.　14walk07.pdf

8.　Jazz の街　神戸　2014　Jazz Street【2】
Country Music Live　13 回 FortworthH Jamboree　2014. 5.17.　14walk08.pdf

ライブハウス「FortworthH」 Country グループ 10 数組出演 5 時間にわたるライブコンサート

9. 尼崎市立文化財収蔵庫　平成 26 年度第一回企画展　「秀吉　尼崎の危難展」　2014. 5.16.　14walk09.pdf

10. ＜抜粋版＞震災後初めて三陸沿岸を東北三陸沿岸の Iron Road を訪ねる　2014.6.7-6.9.　14walk10.pdf

1. 世界産業遺産登録 を目指す 日本近代製鉄発祥の地 「釜石」　2014.6.7.
2. 発掘中の古代の製鉄遺跡　山田町船越「焼山遺跡」を訪ねる　2014.6.8.
3. 三陸鉄道に乗って20数年前訪れた龍泉洞そして　砂鉄浜普代浜を訪ねる　2014.6.7.&6.8.
4. 車窓より眺める久慈･八戸周辺の砂鉄浜を　2014.6.9.
5. 震災後3年 生活復興を進める三陸沿岸の街の今 Photo集

11. ＜詳細版＞震災後初めて 東北　三陸沿岸の Iron Road を訪ねる　2014.6.7-6.9 【1】　14iwalk11.pdf.

1. 世界産業遺産登録 を目指す近代製鉄発祥の洋式高炉建設地 「釜石」 橋野･大橋を訪ねる.　2014.6.7.
   - 1.1. 釜石線　別名「銀河鉄道」に乗って遠野･釜石へ
   - 1.2. 日本最古の洋式高炉跡が残る橋野高炉跡へ遠野から笛吹峠越で北上山地を越える
   - 1.3. 日本最古の洋式高炉跡が残る橋野鉄鉱山(製鉄所)見学
   - 1.4. 北上山地分水界　仙人峠を釜石線の長いトンネルとΩ ループで越えて 「陸中大橋」を経て釜石へ
   - 1.5. 釜石　鉄の歴史館　再訪
   - 1.6. 土砂降りの中　路線バスで再度 日本初の洋式高炉の操業地　陸中大橋　旧釜石鉄鉱山(製鉄所)へ

【参考】近代製鉄発祥の地　釜石の橋野･大橋鉄鉱山の概略

12. ＜詳細版＞震災後初めて 東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 2014.6.7-6.9 【2】 14iron08.pdf.

2. 古代の製鉄遺跡 山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる 2014.6.8. .

【参考】概略資料 古代製鐵遺跡が 300 を越える山田町の古代遺跡について .

13 2014 年祇園祭 後祭 山鉾巡行 150 年振りに「大船鉾」が都大路をゆく 2014.7.24. 14walk13.pdf

14. ＜詳細版＞震災後初めて 東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 2014.6.7-6.9 【3】 14walk16.pdf.

3. 三陸鉄道に乗って20数年前訪れた龍泉洞 & 普代・黒崎を訪ねる

3.1. 三陸鉄道 宮古から龍泉洞の最寄り駅小本へ 震災・大津波の被災地の今を三陸鉄道の車窓から

3.2. 20数年前訪れた岩泉町の龍泉洞 透明なブルーに出会いたくて

3.3. 土砂降りの雨の中 北緯40度の地球村 普代・黒崎へ

3.4. 普代から久慈へ 普代川の河口の砂鉄浜の今「普代浜 & 普代の街」 and 三陸鉄道の車窓

3.5.【資料】南部鉄を支えた久慈の砂鉄と製鉄 & 旧たたら館

15. 京都府立植物園 半日会 2014 年京朝顔展 朝顔帳 2014.8.4 14walk14.pdf

16. 日本の恐竜化石の宝庫 福井県勝山市福井県立恐竜博物館 2014.8.14. 14walk15.pdf

恐竜博物館の日本の代表といわれる巨大な恐竜博物館

17. 秋の西神戸 里の秋 ヒガンバナ・山田錦の郷を訪ねる 2014.9.18. 14walk17.pdf

実りの田の畔を飾るヒガンバナ & 酒蔵の旗がはためく灘の酒米「山田錦」の郷

18. ＜詳細版＞震災後初めて 東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 2014.6.7-6.9 【4】 14walk18.pdf

4. 久慈から八戸へ 八戸線車窓から眺める砂鉄浜 洋野町有家海岸 & 砂鉄浜 八戸 種差海岸

4.1. 砂鉄の宝庫 八戸・久慈周辺の砂鉄 概要 その周辺の沿岸には砂鉄が堆積する砂鉄浜続く

4.2. 八戸線 車窓から眺める砂鉄浜 洋野町有家海岸

4.3. 砂鉄浜 八戸 種差海岸を歩く

19. 2014 コスモス探訪 2014 年 10 月 14walk19.pdf

神戸運動公園コスモスの丘・加古川市志方のコスモス畑・大阪鶴見緑地

20. 2014 紅葉探勝 ≪1≫

六甲・有馬の紅葉探勝 ケーブル・ロープウエイを使って 六甲越で有馬へ 14walk20.pdf

21. 2014 紅葉探勝 ≪2≫ 久しぶり 秋の布引谷散策 14walk21.pdf

22. 2014 紅葉探勝 ≪3≫

2014 紅葉の秋景色 京都東山哲学の小道 & 神戸須磨 自宅界隈の紅葉 14walk23.pdf

1. 京都銀閣寺疎水 2014. 11. 12.

2. 大阪淀屋橋で 2014. 11. 12.

3. 私の住む神戸須磨 山麓バイパス界隈 2014. 11. 21.

23. ゆったりとした時間が流れる 芦屋川の河口 芦屋浜 2014. 11. 21. 14walk22.pdf

風来坊 Country Walk【14】　里歩き・山歩き・街歩き　2015

1. お勧めの博物館「竹中大工道具博物館」新神戸駅横　2015.2.13.　15walk01.pdf
   大工道具の歴史を実物展示する大工道具博物館　素晴らしい和風展示館がオープン
2. 春の妖精　カタクリの花　2015.3.22.　15walk02.pdf
   西播磨 佐用 旧三日月町　弦谷カタクリの群生地
3. 2015 神戸の春【1】 春蘭漫　2015 神戸花便り　３月末から４月上旬　15walk03.pdf
   新生の息吹に満ちて　芽吹きを迎えた里山の春　花景色
   1.西神戸　春の香りを漂わす　梅満開の雌岡山　西神戸　神出雌岡山
   2.西播磨　春の妖精　カタクリの花　西播磨　佐用町　旧三日月弦谷
   3. 西神戸　芽吹きを迎えた里　土筆・タンポポ・桜　西神戸　高和　性海寺の里
   4.修復された白鷺城　&　きらきらの須磨の海　姫路城 &　垂水平磯海釣り公園
   5. 東神戸　魚崎運河　アーモンドの並木道　桜に先立ちピンクの花を枝いっぱいに
   6.　神戸の桜　我が町の若草町の桜　須磨　若草山
   7. 京都洛北　芽吹の里　野山を彩る満開の桜・菜の花　京都　御所・高野川・大原街道
   8. 芽吹きの里山にピンクの三つ葉つつじ　須磨　若草山
4. 2015 神戸の春【2】　新緑の須磨アルプス 東山を楽しむ　2015.4.22.　15walk04.pdf
   真っ青な空のもと　草木燃える新緑の中で　自然の空気を胸いっぱい吸い込んで・・・
5. 2015 神戸の春【3】 新緑の山を彩る純朴な大輪の花　シャクナゲ 2015　2015.4.27.　15walk05.pdf
   六甲森林植物園　石楠花谷　2015.4.27.
6. 丹波市市島町　妙高山　氷上回廊の分水嶺直ぐ北に自生するクリンソウ　2015.5.19.　15walk06.pdf
7. 雨に先駆けて山麓の湿地に　ひっそり咲くピンクの花　クリンソウ　2015.5.20.　15walk07.pdf
   千種 天児屋たたら跡に咲くクリンソウを訪ねる
8. 梅雨の合間　須磨アルプス 岩稜 馬の背を歩く　2015.6.10.　15walk08.pdf
9. 霧雨に煙る京都北山・北摂の美林を巡る　京都北山周山街道から亀岡摂丹街道を北摂の能勢へ　15walk09.pdf

   京都北山周山街道　北山杉の郷「中川」から亀岡・北摂の杉林を巡って神戸へ　2015.6.10.　15walk10.pdf
   祇園祭のお囃子に 日本人の心の故郷「優しき縄文」が今も生きている
   祇園町・祇園囃子は縄文の響き・リズム　日本人の故郷ではないか・・・と
11. ひまわりの夏 2015　西播磨 佐用町旧南光　千種川沿いのたたらの郷のひまわり畑　2015.7.28　15walk11.pdf
   今年も 黄色の帯が田園地帯一杯に広がり、 元気に太陽に顔を向ける沢山の笑顔に出会えました
12. ≪Iron Road ・和鉄の道で≫ 風の森峠から南郷へ　金剛山東山麓　葛城の道　walk　2015.8.23.　15walk12.pdf
13. 東播磨の田園に初秋を訪ねる《　加古川闘竜灘・彼岸花の里・山田錦の里　》　2015.9.11.　15walk13.pdf
   加古川中流の名勝　滝野 闘竜灘　彼岸花の里　多可町　酒米「山田錦」の里　加東・三木吉川
14. 路面電車　阪堺電車に乗る　イメージとは大違い　びっくり!!　2015.9.14.　15walk14.pdf
   低床の最新電車　二両連結の最新電車も
15. 京都北山の最北部　三国峠周辺山里の秋を巡る.　2015.9.20.　15walk15.pdf
   旧鯖街道 根来・針畑越　&　芦生・美山への入口 朽木「生杉 」から 美山茅葺集落へ
16. ≪志方のコスモスの里≫
   実りの秋を迎えた播磨加古川市 志方の里にコスモスを訪ねる　2015.10.15.　15walk16.pdf
   1.広尾・広尾東.　2.高畑　3.中国高速道路沿い野尻　4.東飯坂
17. 晩秋の西神戸　ゆったりとした神戸の田舎　≪櫨　谷≫　2015.11.28.　15walk17.pdf
   新発見　看板にひきつけられて
   ・街道筋の「餡子製造所　・神戸牛牧場と JA「レインボーショップ」のコラボ

2. 山口・美祢・長門の四季

http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/ironroad.htm

美祢・長門の四季【1】1998.-2003.

◆ 山口県長門市　　湯本温泉　2001.5　kaze06.pdf

◆ 田中講平先生の新しい陶房葉月を訪ねて　2002.5.　kaze14.pdf

◆ 春　草色に輝く秋吉台　カルスト台地 Walk　2002.5.　kaze15.pdf

1. オニックス・大理石と花の街　美祢市　1998.1.　sikimine01.pdf
2. 土井が浜弥生遺跡と人類学ミュージアム　土井が浜弥生パーク　1999.5.　sikimine02.pdf
3. 萩焼のふるさと　陶芸の里「長門深川」　1998.1.　sikimine03.pdf
4. 日本名水百選　別府弁天池湧水　秋吉カルスト台地の湧水　1997.1.　sikimine04.pdf
5. 初夏の草花　黒田さん宅の素晴らしいガーデニング　1999.5.　sikimine05.pdf
6. 美祢線の夏　於福駅付近　たたらの山　花尾山をバックに走るワンマーカー　1998.8.　sikimine06.pdf
7. 美祢夏便り　大理石シンポジューム　フイナーレ　1998.8.　sikimine07.pdf
8. 美祢・長門の秋の風物詩　1 秋芳なし　1998.9.　sikimine08.pdf
9. 美祢・長門の秋の風物詩　2 田のあぜの彼岸花　1998.9.　sikimine09.pdf
10. 山口県美祢・秋芳町の境にある河原上たたら製鉄遺跡　1996.10.　sikimine10.pdf
11. 第 15 回日本陶芸展　陶芸作家　田中講平先生　連続入選　1999.6.　sikimine11.pdf
12. 山口県美祢市に住んで 5 年　1998.4.　sikimine12.pdf
13. 西長門角島の夕暮れ ＆　秋芳 白糸の滝　2001.1.　sikimine13.pdf
14. 山口市吉敷に田中講平先生の新しい陶房葉月を訪ねて　2002.5.　sikimine14.pdf
15. 春　草色に輝く秋吉台　カルスト台地 Walk　2002.5.　sikimine15.pdf
16. 2002 年秋　霧の中の美祢と小野田の銘菓　最中「セメンダル」　2002.10.　sikimine16.pdf

山口・美祢・長門の四季【2】2004

1. 山口県角島　浜木綿の花が咲く浜と角島大橋　2004.7.　2mine01.pdf
2. 萩焼　陶房葉月　田中講平先生の作品　田中講平　広島作陶展より　2mine02.pdf
   萩焼　花器と花のコラボション　2004.5.
3. 萩焼きにほたる舞う」　2004.10.　2mine03.pdf

山 口・美祢・長門の四季【3】2005

1. 田中講平さんの素晴らしい作品展示館　「GALLERY HAZUKI」を訪れて　2005.10.　3mine01.pdf
   オールカラー鋼板の斬新な建物に感激
2. 久々の下関で　おもしろかった下関唐戸市場　2 題　2005.10　3mine02.pdf

山 口・美祢・長門の四季【4】2006.

1. 6 月の山口に広がる田園風景　山口吉敷の里と油谷半島の棚田　2006.6.　4mine01.pdf
2. 写真アルバム山口・長門の秋 2006　美祢の朝霧　2006.11.　4mine02.pd
   1. 晩秋　美祢の朝霧　美祢市来福台で
   2. 秋芳町から山口へ　秋吉カルスト台地 ＆ 鳳翮山 山麓で
      ● 山口吉敷の郷　赤田神社の紅葉 ●　秋芳町　別府弁天池
   3. 萩で　国民文化祭　陶芸展と萩の街
   4. 津和野の秋

山 口・美祢・長門の四季【5】2007

1. 美祢　市街を流れる厚狭川の桜　2007.4.15.　5mine01.pdf
   美祢のＹさんからメールで送ってもらいました
2. 久 しぶりに童謡詩人「金子みすず」の街　長門市仙崎を訪ねました　2007.6.29.　5mine02.pdf
3. 写真アルバム　防 府　阿弥陀寺のあじさい　2007.6.12.　5mine03.pdf
4. 写真アルバム　山口 県油谷半島　棚田の夕景　　東後田の６月　2007.7.11.　5mine04.pdf
   美祢市のＹさんからの写真メール

山 口・美祢・長門の四季【6】2008

1. 山口 美祢からの便り　2008.3.12.　6mine01.pdf
   復元された古代の円筒炉で　銅製錬実験が行われました
   奈良の大仏の採銅所　古代の長登銅山遺跡のイベント
2. 美祢 N.Y.さん からの桜便り
   美祢桜山の桜に遊ぶ　めじろ　と　岩国錦帯橋の桜　2008.4.7.　6mine02.pdf
3. 日本最古の銅山　奈良の大仏の銅を産出した「長登銅山」を訪ねて　2008.6.10.　6mine03.pdf
   1. 日本最古の銅山　奈良の大仏の銅を産出した「長登銅山」概要
   2. 「長登銅山」と奈良の大仏　長登銅山の変遷と日本国内銅生産事情概説
   3. 日本最古の銅山　奈良の大仏の銅を産出した「長登銅山」Walk
   4. 長登銅山の銅鉱床・銅鉱石の変遷と銅製錬技術
      銅の製錬も 鉄と同じく　一筋縄ではなかった
   5. 東大寺大仏と 重源
      東大寺大仏殿の焼失後　山口県佐波川上流の山　徳地の木材で再建された　山口市徳地町
4. 【写真アルバム】　佐々木小次郎/宮本武蔵血統の場　下関海峡　巌流島　2008.6.7　6mine04.pdf

山 口・美祢・長門の四季【7】2009.

1. 【写真アルバム】　霧雨に煙る美祢の6月　2009.6.5.　7mine01.pdf
2. 摂萩焼の主原料土「大道土」の採取地　鋳銭司・大道を訪ねる　2009.6.6.　7mine02.pdf

山 口・美祢・長門の四季【8】20010

1. 美祢市於福に店内に野菜生産工場がある野菜レストラン誕生　美祢も新しい街の息吹が・・・　2010.8.2.　8mine01.pdf

山口・美祢・長門の四季【9】2011

1. 初窯・本焚きの見学記　山口市吉敷　萩焼陶芸家 田中講平さん自作の登り窯　2011.1.15.　9mine01.pdf
   田中講平さん自作の萩焼登り窯の初窯・本焚きの一日
2. 梅雨の晴れ間　山口県美祢カルスト台地で　2011.5.24.-5.26.　9mine02.pdf
   美祢の山郷・水が張られた棚田・麦秋・バラの花

山口・美祢・長門の四季【10】2012

1. 2012 初夏の山口美祢【1】私の心に残る風景 初夏 美祢の田園風景　2012.5.25.～5.29.　10mine01.pdf
   誰にも 記憶にとどめておきたい心の風景がある　美祢の初夏は そんな私の心に残る風景
2. 2012 初夏の山口美祢【2】　森に包まれた美祢湖　初夏の野の花 walk　2012.5.26.　10mine02.pdf
3. 2012 初夏の山口美祢【3】　初夏の秋吉台カルスト 野の花 walk　2012.5.26　10mine03.pdf
   アザミなど 初夏の野草を見たくてカルスト台地内の散策路を歩く